平成 ２８ 年度

白石町当初予算説明資料

主要事項内容説明書

目　　次

各 課 の 主 要 事 項 説 明

《 一般会計予算　主要事項説明 》

【総務課】

参議院議員通常選挙費 【新】・・・・ 1
白石町長・町議会議員選挙費 【新】・・・・ 2
有明海区漁業調整委員会委員選挙費 【新】・・・・ 3
広報費 ・・・・ 4
防犯対策費 ・・・・ 5
防災施設整備費 【新】・・・・ 6

【企画財政課】

国土利用計画費 【新】・・・・ 7
地域づくり推進費（コミュニティタクシー運行事業） ・・・・ 8
ふるさと応援事業費 ・・・・ 9
婚活サポート事業費 ・・・・ 10
地域おこし協力隊推進事業（移住・定住対策） 【新】・・・・ 11

【税務課】

徴収総務費（ファイナンシャルプランナー委託事業） ・・・・ 12

【住民課】

国民健康保険事業 ・・・・ 13
後期高齢者医療事業 ・・・・ 14
はり・きゅう・マッサージ事業費 ・・・・ 15
ヘルスケアポイント事業 ・・・・ 16

【保健福祉課】

地域福祉計画策定費 ・・・・ 17
臨時福祉給付金事業 ・・・・ 18
低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金 【新】・・・・ 19
低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの年金生活者等支援
臨時福祉給付金 【新】・・・・ 20
児童手当 ・・・・ 21
ひとり親家庭等医療助成費 ・・・・ 22
町立保育園公設民営費 ・・・・ 23
認定こども園費 ・・・・ 24
学童保育事業費 ・・・・ 25
ファミリー・サポート・センター事業 ・・・・ 26
利用者支援事業 ・・・・ 27
地域子育て支援事業 ・・・・ 28
不妊治療支援事業費 ・・・・ 29
子どもの医療事業費 ・・・・ 30
小学生・中学生医療事業費 ・・・・ 31
予防接種事業費 ・・・・ 32
成人検診事業費 ・・・・ 33

【長寿社会課】

障害者自立支援給付費 ・・・・ 34
自立支援医療費 ・・・・ 35
重度心身障害者医療給付費 ・・・・ 36
相談支援事業 ・・・・ 37
敬老の日記念事業 ・・・・ 38
地域サロンモデル事業 ・・・・ 39
地域医療介護総合確保事業 【新】・・・・ 40
介護保険事業費 ・・・・ 41
生きがい活動支援通所（デイサービス）事業 ・・・・ 42
食の自立支援事業費 ・・・・ 43
通所型介護予防事業費 ・・・・ 44
介護予防普及啓発事業費 ・・・・ 45

生活支援体制整備事業費 【新】・・・・ 46
在宅医療・介護連携推進事業費 【新】・・・・ 47

【生活環境課】
ごみ処理センター負担金 ・・・・ 48
一般廃棄物収集運搬事業 ・・・・ 49
容器包装廃棄物再商品化事業 ・・・・ 50
容器包装廃棄物収集運搬事業 ・・・・ 51
し尿処理業務 ・・・・ 52

【水道課】
上水道一部事務組合への出資事業 ・・・・ 53
水道事業特別会計への補助金 ・・・・ 54

【下水道課】
浄化槽整備推進事業 ・・・・ 55
公共下水道等接続促進事業 ・・・・ 56

【産業課】
新規農業就業者対策支援事業 ・・・・ 57
新規就農・経営継承総合支援事業 ・・・・ 58
有害鳥獣広域駆除対策事業 ・・・・ 59
さが園芸農業者育成対策事業 ・・・・ 60
農業経営力向上支援事業 ・・・・ 61
機構集積協力金交付事業費 ・・・・ 62
さがの米・麦・大豆競争力強化対策事業 ・・・・ 63
集落営農法人経営安定化支援事業 ・・・・ 64
さが肥育素牛・自給飼料生産拡大施設等整備 ・・・・ 65
優良肥育素牛導入事業費補助金 ・・・・ 66
地域おこし協力隊推進事業（道の駅関連） ・・・・ 67
6次産業推進事業費 ・・・・ 68
しろいしブランド確立対策事業 ・・・・ 69
まちおこし事業 ・・・・ 70
道の駅施設整備事業 ・・・・ 71

【農村整備課】
地盤沈下対策事業費負担金 ・・・・ 72
土地改良事業借入金償還補助 ・・・・ 73
筑後川下流土地改良事業推進事業 ・・・・ 74
基幹水利施設ストックマネジメント事業 ・・・・ 75
地域農業水利施設ストックマネジメント事業 ・・・・ 76
基幹水利施設管理事業費 ・・・・ 77
基幹水利施設管理事業費（佐賀西部白石地区） ・・・・ 78
排水機場管理事業費 ・・・・ 79
多面的機能支払交付金・農地維持支払事業 ・・・・ 80
〃 ・資源向上支払（共同活動）事業 ・・・・ 81
〃 ・資源向上支払（長寿命化）事業 ・・・・ 82
農業基盤整備促進事業 ・・・・ 83
ため池等整備事業費 ・・・・ 84
漁業環境保全事業費 ・・・・ 85
漁港整備事業費（住ノ江） 【新】・・・・ 86

【建設課】
住民協働・道路等環境整備事業費 ・・・・ 87
道路ストック総点検事業 ・・・・ 88
道路新設改良費 ・・・・ 89
社会資本整備総合交付金事業（道路新設改良費） ・・・・ 90
橋りょう長寿命化事業 ・・・・ 91
りんりん公園整備事業 ・・・・ 92
公営住宅ストック総合改善事業 ・・・・ 93

【学校教育課】
外国青年語学指導助手設置費 ・・・・ 94
小中学校芸術体験事業費 ・・・・ 95
スクールカウンセラー配置事業費 ・・・・ 96
適応指導教室事業 ・・・・ 97
小学校ふるさと理解促進事業 【新】・・・・ 98
学校教育課費（小学校情報教育費） ・・・・ 99
学校教育支援員（スクールアシスタント）配置事業 ・・・・ 100

コミュニティ・スクール事業費 ・・・・ 101
小中一貫教育研究事業 【新】・・・・ 102
放課後等補充学習支援事業 ・・・・ 103
小学校施設整備費 ・・・・ 104
中学校施設整備費 ・・・・ 105

【生涯学習課】
人権・同和教育費 ・・・・ 106
中央公民館費 ・・・・ 107
文化活動推進・文化財保護費 ・・・・ 108
青少年育成費 ・・・・ 109
スポーツ事業費 ・・・・ 110
スポーツ人材育成補助事業 ・・・・ 111
ロードレース大会費 ・・・・ 112
白石社会体育館改修事業費 ・・・・ 113
ふくどみマイランド管理費 ・・・・ 114
龍王崎古今の森管理費 ・・・・ 115

■平成28年度起債充当事業一覧 ・・・・ 116

■平成28年度ふるさと寄附金充当事業一覧 ・・・・ 117

■平成28年度地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費 ・・・・ 118

《 特別会計予算　主要事項説明 》

【住民課】
国民健康保険特別会計 ・・・・119～122
後期高齢者医療特別会計 ・・・・123

【下水道課】
農業集落排水特別会計（農業集落排水機能強化事業） ・・・・124
特定環境保全公共下水道特別会計（公共下水道施設整備費） ・・・・125

【水道課】
水道事業特別会計（水道管管網整備事業） ・・・・126

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計

単位：千円

款	2	項	4	目	3	細事業名	参議院議員通常選挙費	所属	総務課
目 名 称	参議院議員通常選挙費					財 源 内 訳		予算書頁	
予 算 額	12,782 前年度当初 0 前年度最終 0					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	73・74
							12,782			0	新 規

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち 【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進

1 目的　平成28年7月25日任期満了に伴う第24回参議院議員通常選挙の執行経費として必要な予算を計上し、町選挙管理委員会が行う選挙に関する事務を適切に執行する。

2 事業内容

(1)任期満了日	・平成28年7月25日（月）
(2)選挙期日	・平成28年7月予定
(3)公示日	・平成28年7月予定

単位：千円

3 予算額

節	金額	説明	
1. 報酬	935	投票管理者（期日前投票・投票当日）	253
		投票立会人（期日前投票・投票当日）	583
		開票管理者	11
		開票立会人	88
3. 職員手当等	7,952	時間外勤務手当（期日前投票事務、投開票事務、選管選挙事務）	7,940
		管理職員特別勤務手当	12
7. 賃金	224	選挙事務日々雇用職員雇用賃金	224
9. 旅費	24	選管委員出席費用弁償	24
11. 需用費	1,155	消耗品費（ポスター掲示場、投開票事務用品等）	800
		食糧費（投票管理者・立会人弁当代等）	93
		印刷製本費（入場券）	262
12. 役務費	1,324	通信運搬費（入場券等郵便料金、架設電話料等）	774
		手数料（枚数計算機等点検手数料,開票支援システムセットアップ手数料）	550
13. 委託料	714	ポスター掲示場設置管理撤去委託料	483
		選挙公報配布委託料	231
14. 使用料及び賃借料	454	会場借上料	80
		その他借上料（事務機器等借上料）	374
合 計	12,782		

4 事業の効果　参議院議員通常選挙事務を適切に執行する。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	2	項	4	目	6	細事業名	白石町長選挙・白石町議会議員選挙費	所属	総務課
目　名　称	白石町長選挙・白石町議会議員選挙費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	17,207					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	74・75
	前年度当初	0	前年度最終	0						17,207	新　規

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち 【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進

1　目的　　平成29年2月5日任期満了に伴う白石町長及び白石町議会議員選挙の執行経費として必要な予算を計上し、町選挙管理委員会が行う選挙に関する事務を適切に執行する。

2　事業内容

(1)任期満了日	・平成29年2月5日(日)
(2)選挙期日	・平成29年1月予定
(3)告示日	・平成29年1月予定

3　予算額

単位:千円

節	金額	説明	
1. 報酬	676	投票管理者(期日前投票・投票当日)	184
		投票立会人(期日前投票・投票当日)	355
		選挙長	22
		選挙立会人	115
3. 職員手当等	7,548	時間外勤務手当(期日前投票事務、投開票事務、選管選挙事務)	7,536
		管理職員特別勤務手当	12
7. 賃金	224	選挙事務日々雇用職員雇用賃金	224
9. 旅費	24	選管委員出席費用弁償	24
11. 需用費	3,705	消耗品費(候補者表示物、ポスター掲示場、投開票事務用品等)	2,441
		燃料費(投票所用灯油代)	40
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代等)	71
		印刷製本費(投票用紙、入場券、選挙公報等)	1,153
12. 役務費	2,765	通信運搬費(入場券等郵便料金、選挙運動用はがき、架設電話料等)	1,996
		手数料(枚数計算機等点検手数料、指定施設不在者投票手数料等)	769
13. 委託料	2,029	ポスター掲示場設置管理撤去委託料	1,798
		選挙公報配布委託料	231
14. 使用料及び賃借料	236	会場借上料	80
		その他借上料(事務機器等借上料)	156
合　計	17,207		

4　事業の効果　　白石町長及び白石町議会議員選挙事務を適切に執行する。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	2	項	4	目	9	細事業名	有明海区漁業調整委員会選挙費	所属	総務課
目　名　称		有明海区漁業調整委員会選挙費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	1,209					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	75・76
	前年度当初	0	前年度最終		0		1,209			0	新　規

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち 【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進

1 目的　　平成28年8月14日任期満了に伴う有明海区漁業調整委員会委員選挙の執行経費として必要な予算を計上し、町選挙管理委員会が行う選挙に関する事務を執行する。

2 事業内容

(1)任期満了日	・平成28年8月14日(日)
(2)選挙期日	・平成28年8月予定
(3)告示日	・平成28年7月予定

3 予算額

単位:千円

節	金額	説　明	
1. 報酬	265	投票管理者(期日前投票・投票当日)	53
		投票立会人(期日前投票・投票当日)	174
		開票管理者	11
		開票立会人	27
3. 職員手当等	690	時間外勤務手当(期日前投票事務、投開票事務、選管選挙事務)	678
		管理職員特別勤務手当	12
9. 旅費	8	選管委員出席費用弁償	8
11. 需用費	89	消耗品費(投開票事務用品)	50
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代等)	19
		印刷製本費(入場券)	20
12. 役務費	135	通信運搬費(入場券等郵便料金)開票速報電話通話料	65
		手数料(枚数計算機等点検手数料)	70
14. 使用料及び賃借料	22	その他借上料(事務機器等借上料)	22
合　計	1,209		

4 事業の効果　　有明海区漁業調整委員会委員選挙事務を適切に執行する。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計
款	2	項 1	目	9
目　名　称	広報広聴費			
予　算　額	14,052 前年度当初 6,008　前年度最終 6,008			

単位：千円

細事業名	広報費	所属	総務課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	63
			530	13,522	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実

1　目的　　行政情報等を町民に提供し、共有することを基本とし、町及びその他の情報を広く正しく伝える。

2　事業内容

広報紙の発行　　毎月1回「広報白石」を発行する。
（各課からの連絡事項、他機関からの依頼による情報の掲載、町内催事の取材記事など広く町民に情報発信）
町と町民とのコミュニケーションツールとしての広報紙を有効活用するための研究・研修

ケーブルテレビによる行政放送
町内にある(株)ケーブルワンを通じて行政放送（15分）を行う。　7時00分～8時00分、21時00分～22時　合計1日2時間
行政放送番組の作成委託

町勢要覧の制作　　平成29年2月の町長及び議員の改選期に合わせ、町をPRするコンセプトで町の最新情報や統計資料等を取りまとめ、
町勢要覧として発刊する。（約30ページ構成　発行予定冊数：3,000冊）

3　予算額

11	需用費	消耗品費　広報事務用品	50 千円
13	委託料		
		町広報紙「広報　白石」作成委託料	3,526 千円
		{(1.2円×26P)+(1.7円×2P)}≒（1部　34円）×12月×8,000部×1.08＝3,525,120円	
		ケーブルテレビ行政放送委託料	918 千円
		{7,701世帯（H27.3月末）×52%×62.3円+600,000円}×1.08＝917,404円	
		行政放送番組制作委託料（15分を52本）90,000円×52本×1.08＝5,054,400円	5,055 千円
		町勢要覧作成業務委託料　4,000,000×1.08＝4,320,000	4,320 千円
14	使用料及び賃借料	AR（画像に動画貼付）使用料　10,000円×12月×1.08＝129,600円	130 千円
		PR用ホームページサーバ使用料　35,000円×1.08＝37,800円	38 千円
19	負担金補助及び交付金	（公）日本広報協会への年会費	15 千円
		計	14,052 千円

財源

町勢要覧売払い収入
30
広報紙有料広告掲載料
500

※県民だより配布委託金は、駐在員運営費へ充当（400千円）

4　事業の効果　　広報紙、ホームページ、ケーブルテレビなどあらゆる手段を使って、町民へ行政の情報を伝達する.
町民のまちづくりへの参加を促し、住民サービスの向上につなげる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位：千円

款	2	項	1	目	13	細事業名	防犯対策費	所属	総務課
目名称		諸費				財源内訳			予算書頁
予算額		7,223				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	66・67
	前年度当初	5,760	前年度最終	5,760					6,400	823	継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第2節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備

1 目的

地域における犯罪を未然に防止するため、防犯関係団体と連携、各種活動を実施し、安全・安心なまちづくりを推進する。

2 事業内容

青少年育成事業に併せて防犯推進委員が防犯パトロールを行う。
犯罪被害防止のため、警察署・金融機関等と連携した啓発活動を行う。また、突発的な事件等の対応を行う。
防犯カメラの維持管理を行う。
防犯灯整備に要する経費の一部を助成する。

3 予算額

防犯推進員報償費	81千円	5,400円×15人＝81,000円	
防犯関係消耗品	20千円	常用消耗品	
防犯カメラ修繕料	50千円		
防犯カメラ保守点検委託料	65千円	肥前白石駅前、肥前竜王駅前　30,000円×1.08×2箇所＝64,800円	
白石地区防犯協会負担金	557千円	260,000円（均等割）＋297,000円（人口割り）＝557,000円	
LED防犯灯整備費補助金	6,450千円	15,000円×430灯＝6,450,000円（灯具交換）	※ふるさと基金　6,400千円充当

4 事業の効果

犯罪のない安全で安心して暮らすことのできるまちづくりが実現できる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	9	項	1	目	4	細事業名	防災施設整備費	所属	総務課
目名称		防災費				財源内訳			予算書頁
予算額	198,298					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	155
	前年度当初	266	前年度最終	266					140,000	58,298	新　規

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備

1 目的

防災行政無線を補完する情報伝達手段を整備し、災害時の情報伝達を確実に行う。

2 事業内容

防災行政無線を補完する情報伝達手段の整備

① 登録制メール配信システム
② 電話応答装置（聞き直しシステム）
③ 音声合成装置
④ 告知放送端末設置（有線方式）

3 予算額

防災情報伝達システム整備工事費　198,298 千円

① 登録制メール配信システム整備費	167 千円	154,000円	×	1.08	＝	166,320円	
② 電話応答装置整備費	1,404 千円	1,300,000円	×	1.08	＝	1,404,000円	
③ 音声合成装置整備費	1,836 千円	1,700,000円	×	1.08	＝	1,836,000円	
④ 防災行政無線システム改修費	36,666 千円	33,950,000円	×	1.08	＝	36,666,000円	
⑤ 告知放送端末整備費	158,225 千円	告知放送端末 7,600円	×	5,600台	×	1.08 ＝	45,964,800円
		引込、内線工事、分配器		95,682,708円			
		サブセンター整備		3,677,309円			
		防災行政無線連携		5,167,800円			
		諸経費		7,732,183円			

4 事業の効果

災害発生時等に町民に必要となる災害情報等を町内全域に迅速かつ正確に伝達が出来る。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計					単位:千円
款	2	項	1	目	7	細事業名	国土利用計画費			所属	企画財政課
目　名　称		企画総務費				財　源　内　訳				予算書頁	
予　算　額	4,750					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	58・59
	前年度当初	0	前年度最終		0					4,750	新　規

白石町総合計画	基本計画	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画	生活基盤の充実
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　1　章		第　1　節	

1　目的

国土利用計画法第8条で規定されている市町村の国土利用計画は、全国計画及び都道府県計画を基本に策定するものとされている。（策定自体は任意）

国土利用計画は、都市計画法、農業振興地域の整備に関する法律、森林法、自然公園法、自然環境保全法等の「個別規制法」に対する上位計画として、土地利用に関する町の将来像を示す、行政上の指針となる総合的かつ長期的な計画。

本町では有明海沿岸道路の開通を控えるなどの環境の変化を踏まえ、今後のまちづくりの根幹をなすものとして計画策定を行う。

2　事業内容

（1）国土利用計画審議会の設置

国土利用計画策定に関する町長の諮問に応じて調査審議を行い、町議会議員、駐在員等20人以内で構成。

（2）町民意見の集約

ファシリテーションの手法を用い、8小学校区単位などでの町民参加型のワークショップを開催し、町民意見を反映して計画を策定。

※ファシリテーション　…　会議などにおいて、その場づくりから、参加者の発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、合意形成や相互理解をサポートする手法。ファシリテーターと呼ばれるファシリテーションの専門家により運営される。

※ワークショップ　…　一方通行的な知識の伝達ではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループのメンバーの意見を聴き影響を受けながら、学び合ったり、合意形成を図るための双方向的な作業。

（3）計画書作成

3　予算額

1　報酬	国土利用計画審議会委員報酬	6,000円×20名×5回＝600,000円
9　旅費	審議会委員出席費用弁償	1,000円×20名×5回＝100,000円
11　需用費（消耗品費）	ワークショップ等消耗品費	50,000円
13　委託料	ファシリテーション業務委託	3,000,000円
	土地利用現況図、土地利用構想図等作成	1,000,000円

4　事業の効果

町の区域における国土利用について、適正かつ合理的な土地利用を図ることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	2	項	1	目	8	細事業名	コミュニティタクシー運行事業	所属	企画財政課
目　名　称	地域づくり推進費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	15,774 前年度当初　15,507　前年度最終　15,507					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59～62
								15,000		774	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち　【町の基盤整備】	基本計画 第　3　節	体系的な交通網の整備・充実

1　目的

合併後、新しい町の地域生活の向上や町の活性化などのために地域生活交通の確保が必要であり、新町の一体化を強化するとともに、利用者のニーズや利用実態を踏まえ、地域の実情に応じた生活交通の確保、輸送体系の確立を図る。

2　事業内容

道路運送法の規定に基づき、地域公共交通会議において、地域における需要に応じた町民の生活に必要な公共交通の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議・決定し、コミュニティタクシーの運行事業を行う。

・地域公共交通会議の開催（コミュニティタクシーの運行事業の実施に必要となる事項を協議する会議の開催）

・白石町内コミュニティタクシー運行事業　　（定時定路線型・・・牛間田横手線、福富線）（デマンド型・・・町内全域を4エリアに分けて運行）

3　予算額　　（単位:千円）

報償費	119	地域公共交通会議委員報償
需用費	112	時刻表他印刷費
負担金補助及び交付金	15,543	・定時定路線型（いこカー）運行費　8,889,000円 ・デマンド型（予約制いこカー）運行費　6,654,000円

4　事業の効果

新町の一体性を強化するとともに、付加価値の高い交通体系の整備・充実を目指すことができる。

自家用自動車の利用抑制に努め、二酸化炭素排出削減を図り、地球温暖化防止に努めることができる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位：千円

款	2	項	1	目	8	細事業名	ふるさと応援事業費	所属	企画財政課
目　名　称		地域づくり推進費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額		158,145				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59～62
		前年度当初	16,034	前年度最終	474,145				100,145	58,000	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　6　章	参加と協働で築く町民主体のまち 【町民参加・町民協働	基本計画 第　2　節	健全な行財政運営の推進

1　目的

平成20年度からスタートした「ふるさと納税制度」によるふるさと寄附金を積み立て翌年度以降の事業費に充てる。また、ふるさと寄附金を周知するための広報を重点的に行い、寄付者に対して白石町の特産品・6次産品を贈呈することにより、全国から継続的な応援者を集めることができ、併せて特産品と6次産品のPR促進も期待できる。

2　事業内容

・ふるさと寄附金元金積立金
・ふるさと寄附金PR用パンフレット
・ふるさと寄附金に対する謝礼品の配送委託
・民間サイト（ふるさとチョイス）を利用した受付、事務ｼｽﾃﾑ
・在京会、ふるさと会、特産品フェアに出向いてのPR

3　予算額　（単位：千円）

賃金	1,536	日々雇用賃金
報償費	729	PR用粗品
旅費	415	普通旅費
需用費	1,302	消耗品費、パンフレット・封筒印刷費
役務費	2,702	通信運搬費、広告料、カード決済手数料
委託料	50,000	謝礼品配送委託料
使用料及び賃借料	1,316	ふるさと納税ｼｽﾃﾑ使用料
積立金	100,145	ふるさと寄附金元金積立金、利子積立金

4　事業の効果

ふるさと寄附金により重要施策の財源積立金が確保できる。
特産品のPR事業とタイアップすることにより、全国に特産品と6次産品をPRすることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	2	項	1	目	8	細事業名	婚活サポート事業費	所属	企画財政課
目　名　称		地域づくり推進費				財源内訳			予算書頁
予　算　額	1,485					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59～61
	前年度当初	803	前年度最終	803						1,485	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　5　節	人権の尊重と男女共同参画の推進

1　目的

町内の独身者の未婚化、晩婚化に歯止めをかけ、少子化対策及び定住促進に寄与する。

※第1期　平成26年度～27年度

※第2期　平成28年度～29年度

2　事業内容

・婚活サポーターを設置し、結婚に関する相談及び結婚までの息の長い支援等を行う。

・結婚を望む独身者に対し、結婚に向けてのセミナーを開催することにより、婚活をサポートする。

※白石町婚活サポート事業実施要綱

3　予算額　（単位:千円）

報償費	970	婚活サポーター謝礼、セミナー講師謝金
需用費	100	消耗品費
役務費	285	傷害保険料、広告料、手数料
使用料及び賃借料	130	会場借上料

4　事業の効果

結婚希望者に対する婚活をサポートすることにより、成婚数の増加が図れ、少子化対策へ寄与することができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	2	項	1	目	8	細事業名	地域おこし協力隊推進事業（移住・定住対策）	所属	企画財政課
目　名　称	地域づくり推進費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	4,094					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59～61
	前年度当初	0	前年度最終	0						4,094	新　規

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出

1　目的

人口減少や高齢化の進行が著しい本町において、地域外の人材を活用し、地域の活性化を促進するとともに、その人材の定住及び定着を図るため、地域おこし協力隊推進要綱（平成21年3月31日付け総行応第38号総務次官通知）の規定に基づき、白石町地域おこし協力隊員を設置し、移住・定住対策についての方策との課題解決を図る必要があるため外部の人材を入れて活性化を図る。

2　事業内容

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住し生活の拠点を移した者を、地方公共団体が地域おこし協力隊員として委嘱し、隊員が一定期間地域協力活動を行いながら地域への定住・定着を図る制度。

「空き家バンク」制度の創設を計画していくために、外部人材を活用し地域活性化に繋げていく方策を検討していく。

・地域おこし協力隊設置

地域の活性化を図るため、地域の課題解決に向けて、地域住民、行政などが連携した取組を進められるよう地域のサポート、コーディネート役として地域おこし協力隊を配置する。

3　予算額

（単位：千円）

区　分	内容説明	予算額	備　考
報酬	地域おこし協力隊員報酬	1,360	報償費
共済費	地域おこし協力隊員共済費	220	活動費
旅費	普通旅費	621	募集費（121千円）、活動費（500千円）
需用費	消耗品費	162	活動費
	燃料費	45	活動費
役務費	募集広告手数料	500	募集費
	インターネット回線使用料	80	活動費
	車両保険料	23	活動費
使用料及び賃借料	協力隊員車両賃借料	200	活動費
	協力隊員住居賃借料	550	活動費
備品購入費	PC・プリンター等購入費	300	活動費
負担金補助及び交付金	協力隊員研修負担金	33	活動費
合計		4,094	

【財政支援】
・報酬費、活動費、募集に係る経費はそれぞれ200万円を上限として特別交付税措置

4　事業の効果

都市地域の移住希望者に白石町のPRを行うとともに、地域外の人材を活用することで、空き家を活用した地域の魅力を再発見することを目指す。

単位:千円

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計						
款	2	項	2	目	2	細事業名	徴収総務費 （ファイナンシャルプランナー委託事業）			所属	税務課
目　名　称		賦課徴収費				財　源　内　訳				予算書頁	
予　算　額	前年度当初	648	前年度最終	648		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	69
									190	458	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　6　章	参加と協働で築く町民主体のまち　【町民参加・町民協働	基本計画 第　2　節	健全な行財政運営の推進

1　目的

納税困難な滞納者に経済的自立を目的とした債権整理相談等をファイナンシャルプランニング（資産設計提案業務）技能士に委託することで、生活再建を支援し、税収確保に努める。

2　事業内容

（1）開　　催　毎月1回
（2）相 談 時 間　9 時 00 分　～　19時00分　相談者１件につき、概ね１時間

3　予算額

13.委託料
ファイナンシャルプランナー委託　　54,000円　×　12箇月　＝　648,000円

4　事業の効果

納税困難な滞納者へ再建のためのアドバイスを提案し、本人が納得したアドバイスを取り組む事で税の滞納額の完納は勿論、本人も税以外の負債を整理することができる。
生活再建ができることによって新たな生活設計の目標を持つことができる。

※参考

①　平 成 27 年 度 相 談 の 実 績（平成28年1月31日現在）
（1）委 託 期 間　平成27年4月1日　～　平成28年3月31日
（2）相 談 回 数　9回
（3）相 談 件 数　11件　納付実績額　348,493円　回収予定金額　3,900,460　円

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	1	細事業名	国民健康保険事業費	所属	住民課
目　名　称	社会福祉総務費								

予　算　額	240,147	財源内訳					予算書頁
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	82
	前年度当初 202,118 前年度最終 199,018	25,490	71,600			143,057	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 4 節	社会保障の充実

1　目的

国民健康保険事業費については、保険基盤安定繰出金、事務費等繰出金、出産育児一時金繰出金、財政安定化支援事業繰出金、財政補填繰出金を繰り出し、国保財政を支援する。

2　事業内容

①保険基盤安定繰出金（保険税軽減分）【法定繰出】

市町村は、政令の定めるところにより、低所得者に対する保険料（税）軽減相当額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている（法第72条の3第1項）。なお、都道府県は、政令の定めるところにより、その繰入金の3／4に相当する額を負担することとなっている。

②保険基盤安定繰出金（保険者支援分）【法定繰出】

保険税軽減の対象となった一般被保険者の数に応じて平均保険税の一定割合を公費で補填することにより、低所得者を多く抱える市町村を支援し、中間所得者層を中心に保険税負担を軽減する保険者支援制度が創設され、市町村は、政令の定めるところにより、支援額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている（法附則第24条第1項）。なお、国、都道府県は、政令の定めるところにより、それぞれの繰入金の1／2、1／4を負担することとなっている。（法附則第24条第2項、第3項）

③事務費等繰出金 【法定繰出】

国保事業を執行するために必要な一般管理費、連合会負担金、運営協議会費を町が事務費等繰出金として支援している。

④出産育児一時金繰出金 【法定繰出】

被保険者が出産したときに支払われる出産育児一時金に対しても補助金額の2／3の支援金を繰り出している。

⑤財政安定化支援事業繰出金 【法定繰出】

被保険者の応能保険料（税）負担能力が特に不足していること、病院の病床数が特に多いこと、被保険者の年齢構成が高齢者に偏っていることの三つの事由を想定して地方財政措置が講じられている。

⑥財政補填繰出金

H25年度保険税率(額)改定では賄えない収入不足について、一般会計から財政補填することで、国保特会の財政運営を支援する。

3　予算額

①保険基盤安定繰出金（保険税軽減分）	78,480千円	②保険基盤安定繰出金（保険者支援分）	50,980千円		
③事務費繰出金	8,487千円	④出産育児一時金繰出金	11,200千円		
⑤財政安定化支援事業繰出金	11,000千円	⑥財政補填繰出金	80,000千円	①～⑥計	240,147千円

4　事業の効果

国民健康保険特別会計の財政が健全に運営される。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	3	細事業名	後期高齢者医療事業費	所属	住民課
目名称	老人福祉費					財源内訳			予算書頁
予算額	497,495 前年度当初 490,600 前年度最終 490,600	国庫	県費	地方債	その他	一般財源			90・91
			85,144			412,351			継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第4節	社会保障の充実

1 目的

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保険の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。後期高齢者医療制度の被保険者は、75歳以上と65歳以上の障害認定を受けている者で、医療の給付等に関しても老人保健法に基づく医療と同様の診療が受けられる。

2 事業内容

町は、広域連合の経費負担、一定以上所得者分を除いた医療給付費の12分の1の定率負担、保険基盤安定制度の負担等が義務付けられている。

3 予算額

（単位:千円）

項目	事業費	説明		
負担金	367,275	市町村定率負担（一般会計から広域連合特別会計へ納付・高確法第98条） 療養給付見込額 4,464,513千円 － 特定費用(3割負担分) 50,767千円 － その他収入 6,448千円 ＝ 負担対象額 4,407,298千円 負担対象額 4,407,298千円 × 定率負担 1/12 ＝ 367,275千円		
後期高齢者医療特別会計繰出金	130,220	徴収経費等事務費	特別会計の一般管理費52千円＋徴収費668千円＝720千円 その内徴収費に充当できる督促手数料分(50千円)を控除して計上　670千円	670
		広域連合共通経費（一般会計分）	広域連合運営経費等（職員人件費、議会等他） 均等割(10%) 981千円 ＋ 人口割(45%) 2,575千円 ＋ 高齢者人口割(45%) 3,299千円 ＝ 6,855千円 （佐賀県広域連合合計196,169千円の約3.49%）	6,855
		広域連合共通経費（特別会計分）	運営経費（電算システム運営費、レセプト点検等） 均等割(10%) 1,071千円 ＋ 人口割(45%) 2,811千円 ＋ 高齢者人口割(45%) 3,603千円 ＝ 7,485千円 （佐賀県広域連合合計214,199千円の約3.49%）	9,170
			被保険者証郵送代実費負担金　1,685千円	
		保険基盤安定負担金	低所得者軽減額 104,443千円 ＋ 被扶養者軽減額 9,082千円 ＝ 113,525千円 （負担金対象額） 県負担分は一般会計で歳入後、町負担分と合わせて後期特別会計へ繰出し、広域連合へ納付 町負担(1/4) 28,381 県負担(3/4) 85,144	113,525
計	497,495			

4 事業の効果

医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	4	項	1	目	1
目　名　称	保健衛生総務費				
予　算　額	6,510	前年度当初	6,424	前年度最終	6,424

細事業名	はり、きゅう、マッサージ事業費	所属	住民課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	102・103
			1,170	5,340	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 4 節	社会保障の充実

1　目的

住民の健康保持、増進のため、所要の手続きを経て、町から指定されたはり、きゅう、マッサージ師が行った施術費に対して、補助金を交付する。

2　事業内容

受診者は、施術所にて受診券を提出し、施術費から補助金額を差し引いた金額を支払う。施術者は1月ごとに受診券を含む関係書類を添えて請求書を町へ提出する。

対象者　白石町に1年以上居住の住民
使用限度　1人1日1枚
交付限度枚数　1人年間50枚
補助金額　1枚　900円
使用期限　4月1日～3月31日

事業実績　（単位：円）

年度	件数	補助額	印刷費	計
H19	5,945	5,350,500	10,920	5,361,420
H20	5,558	5,002,200	10,920	5,013,120
H21	5,562	5,005,800	47,250	5,053,050
H22	6,691	6,021,900	41,737	6,063,637
H23	7,313	6,581,700	45,675	6,627,375
H24	7,781	7,002,900	47,880	7,050,780
H25	7,986	7,187,400	47,880	7,235,280
H26	5,923	5,330,700	48,600	5,379,300

事務費　印刷製本費　マッサージ券印刷代　3.0円 × 9,000枚 × 1.08 ＝ 29,160円 ≒ 30,000円
（マッサージ券（黄色）必要見込数13,000枚　残数△4,000枚）
事業費　補助金　900円 × 600件 × 12月 ＝ 6,480,000円
計　6,510,000円

4　事業の効果

住民の健康保持、増進が図られる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	1	目	1	細事業名	ヘルスケアポイント付与事業	所属	住民課
目　名　称	保健衛生総務費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	500 前年度当初 300 前年度最終 300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101
										500	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　4　節	社会保障の充実

1　目的

「個人や保険者による予防・健康づくりの促進」
個人の予防・健康づくりのインセンティブを強化するため、加入者の予防・健康づくりに向けた取り組みに応じたヘルスケアポイントの付与について、国が策定するガイドラインに沿って保険者が保健事業の中で実施する。また、データヘルス（保険者がレセプト・健診等のデータ分析に基づき加入者の健康状態等に応じて行う保健事業）を推進する

2　事業内容

健康事業参加者にポイントを付与し、参加者は一定のポイントを貯めることで商工会カード会員の店で商品券として使用できる。

3　予算額

8.報償費　　500,000 円

4　事業の効果

当事業が健康への関心の意識づけになり、日頃の運動意識、食生活の改善への取組みが医療費の適正化、強いては国保事業の安定化に繋げることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	1	目	1	細事業名	地域福祉計画策定費	所属	保健福祉課
目　名　称	社会福祉総務費								

予　算　額	2,770	財源内訳					予算書頁
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	80
	前年度当初　0　前年度最終　0					2,770	新　規

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1　目的

第2期白石町地域福祉計画（平成29年度から、おおむね5年間）を平成28年度に策定するもの
※本計画は、社会福祉法第107条に定める市町村地域福祉計画です。

2　事業内容

白石町では、これまで平成22年度を計画策定、平成23年度からおおむねの5年間を計画期間とする「白石町地域福祉計画」を策定しました。
この計画をめぐる社会情勢の変化や、国や県における政策指針を踏まえ、他の計画との整合性を図りながら、幅広い地域住民参加を視点をもった福祉分野における総合的かつ基本的な計画として、基本的な方向性や取り組むべき施策を示す計画として、「第2期白石町地域福祉計画」を平成28年度に策定します。

3　予算額

節	予算額（千円）	内容説明及び積算基礎
8. 報償費	270	地域福祉計画策定委員報償費 5,400円/1回×10人×5回　＝　270,000円
13. 委託料	2,500	地域福祉計画策定作業委託料 2,500,000円

4　事業の効果

「第2期白石町地域福祉計画」を策定することにより、誰もが住みなれた地域で安心して生き生きと暮らすことができる社会を目指します。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計
款	3	項	1	目	1
目　名　称	社会福祉総務費
予　算　額	18,000 前年度当初　34,800　前年度最終　25,745

単位：千円

細事業名	臨時福祉給付金事業				所属	保健福祉課
財源内訳					予算書頁	
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	79～82	
18,000				0	継　続	

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　4　節	社会保障の充実

1　目的

平成26年4月に消費税率が8%に引上げられたことに伴い、所得の低い方々の影響を緩和するため、『臨時福祉給付金』の支給を引き続き行うもの。
（食料品支出額の増加分（3%アップ分）の平成28年10月～29年3月末までの6月分として、給付対象者一人につき、3千円）

2　事業内容

【基　準　日】・・・平成28年1月1日
【給付対象者】・・・平成28年度分の市町村民税（均等割）が課税されていない者から、以下の者を除いた者
★市町村民税（均等割）が課税されている方から扶養されている方や、生活保護の被保護者等
【給　付　額】・・・給付対象者一人につき、3,000円。
【実施方式】・・・実施主体は、市町村　（町が実施する給付事業に要する経費を対象として、国が補助金（補助率10/10）を交付）

3　予算額

区　分		予算額（千円）	説　明
職員手当等		940	時間外勤務手当
賃　金		1,408	日々雇用職員賃金
需用費	消耗品費	400	封筒・、用紙、事務用品
	印刷製本費	100	チラシ印刷費
	光熱水費	200	電気料金
役務費	通信運搬費	350	郵送料
	手　数　料	350	口座振込手数料
委　託　料		700	臨時福祉給付金システム改修委託料　500,000円
			申請書等封入封緘委託料　100,000円
			申請書データエントリー委託料　100,000円
使用料及び賃借料		52	事務機器リース料
（事務費小計）		4,500	
負担金補助及び交付金		13,500	臨時福祉給付金
合　計		18,000	

【支給対象者見込数】
4,500人

4　事業の効果

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響を緩和することができる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	1	目	1	細事業名	低所得の高齢者向けの 年金生活者等支援臨時福祉給付金	所属	保健福祉課
目　名　称		社会福祉総務費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	80,200 前年度当初　0　前年度最終　0					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	79～81
						80,200				0	新　規

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1　目的

「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引き上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援によるアベノミクスの成果の均てんの観点や、高齢者世帯の年金も含めた所得全体の底上げを図る観点に立ち、社会保障・税一体改革の一環として平成29年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な位置付けとなることも踏まえ、また、平成28年前半の個人消費の下支えに資するよう、低所得の高齢者を対象に年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業を実施するもの。

2　事業内容

【支給対象者】・・・平成27年度簡素な給付措置（臨時福祉給付金）の対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる者

【支　給　額】・・・支給対象者一人につき、30，000円

【実施方法】・・・実施主体は、市町村 『町が実施する給付事業に要する経費(事業費・事務費)を対象として国が補助金補助率10/10が補助』

3　予算額

区　分		予算額（千円）	説　明
職員手当等		792	時間外勤務手当
賃　金		1,408	日々雇用職員賃金
需用費	消耗品費	550	封筒・、用紙、事務用品
	印刷製本費	200	チラシ印刷費
	光熱水費	100	電気料金
役務費	通信運搬費	250	郵送料
	手　数　料	250	口座振込手数料
委　託　料		800	年金生活者等支援臨時福祉給付金システム改修委託料 600,000円 申請書封入封緘委託料　100,000円 申請書データーエントリー委託料　100,000円
使用料及び賃借料		850	事務機器リース料・受付会場用机、椅子等レンタル料
（事務費小計）		5,200	
負担金補助及び交付金		75,000	低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金
合　計		80,200	

【支給対象者見込数】
2,500人

4　事業の効果

食料品等の身近な商品の価格が上昇しているなか、賃金引き上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者等に対して、給付金の支給によって支援を行うことが出来る。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	1	目	1	細事業名	低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金	所属	保健福祉課
目　名　称	社会福祉総務費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	14,000 前年度当初　0　前年度最終　0					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	79～82
						14,000				0	新　規

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1　目的

「一億総活躍社会」の実現に向け、アベノミクスの成果の均てんの観点から、賃金引き上げの恩恵が及びにくい低所得の障害・遺族基礎年金者受給者を支援するよう、低所得の障害・遺族基礎年金受給者を対象に年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業を実施するもの。

2　事業内容

【支給対象者】・・・平成28年度簡素な給付措置の対象者のうち、障害基礎年金又は遺族基礎年金を受給している者（高齢者向けの給付金の支給対象者を除く。）
【支　給　額】・・・支給対象者一人につき、30，000円
【実施方法】・・・実施主体は、市町村　　町が実施する給付事業に要する経費(事業費・事務費)を対象として国が補助金補助率10/10が補助』

3　予算額

区　分		予算額（千円）	説　明
職員手当等		300	時間外勤務手当
賃　金		640	日々雇用職員賃金
需用費	消耗品費	50	封筒・、用紙、事務用品
	印刷製本費	100	チラシ印刷費
役務費	通信運搬費	50	郵送料
	手　数　料	50	口座振込手数料
委　託　料		800	年金生活者等支援臨時福祉給付金システム改修委託料
使用料及び賃借料		10	事務機器リース料
（事務費小計）		2,000	
負担金補助及び交付金		12,000	年金生活者等支援臨時福祉給付金
合　計		14,000	

【支給対象者見込数】
400人

4　事業の効果

食料品等の身近な商品の価格が上昇しているなか、賃金引き上げの恩恵が及びにくい低所得の障害・遺族基礎年金受給者に対して、給付金の支給によって支援を行うことができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	2	目	2
目　名　称	児童措置費				
予　算　額	379,200 前年度当初　387,750　前年度最終　374,085				

細事業名	児童手当	所属	保健福祉課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	94
261,550	58,825			58,825	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　1　節	子育て支援の充実

1　目的

子どもを養育している者に児童手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資することを目的とする。

2　事業内容

支給対象:0歳から中学校修了までの子ども

支給月額:3歳未満15，000円、3歳以上小学校修了前（第1子・第2子）10，000円、3歳以上小学校修了前（第3子以降）15，000円、中学生10，000円

※ただし、児童を養育している者の所得が所得制限限度額以上の場合は、特例給付として月額一律5，000円を支給する。

【交付金算定率】

支給対象児童		月額	国	県	町
3歳未満	被用者	15,000	37/45	4/45	4/45
	非被用者	15,000	4/6	1/6	1/6
3歳以上小学校修了	第1子・第2子	10,000	4/6	1/6	1/6
	第3子以降	15,000	4/6	1/6	1/6
中学生		10,000	4/6	1/6	1/6
所得制限以上世帯		5,000	4/6	1/6	1/6

【定時支給】

6月	2月～5月分
10月	6月～9月分
2月	10月～1月分

3　予算額

（単位:円）

支給対象児童		延べ人数	支給金額	国	県	町
3歳未満	被用者	3,750人	56,250,000円	46,250,000円	5,000,000円	5,000,000円
	非被用者	1,700人	25,500,000円	17,000,000円	4,250,000円	4,250,000円
3歳以上小学校修了前	第1子・第2子	16,200人	162,000,000円	108,000,000円	27,000,000円	27,000,000円
	第3子以降	4,100人	61,500,000円	41,000,000円	10,250,000円	10,250,000円
中学生		7,050人	70,500,000円	47,000,000円	11,750,000円	11,750,000円
所得制限以上世帯		690人	3,450,000円	2,300,000円	575,000円	575,000円
合　計		33,490人	379,200,000円	261,550,000円	58,825,000円	58,825,000円

4　事業の効果

児童手当を支給することにより、保護者の経済的負担軽減に寄与し、児童の健やかな成長に資することができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	2	目	3	細事業名	ひとり親家庭等医療助成費	所属	保健福祉課
目　名　称		母子等福祉費				財源内訳		予算書頁	
予　算　額	11,300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	95
	前年度当初	11,000	前年度最終	11,000			5,650			5,650	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実

1　目的

ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上、こどもの健全育成を目的とする。

2　事業内容

母子家庭の母、父子家庭の父及び児童等が健康保険により病院などの医療機関で受診を受けた場合、医療費の自己負担金の一部を助成する。(償還払い)

①母子家庭の母及び児童 ②父子家庭の父親及び児童 ③父母のいない児童	父母:当該児童が20歳に達する日の前日まで 児童:18歳に達した日の属する年度末まで

※1ヶ月につき500円の自己負担、時効　診療日の翌日より2年

ひとり親家庭等医療費助成対象世帯数

	H24	H25	H26	H27
母子家庭	211	212	215	223
父子家庭	42	41	43	40
養育者家庭	1	1	1	1
計	254	254	259	264

(単位:円)

年度	助成件数(件)	助成額
H24	4,020	9,296,799
H25	3,976	8,594,287
H26	4,150	10,301,621
H27見込み	4,351	11,000,000

医療費支払(見込)状況　(単位:円)

支払月	H27年度実績		H28年度見込み	
	件数	金額	件数	金額
4月	317	704,812	350	900,000
5月	416	1,096,530	410	1,000,000
6月	286	764,970	300	850,000
7月	348	912,326	400	950,000
8月	474	1,181,801	450	1,100,000
9月	492	1,281,421	500	1,300,000
10月	362	676,040	300	800,000
11月	306	828,900	300	800,000
12月	250	510,000	350	900,000
1月	400	1,100,000	350	900,000
2月	350	971,600	350	900,000
3月	350	971,600	350	900,000
合計	4,351	11,000,000	4,410	11,300,000

3　予算額

(千円)

区分	予算額	財源内訳		
		県補助金	その他	一般財源
20扶助費	11,300	5,650		5,650

4　事業の効果

ひとり親家庭等の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と福祉の向上を図る。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	2	目	4	細事業名	町立保育園公設民営費	所属	保健福祉課
目　名　称	児童福祉施設費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	494,123					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97・98
	前年度当初	531,883	前年度最終	575,130					125,630	368,493	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　1　節	子育て支援の充実

1　目的　　新たな保育ニーズへの柔軟な対応が可能となる民営化を推進する。

2　事業内容

保育園名	定員	指定期間(5年間)	年齢区分（人）												合計（入所予定1ヶ月合計人数）	運営費（公定価格）（円）
			0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児			
			標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間		
有明ふたば保育園	120	H25.4～H30.3	7	0	17	1	20	1	20	1	24	2	24	3	120	99,100,000
六角保育園	110	H26.4～H31.3	7	1	14	1	9	1	25	3	20	1	25	2	109	88,000,000
有明みのり保育園	60	H26.4～H31.3	2	0	4	1	9	2	10	1	11	0	13	0	53	57,200,000
福田保育園	50	H27.4～H32.3	3	0	6	1	8	1	9	0	10	1	7	0	46	58,000,000
福富保育園	190	H27.4～H32.3	6	1	20	2	22	5	26	4	40	7	34	5	172	120,600,000
有明わかば保育園	60	H27.4～H32.3	2	0	4	1	8	2	10	1	11	1	15	2	57	59,100,000

3　予算額　　（単位：千円）

節	区分	予算額	財源内訳				
			国費	県費	保育料	その他	一般財源
委託料（民営化運営委託料）	有明ふたば保育園	99,100			22,150	5,000	71,950
	六角保育園	88,000			21,600	4,000	62,400
	有明みのり保育園	57,200			8,190	5,000	44,010
	福田保育園	58,000			9,550	1,000	47,450
	福富保育園	120,600			32,780	3,000	84,820
	有明わかば保育園	59,100			12,360	1,000	45,740
小計		482,000			106,630	19,000	356,370
負担金補助及び交付金（延長保育、障害児保育、地域活動事業）	有明ふたば保育園	1,897					1,897
	六角保育園	1,897					1,897
	有明みのり保育園	1,897					1,897
	福田保育園	1,897					1,897
	福富保育園	1,897					1,897
	有明わかば保育園	2,638					2,638
小計		12,123					12,123
合計		494,123			106,630	19,000	368,493

13節
公定価格により算定
公設民営化保育園の負担割合
一般財源　10/10　（国庫、県費の分は交付税措置）
財源内訳：その他は町外受託分

19節
※延長保育：30分加算　300,000円、1時間加算 1,342,000円
300,000円×5園×2（開所前後）
1,342,000円×1園
※障害児保育：重度66,490円、軽度33,240円
66,490円×12ヶ月×1人×6園
33,240円×12ヶ月×1人×6園
※地域活動事業：世代間交流事業　100,000円×6園

4　事業の効果　　安心・安全な保育を実施することができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	2	目	4	細事業名	認定こども園費	所属	保健福祉課
目　名　称	児童福祉施設費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	77,797					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	98
	前年度当初	79,162	前年度最終	79,298		30,200	15,200			32,397	継　続

白石町総合計画	基本計画		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	第　1　節	子育て支援の充実

1　目的

多様化する教育または保育ニーズにあわせ、就学前の子どもに対する保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行うことにより地域の子育て支援と児童福祉の増進を図る。

2　事業内容

利用人数
1号51人、2号・3号38人

年齢	教育標準時間認定(1号)	本園の入所児童数(2、3号)		利用者負担額(国基準額)　(円)		
		保育標準時間認定	保育短時間認定	教育認定　(1号)	保育認定(2,3号)	合計
5歳児	11人	8人	2人	8,700,000	12,500,000	21,200,000
4歳児	22人	6人	1人			
3歳児	18人	8人	0人			
満3歳児	0人					
2歳児		3人	1人			
1歳児		6人	1人			
乳児		2人	0人			
合計	51人	33人	5人	8,700,000	12,500,000	21,200,000

3　予算額

単位:千円

節		予算額	公定価格(年間運営費)①	利用者負担額②	委託料基準額(①－②)	財源内訳			
						国庫支出金	県費	その他	一般財源
負担金補助及び交付金	教育認定(1号分)	28,400	25,000	8,700	16,300	8,150	4,075		16,175
	保育認定(2,3号分)	47,500	56,200	12,500	43,700	21,850	10,925		14,725
	保育対策事業	1,897				200	200		1,497
計		77,797	81,200	21,200	60,000	30,200	15,200		32,397

認定こども園運営費負担割合:国庫　1/2、 県費　1/4、 町　1/4
認定こども園保育対策事業費負担割合:国庫　1/3、 県費　1/3、 町　1/3

保育対策事業
※障害児保育事業　1,196,760円
　重度66,490円×12ヵ月＝797,880円
　軽度33,240円×12ヵ月＝398,880円
※延長保育事業30分加算(開所前後)
　300,000円×2＝600,000円
※地域活動事業　100,000円

4　事業の効果

安心・安全な保育を実施することができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	2	目	6
目　名　称	子ども・子育て支援事業費				
予　算　額	42,682 前年度当初　52,451　前年度最終　51,575				

細事業名	学童保育事業費	所属	保健福祉課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	98・99
12,111	12,111		6,349	12,111	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　1　節	子育て支援の充実

1　目的

核家族化や女性の就労が増加しているため、保育に欠ける小学校児童を対象に学校終了後から午後7時まで学校の余裕教室等で保育することにより児童の健全育成を図る。

2　事業内容

・平成28年度から開設時間を平日午後6時から午後7時へ延長。
・平日は、放課後から19時まで実施。
・長期休暇時は、各クラブで7時40分～19時まで実施。
・土曜日は、1箇所（六角小）で7時40分～18時まで実施。

★放課後児童健全育成事業補助金　　24,222,000円
　国　1/3、 県　1/3、 町　1/3

★その他:保護者負担金

区分	負担金の額（児童一人につき）		区分	負担金の額（児童一人につき）	
継続参加	4月～翌年3月まで（月～金）の参加※	月額　2,000円	一時参加	夏季休業日（月～金）	月額　5,000円
	4月～翌年3月まで（月～土）の参加※	月額　3,000円		夏季休業日（月～土）	月額　6,000円
	8月（月～金）の参加	月額　4,000円		冬季休業日	月額　2,000円
	8月（月～土）の参加	月額　5,000円		学年末休業日及び春季休業日	月額　2,000円
	延長利用分（午後6時～午後6時30分）	月額　500円		延長利用分（午後6時～午後6時30分）	月額　500円
	延長利用分（午後6時～午後7時）	月額　1,000円		延長利用分（午後6時～午後7時）	月額　1,000円
	申込時間を超えて利用した場合	30分ごと　50円		申込時間を超えて利用した場合	30分ごと　50円

減免の場合	減免率
・ひとり親家庭の場合	1/2
・生活保護法による被保護世帯である場合	10/10
・被災世帯である場合	10/10
・その他特別な事由があると認められた場合	10/10
・同一世帯から2人以上の児童が参加する場合の2人目児童	1/2

※は8月を除く。

3　予算額

（単位:千円）

賃金	旅費	需用費	役務費	委託料	備品購入費	合計
39,294	20	2,199	450	119	600	42,682

4　事業の効果　　子ども達の健全育成を図ることができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	2	目	6	細事業名	ファミリー・サポート・センター事業	所属	保健福祉課
目　名　称	子ども・子育て支援事業費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	720					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	99
	前年度当初	720	前年度最終	720						720	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実

1　目的

地域で子育てを支援してほしい人と子育てを応援したい人とを結びつける地域子育て相互支援システムを構築することにより、子どもを生み育てやすい環境づくりを推進する。

2　事業内容

社会福祉協議会に委託し、ファミリー・サポート・センターを設置する。また利用料を補助することによる利用促進を図る。

事業内容

利用会員	利用会員は、白石町に住所を有し、子育ての援助を受けたい者とする。
協力会員	協力会員は、白石町に住所を有し、原則として子育てに関する知識・経験を有する者で子育ての援助をしたい者とする。

1．ファミリー・サポート・センター事業

①病気回復期の子どもを預かる。
②保護者の疾病、通院、冠婚葬祭等の場合に子どもを預かる。
③食事の世話、洗濯、掃除、買い物等の家事支援。
④上の子どもがいる場合の保育施設等への送迎や子どもの世話。
⑤その他、会員間で行う子育て相互支援活動としてふさわしいこと。

2．ファミリー・サポート・センター事業利用促進補助金

①利用料の1/2を白石町社協に対し助成する。利用者負担は実質1/2となる。

登録・利用実績

年度	利用登録	協力登録	延利用件数	延利用時間	促進補助金（円）
H22	39人	26人	19件	133.5hr	45,825
H23	43人	29人	40件	36.3hr	20,975
H24	40人	27人	60件	12.65hr	42,425
H25	61人	9人	87件	184.5hr	72,450
H26	64人	9人	118件	151hr	87,800
H27	58人	9人	58件	37hr	25,900

※登録数は年度当初、H27実績はH27.9末現在

3　予算額

単位：千円

区分	予算額	支出内訳
委託料	600	右欄に明細
補助金	120	・標準1時間当たり利用料600円のうち、300円を補助　@300×130時間 ・6時以降の預かり利用料700円のうち、350円を補助　@350×230時間
合 計	120	

委託料明細

項目	予算額	内容
賃金	448,000円	コーディネーター
報償費	5,000円	研修会講師謝礼　5,000×1回＝5,000
旅費	3,000円	講師旅費
需用費	42,000円	事務用品、チラシ印刷
役務費	84,000円	切手、傷害保険等
賃借料	18,000円	コピー機　他
計	600,000円	

4　事業の効果

子育て世代の負担軽減に寄与する。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計							単位:千円
款	3	項	2	目	6	細事業名	利用者支援事業		所属	保健福祉課
目 名 称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳				予算書頁
予 算 額	666 前年度当初 514 前年度最終 514					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	98・99
						110	110			446	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実

1 目的

子ども・子育て支援の推進にあたり、子ども及びその保護者等、または妊娠している方が教育・保健施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう身近な実施場所で情報収集と提供を行い、必要に応じ、相談・助言等を行うとともに関係機関との連絡調整等を実施し、安心して子育てができる環境を整備し子育て家庭等を支援する。

2 事業内容

① 子育て等に関する相談(個別ニーズの把握、情報集約、提供、相談)
　・保健福祉課 窓口　・子育て相談日の設置(週に1回程度実施、役場相談室 要予約)
② 教育分野等含めたようり幅広い情報収集、提供
③ 施設・事業等の利用にあたっての助言・利用支援(アフターフォロー)
④ 療育支援事業 (子育て相談の計画・実施)
⑤ 養育支援訪問 母子保健推進員のフォロー
⑥ 乳児家庭全戸訪問 母子保健推進員のフォロー
⑦ 要保護児童等の家庭訪問、家庭教育支援
⑧ ママカフェの実施 (子育てに役立つ情報の提供、毎回テーマを変えての子育てを楽しむための計画・実施)

3 予算額

節	予算額(千円)	細節	金額(円)	内容	積算根拠
賃金	240	日々雇用賃金	240,000	育児家事援助賃金	4,000円×2名×30回=240,000円(養育支援)
報償費	352	謝礼及び謝金	352,000	医師謝金	15,000円×1名×2回=30,000円(親子)
				臨床心理士・言語聴覚士・療育指導士	12,000円×2名×3回=72,000円(親子) 4,000円×2h×10回=80,000円(親子)
				保健師・看護師	5,000円×2名×6戸=60,000円(養育支援)
				助産師等	10,000円×1名×2戸=20,000円(養育支援)
				心理カウンセラー	15,000円×2回=30,000円(ママカフェ)
				栄養士	5,000円×2h×2回=20,000円(ママカフェ)
				その他講師	4,000円×2h×5回=40,000円(ママカフェ)
旅費	10	費用弁償	10,000	研修出席費用弁償	1,000円×2人×5回=10,000円(養育支援)
需用費	64	消耗品費	64,000	子育て相談用 ママカフェ用	2,000円×1式×12回=24,000円(親子) 4,000円×1式×10回=40,000円(離乳食材料費含む)(ママカフェ)
合計	666		666,000		

養育支援補助金対象金額 財源内訳:国1/3、 県1/3、 町1/3

4 事業の効果

妊娠から出産、乳幼児までの相談保健指導等及び発達障害児に対して専門機関につなげて適切な支援ができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	2	目	6	細事業名	地域子育て支援事業	所属	保健福祉課
目　名　称	子ども・子育て支援事業費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	15,615					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	100
	前年度当初	15,615	前年度最終	15,615		5,204	5,204			5,207	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実

1　目的

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子供や子育てをめぐる環境が大きく変化するなか、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や負担感の増大といった問題が生じている。子育ての負担感等の緩和を図り、安心して子育て・子育ちができる環境を整え、きめ細かな子育て支援サービスを提供し子育て支援機能の充実を図る。

2　事業内容

1. 地域子育て支援拠点事業

常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。

事業形態　ひろば型、週5日（月曜日～金曜日・第2土曜日）　時間：午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施する。

2. 一時預かり事業（一般型）：保育所、地域子育て支援拠点又は駅周辺等利便性の高い場所など、一定の利用児童が見込まれる場所で実施。

事業形態　週5日（月曜日～金曜日・第2土曜日）　時間：午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施する。

3. 一時預かり事業（余裕活用型）：保育所等で実施するもので、実施場所の定員の範囲内において実施。

※有明ふたば保育園、有明わかば保育園にて実施

4. 一時預かり事業（幼稚園型）：在園児（教育標準時間の子ども）と園児以外の子どもの一時預かりも併せて実施。

※認定こども園ありあけ幼稚園にて実施

平成26年度利用状況（延べ人数）　単位：人

年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H26.12	238	297	429	90
H27. 1	188	241	618	62
H27. 2	266	352	491	84
H27. 3	213	278	491	92
計	905	1,168	2,073	328

平成27年度利用状況（延べ人数）　単位：人

年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H27. 4	169	221	390	48
H27. 5	166	199	365	45
H27. 6	245	282	527	37
H27. 7	251	322	573	26
H27. 8	246	312	558	11
H27. 9	231	287	518	34
H27.10	184	221	405	49
H27.11	227	296	523	59
計	1,719	2,140	3,859	309

3　予算額

（単位：千円）

節	事業名	予算額	財源内訳			
			国庫支出金	県費	その他	一般財源
19　負担金、補助及び交付金	地域子育て支援拠点事業	10,523	3,507	3,507		3,509
	一時預かり事業	5,092	1,697	1,697		1,698
	合計	15,615	5,204	5,204		5,207

財源内訳：子ども・子育て支援事業

地域子育て支援拠点事業（国1/3、県1/3、市町1/3）

一時預かり事業（国1/3、県1/3、市町1/3）

・一般型（地域密着型Ⅱ）　300人以上900人未満　1,500,000円

・余裕活用型　単価　2,100円/1人

・幼稚園型　単価　400円/1人

4　事業の効果

地域子育て支援拠点事業は、子育て家庭の身近な拠り所として、異世代交流、父親の育児参加、地域コミュニティ活性化を実現できる場とする。

また、一時預かり事業は、保護者の就労形態の多様化、疾病等、育児に伴う心理的、肉体的負担の軽減が期待できる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	1	目	1	細事業名	不妊治療支援事業費	所属	保健福祉課
目　名　称	保健衛生総務費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	3,400 前年度当初　2,340　前年度最終　2,340					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103
									2,500	900	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　3　節	保健・医療体制の充実

1　目的

子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、子どもに恵まれず不妊に悩み、不妊治療を受ける夫婦が増加している。
このことから、体外受精をするために高額な不妊治療を受ける夫婦に対して、当該不妊治療に係る医療費の一部を助成することにより、医療費の負担軽減を図ることを目的とする。

2　事業内容

＊助成方法　　償還払い方式
＊対象者　　佐賀県不妊治療支援事業の対象者であり、夫婦のいずれかが町内に住民登録し、引き続き1年以上居住していること。
＊助成対象とする不妊治療費　　佐賀県不妊治療指定医療機関で実施された、戸籍上の夫婦間で行う健康保険が適用されない不妊治療。
＊助成額　　医療機関で支払った費用から佐賀県不妊治療支援事業助成金額を差し引いた額の一部
ただし、助成回数は佐賀県の事業に準ずる。
（平成27年度から限度額10万円を撤廃）

3　予算額

節	予算（千円）	細　節	金　額（円）	備考
負担金補助	3,400	補助金	3,400,000	不妊治療支援事業補助金

※ふるさと基金　2,500千円充当

参考　申請件数　　出生数

21年度	12件	8組	2
22年度	10件	7組	2
23年度	18件	13組	4
24年度	22件	13組	4
25年度	16件	11組	4
26年度	13件	9組	2
27年度	8件	7組	0

平成27年11月末現在

4　事業の効果

高額な医療費負担の助成により経済的負担の軽減が図られ、少子化対策の一助となる

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	4	項	1	目	1	細事業名	子どもの医療事業費	所属	保健福祉課
目　名　称	保健衛生総務費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	41,705 前年度当初　45,157　前年度最終　38,657					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	102～104
							20,752	18,000	201	2,752	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　1　節	子育て支援の充実

1　目的

出生から就学前子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と家庭の経済的負担の軽減に努める。

2　事業内容

※出生から就学前までの子どもを対象に、保険給付の一部負担金から、医療機関及び保険者ごとに、1月当たり入院は上限1,000円、入院外は上限1回目500円・2回目500円の自己負担を控除した医療費について助成を行う。ただし、薬局は一部負担金を全額助成する。（県内の医療機関診療分は現物給付）

※県外で受診した場合の医療費については、償還払いとする。

※高額医療費に該当した場合については、高額療養費該当者の代理申請を行う。

※医療費の助成については、国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託。

役務費（支払審査手数料）　2,204,050円

国保連合会		8,000件 × @99.66円 =	797,280円
支払基金	医科・歯科	11,300件 × @94.1円 =	1,063,330円
	調剤	7,200件 × @47.7円 =	343,440円
			2,204,050円

医療費支払い実績（見込（現物給付＋償還払）　（単位：円）

支払月	H27年度		H28年度(見込)	
	件数	金額	件数	金額
4月	2,102	2,795,917	2,400	3,200,000
5月	2,076	2,869,644	2,100	3,000,000
6月	1,723	2,341,720	2,000	2,900,000
7月	1,734	2,808,070	2,000	2,900,000
8月	1,746	2,529,920	2,000	2,900,000
9月	2,037	2,959,009	2,100	3,000,000
10月	1,773	2,484,150	2,100	3,000,000
11月	1,855	2,680,552	2,100	3,000,000
12月	2,100	2,800,000	2,100	3,000,000
1月	2,500	3,300,000	2,500	3,300,000
2月	2,100	3,300,000	2,500	3,300,000
3月	2,500	3,300,000	2,500	3,300,000
未熟児医療	10	200,000	10	200,000
				37,000,000円

3　予算額　（千円）

節	予算額	財源内訳				内　容
		県補助金	高額医療収入	地方債	一般財源	
12　役務費	2,205					審査手数料（国保連・支払基金）
20　扶助費	37,000	20,752	201	18,000	2,752	H27実績,H28見込より推計
23　繰出金	2,500					現物給付に伴う国保財政影響分
計	41,705	20,752	201	18,000	2,752	

4　事業の効果

病気に感染しやすい乳幼児に対しての医療費を助成することで、疾患の早期発見及び早期治療が出来るとともに、保護者の経済的負担の軽減が図られる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計

単位：千円

款	4	項	1	目	1	細事業名	小学生・中学生医療事業費	所属	保健福祉課
目 名 称	保健衛生総務費					財 源 内 訳		予算書頁	
予 算 額	23,400 前年度当初 20,400 前年度最終 23,400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103
								20,000	1	3,399	継 続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実

1 目的

小学生、中学生の医療費の一部を助成することにより、疾病の早期治療と保護者の経済的負担の軽減を図り、小学生、中学生の保健の向上及び子育て支援体制の充実を目的とする。

2 事業内容

小学生・中学生を対象に、保険医療機関等において医療を受け、医療費の一部を負担した場合は、当該一部負担金から自己負担金（入院及び入院外それぞれ1月につき1,000円。ただし、薬局は除く。）を控除した額を助成する。支払い方法は、償還払いとする。

3 予算額

（単位：円）

節	予算額
20 扶助費	23,400,000
計	23,400,000

医療費支払（見込）状況

（単位：円）

支払月	平成27年度実績		平成28年度見込	
	件数	金 額	件数	金 額
4月	1,053	1,848,386	1,000	2,000,000
5月	994	1,894,120	1,000	2,000,000
6月	704	1,457,901	700	1,400,000
7月	1,743	2,718,510	1,800	2,900,000
8月	756	1,818,166	800	1,500,000
9月	680	1,260,730	700	1,400,000
10月	1,000	1,950,394	1,000	2,000,000
11月	817	1,501,113	800	1,500,000
12月	1,000	2,100,000	1,000	2,000,000
1月	1,000	2,100,000	1,000	2,000,000
2月	1,200	2,300,000	1,200	2,300,000
3月	1,300	2,400,000	1,300	2,400,000
計	12,247	23,349,320	12,300	23,400,000

4 事業の効果

子どもの疾病の早期発見、早期治療及び家庭の経済的負担の軽減を図る。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	1	目	2	細事業名	予防接種事業費	所属	保健福祉課
目　名　称	予防費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	62,321 前年度当初　59,427　前年度最終　59,427					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104・105
							152			62,169	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　3　節	保健・医療体制の充実

1　目的

感染症の蔓延を予防し、公衆衛生の向上を図る。また、妊婦の風しん感染を防ぎ、先天性風しん症候群の発生予防を図る。

財源内訳
佐賀県妊娠安心風しん予防接種事業補助金　県1/2補助
（委託料295,890円＋事務費9,752円）×1/2=152,000 円

2　事業内容

① 予防接種法による定期接種及び定期外予防接種を実施する。
② 実施方法:予防接種実施医療機関に直接申込み個別接種により実施する。(H25年度よりすべて個別接種)
③ 対象者:乳幼児及び小中高校生及び65歳以上の高齢者。
④ 子宮頸がん予防接種は、平成25年度から定期接種となったが、副反応に関する情報提供が不十分なため、積極的勧奨が全国的に差し控えられている。
⑤ 平成26年10月から水痘と高齢者の肺炎球菌予防接種が定期接種となる。
⑥ 0才～中学3年生までのインフルエンザ接種者は、代理受領による個別接種で実施し、1人2，000円を助成する。
⑦ 平成22年度から日本脳炎予防接種は、積極的勧奨が再開となり、随時積極的勧奨を実施しており、 平成28年度は、高3、中3、中2に個別通知予定
⑧ 先天性風しん症候群の発生予防のため、風しんの予防接種費用を助成(H25年度～平成28年度)
⑨ 予防接種健康被害調査委員会(任期2年)
　組織:副町長・杵藤保健所長・県医師会推薦医師(2名)・地区医師会推薦医師(1名)・学識経験者(1名)

3　予算額

節	予算額(千円)	細節	予算額	予算額	備考
報　酬	40	委員報酬	40,000	40,000	予防接種被害調査委員　10,000 × 4 名 = 40,000 円
旅　費	4	費用弁償	4,000	4,000	予防接種被害調査委員　1,000 × 4 名 = 4,000 円
需用費	125	消耗品費	125,000	124,686	色上質紙(予診票)、ミシン目入色上質紙(予診票)、予防接種手帳　124,686 円
役務費	1,387	通信運搬費	233,000	232,240	予防接種通知代　82 × 1420 枚 = 116,440 円 120 × 40 枚 = 4,800 円　肺炎球菌 111,000
		手数料	1,154,000	1,153,738	審査支払手数料　104.6 × 11030 件 = 1,153,738 円
委託料	60,565	その他委託料	60,565,000	60,564,100	予防接種委託料　4種混合等　60,268,210 円 妊娠安心風しん　295,890 円
扶助費	200	扶助費	200,000	200,000	償還払い　200,000 円
計	62,321			62,318,764	

4　事業の効果

免疫効果を上げることにより、感染予防と重症化防止につながる

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	4	項	1	目	2	細事業名	成人検診事業費	所属	保健福祉課
目　名　称	予防費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	27,249 前年度当初　26,684　前年度最終　26,684					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104・105
						58	843		2,803	23,545	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち　【保健・福祉の充実】	基本計画 第　3　節	保健・医療体制の充実

1　目的

町民の健康維持のため疾病の予防、早期発見・治療、重症化の予防を目的に、各種検診を実施しする。
近年受診率低下がみられるため、多様なﾆｰｽﾞに対応できる検診体制づくりを行い受診率向上を図る。
また検診後の事後指導の充実を図り、早期治療・重症化予防につなげていく。

【歳入】
- がん検診推進事業　117,638×1/2≒58,000円
- 健康増進事業費補助金(健診関係分)982,860×2/3≒655,000
- がん検診受診率向上事業費補助金358,000×1/2≒188,000

2　事業内容

検診名	対象年齢	検診方法
胃、大腸、肺がん検診	40歳以上	集団検診
子宮がん検診	20歳以上　(2年に1回)	集団検診　個別健診
乳がん検診	40歳以上　(2年に1回)	集団検診　個別健診
前立腺がん検診	40歳以上	集団検診
肝炎ウイルス検査	30歳以上で検査を受けたことのない人	集団検診
結核検診	65歳以上	集団検診
骨粗鬆症検診	※平成28年度　年齢指定して集団で実施	

※平成28年度に住民健診の意向調査を実施　(平成29年度の検診に反映)

H26年度	2,985,700	
H27年度	3,200,000	(見込)
H28年度	2,803,000	(見込)

3　予算額

節	予算(千円)	細　節	備　考
賃　金	512	日々雇用職員賃金	検診通知、受付 肝炎陽性者追跡調査
需用費	312	消耗品費	クーポン券、返信用等封筒、検診手帳(女性のがん検診)、がん検診各種用品
		燃料費	灯油
		印刷製本費	子宮がん・乳がん検診無料ｸｰﾎﾟﾝ券、乳がん、子宮がん検査精密依頼書等、検診日程表印刷
役務費	3,065	通信運搬費	検診通知、子宮がん・乳がんクーポン発送、未受診者再勧奨通知送料、精密検診等返送料
委託料	23,308	委託料	がん検診(乳・子宮・肺・大腸・胃がん・前立腺がん検診)、肝炎検診、生保健診、骨粗鬆症検診委託料、意向調査集計委託
使用料及び賃借料	52	その他使用料	自有館空調使用料
計	27,249		

4　事業の効果　　各種がんの早期発見と早期治療ができ、生活の質を高め医療費の軽減ができる。

区分	平成28年度 当初			会計	一般会計
款	3	項	1	目	2
目名称	障害者福祉費				
予算額	551,741 前年度当初 516,149 前年度最終 526,211				

単位:千円

細事業名	障害者自立支援給付費	所属	長寿社会課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83～85
274,911	137,455			139,375	継 続

白石町総合計画	基本計画		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1 目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的(に支援するため、必要な障害福祉サービスを給付する。

2 事業内容

障害者がサービス提供事業所と契約し、支給決定サービス量に応じた支援を受ける。

○訪問系サービス （居宅介護、同行援護、行動援護など）　○日中活動系サービス （生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援等）
○居住系サービス （施設入所支援、グループホーム）　○計画相談支援
○精神障害者デイケア のびのび会　（事業は健康づくり係で実施）

3 予算額

11 需用費	消耗品費	精神障害者デイケア(のびのび会 実習材料費)	4,000 円×	6 名=	24,000 円	24 千円
		受給者証・ケースファイル・プリンタートナー代(円滑化事業から組替え)			80,000 円	80 千円
13 委託料	その他委託料	支援費給付事務委託料(自立支援給付費)	70,000 円×	12 月=	840,000 円	840 千円
14 使用料及び賃借料	その他借上料	支援費ソフトリース料(地方自治法に基づく長期継続契約)	902,400 円×	1.08 =	974,592 円	975 千円
20 扶助費	介護給付費・訓練等給付費・相談支援給付費 （平成28年度所要見込額）				549,822,000 円	549,822 千円

（ 国庫 1/2 県費 1/4 ）

○主なサービスの利用者数と給付費

居宅介護	31人	20,832千円	就労移行支援	11人	20,724千円
療養介護	17人	53,652千円	就労継続 A型	21人	29,736千円
生活介護	72人	159,840千円	就労継続 B型	79人	121,344千円
施設入所支援	54人	58,968千円	ｻｰﾋﾞｽ利用書作成	延 420人	7,560千円
共同生活援助	39人	53,352千円	補足給付費	88人	13,728千円

当初予算額 551,741 千円

4 事業の効果

障害者に必要な障害福祉サービスを提供することにより、障害者及びその家族の地域生活を支援することができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	2	細事業名	自立支援医療費	所属	長寿社会課
目　名　称	障害者福祉費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	23,496 前年度当初　22,884　前年度最終　32,678					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	84～86
						11,700	5,850			5,946	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1　目的

更生医療は、身体障害者で、また、育成医療は、18歳未満の障害児又は現存する疾患で放置することで将来障害を残すと認められる児童で、その障害を除去・軽減する手術等で確実に効果が期待できるものに対し、更生・育成のために必要な自立支援医療費の支給を行い、これら障害者(児)の福祉の向上を図る。

2　事業内容

○医療費の支払方法
- ・更生医療及び育成医療の指定医療機関に委託して行う。
- ・原則として現物支給によって行う。
- ・育成医療の補装具支給については償還払いによって行う。

○申請の資格審査
- ・更生医療は、更生相談所に判定を依頼。育成医療は、過去の疾患リストを参考に審査。

○障害者総合支援法により、原則医療費の1割が自己負担で、食事療養費も実費負担となるが、生活保護受給者については、医療費、食事療養費ともに全額公費にて給付。

○育成医療については、平成25年4月1日より県より権限移譲。

○医療費の支払先(県を通じて支払事務委託)
- ・佐賀県国民健康保険団体連合会
- ・佐賀県社会保険診療報酬支払基金
- ・育成医療の補装具支給については申請者

3　予算額

13委託料　○審査支払事務委託料

平成27年9月診療分までの平均月額　53,985円÷7月＝7,713円

平成28年度見込額　8,000円×12月＝96,000円

当初予算額　96千円

20扶助費

更生医療給付費	生保以外	平成27年9月診療分までの平均月額	8,921,903円÷7月≒1,275,000円
		平成28年度見込額	1,350,000円×12月＝16,200,000円
	生保分	平成27年9月診療分までの平均月額	8,415,478円÷7月≒1,203,000円
		平成28年度見込額(人工透析1人分)	500,000円×12月＝6,000,000円
育成医療給付費		平成27年9月診療分までの実績	429,844円
		平成28年度見込額	100,000円×12月＝1,200,000円

当初予算額　22,200千円

当初予算額　1,200千円

(　国庫　1/2　県費　1/4　)

4　事業の効果

医療給付により身体障害者(児)の福祉の向上に寄与できる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	2	細事業名	重度心身障害者医療給付費	所属	長寿社会課
目　名　称	障害者福祉費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	54,030					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83・85
	前年度当初	54,040	前年度最終	54,040			27,000			27,030	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1 目的

重度の身体障害又は知的障害を有する者について、医療費の一部を助成することにより、これらの者の保健の向上及び福祉の増進を図る。

2 事業内容

【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例】
【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例施行規則】

○対象者　白石町に住所を有する者で次の各号のいずれかに該当する者
ただし、生活保護法による医療費扶助を受けている者を除く。
(1)重度身体障害者　身体障害者程度等級表の1級又は2級に該当する者
(2)重度知的障害者　知的障害の程度が知的指数35以下の者
(3)重複障害者　身体障害者程度等級表の3級に該当し、かつ知的障害の程度が知的指数50以下の者

○内容　(1)申請により助成のための受給資格登録を行い受給資格証を交付する。
(2)1月500円の自己負担額及び高額療養費等を差し引いた額を助成する。
(3)入院時の食事療養費は自己負担とする。

○助成の制限　前年の所得(県の交付要綱により特別児童扶養手当等に関する法律第20条及び21条に規定する額)により、助成の制限あり。

3 予算額

11需用費　消耗品費(ラベル用紙、スティックのり他)　30,000円　当初予算額　30 千円

20扶助費　重度心身障害者医療費助成事業費
○ H27年4月～10月までの平均助成月額　30,416,444円÷7月≒4,346,000円
○ H28年度医療費見込額　4,500,000円×12月＝54,000,000円
当初予算額　54,000 千円
（補助率 ： 県費 1/2）

4 事業の効果

重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計							単位：千円
款	3	項	1	目	2	細事業名	相談支援事業費		所属	長寿社会課
目名称	障害者福祉費					財源内訳			予算書頁	
予算額	11,941 前年度当初 8,063 前年度最終 8,063					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	84
									3,781	8,160	継続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1 目的

障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助を行う。

2 事業内容

【白石町相談支援事業実施要綱】

○ 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一つで、市町村の必須事業である。
○ 障害のある人、保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供及び助言等や権利擁護のために必要な援助を、相談支援事業の研修を受けた相談支援専門員が対応する。
○ 相談支援事業は、24時間365日対応とし、社会福祉法人に委託して実施する。
○ 白石町・江北町との共同により設置し、経費については、均等割20%、人口割80%で按分。平成28年度より、白石町が全額を支払い、江北町より負担金を徴収する。
○ 相談事案の複雑化、支援期間の長期化に対応するため、また、個別訪問等によりセンターが無人となり、来所相談に十分対応できていないため、平成26年度より1名増員して対応。

3 予算額

13 委託料

障害者相談支援事業委託費【交付税対象】

○ 相談支援委託事業者	社会福祉法人たちばな会（県指定相談事業者）			
○ 経費配分	均等割（20%）及び人口割（80%）にて算定			
○ 事業費	平成23年度	10,797,383円	内白石町負担分	7,451,000円
	平成24年度	10,949,651円	内白石町負担分	7,483,000円
	平成25年度	10,210,300円	内白石町負担分	6,976,494円
	平成26年度	12,059,276円	内白石町負担分	8,239,862円
	平成27年度	11,800,351円	内白石町負担分	8,062,944円
	平成28年度見込額	11,940,245円	内白石町負担分	8,158,531円

当初予算額 11,941 千円

4 事業の効果

障害者やその家族からの相談に対し、より専門的な助言、支援ができるほか、24時間365日の対応が可能であり、きめ細かな対応ができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	3
目　名　称	老人福祉費				
予　算　額	17,042 前年度当初　20,363　前年度最終　17,989				

細事業名	敬老の日記念事業費	所属	長寿社会課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	87～91
		13,000		4,042	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち　【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者（児）福祉の充実

1　目的

長年にわたり、社会に貢献された高齢者に対し、敬意を表し、長寿を祝福する。

2　事業内容

・地域で行われる、高齢者の長寿を祝う行事にかかる経費の一部を助成する。

・長寿祝金、敬老記念品を贈呈する。

	敬老記念品	長寿祝金
対象者	男女の最高齢者	満80歳、85歳、90歳、95歳及び100歳以上の者
敬老記念品額 及び長寿祝金額	5，000円	一律10,000円
支給日及び方法	9月16日から9月末(商品券、訪問)	9月末（現金、口座振込）

3　予算額

（単位:円）

報償費			需用費		役務費		補助金		扶助費	
敬老記念品					通信運搬費		地域敬老事業助成金及び記念品代助成		長寿祝金	
最高齢　5,000 円 ×　2 人	10,000	消耗品費		口座確認	68,000	1,800 円 ×　4,718　人	8,492,400	80才　10,000 円 ×　310 人	3,100,000
		生花	7,000	振込案内	68,000			85才　10,000 円 ×　249 人	2,490,000
		消耗品	50,000	受取人払い	56,000			90才　10,000 円 ×　177 人	1,770,000
								95才　10,000 円 ×　61 人	610,000
								100才以上　10,000 円 ×　32 人	320,000
	10,000		57,000		192,000		8,493,000		8,290,000

4　事業の効果

地域の敬老意識の高揚につながり、明るく豊かな長寿社会を築くことができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	1	目	3	細事業名	地域サロンモデル事業	所属	長寿社会課
目　名　称	老人福祉費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	364 前年度当初　364　前年度最終　364					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	89
										364	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者（児）福祉の充実

1　目的

地域の高齢者をはじめとした住民が、歩いて行ける場所に主体的に集まり、交流し活動することで、高齢者の社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上を図るためにモデル的に事業を実施する。

2　事業内容

【委託先】　白石町社会福祉協議会
【対象者】　地域の高齢者及び地域住民
【実施施設】　地域の集会所
【事業内容】　モデル事業として、町内3カ所の地域で健康体操を軸としたサロンを月2回開催する。
【実施期間】　6ケ月間

3　予算額　（単位：円）

予算科目	予　算　額	内　　容
13　委託料	364,000	賃金・傷害保険料・事務用品・運営支援費

実施地区
平成25年度…新明1農区、六府方
平成26年度…馬田、戸ケ里、上区
平成27年度…船野、多田

4　事業の効果

地域で、その地域の住民が主体となって事業を実施することで住民の関心が高まり、高齢者の心身の健康はもとより、地域コミュニティの活性化にもつながる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計						単位:千円
款	3	項	1	目	3	細事業名	地域医療介護総合確保事業		所属	長寿社会課
目　名　称	老人福祉費									
目の予算額						財源内訳				予算書頁
予　算　額	14,400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	91
	前年度当初	0	前年度最終		0		14,400			0	新　規

白石町総合計画	基本構想		基本計画	
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	第　2　節	地域・高齢者・障がい者（児）福祉の充実

1　目的

地域の実情に応じて、多様な人材の参入の促進、資質の向上、労働環境・処遇の改善の観点から、
施設内保育施設の整備に係る経費に対して助成を行うことにより介護人材を確保する。

2　事業内容

施設内保育施設整備に係る経費を助成する。
（桜の園　託児所）

3　予算額

（単位:円）

予算科目	予算額	内　容
19　負担金補助及び交付金	14,400,000	保育施設整備費補助金

※　財源:佐賀県地域医療介護総合確保基金事業補助金

4　事業の効果

介護職員が子育てをしながら働き続けることのできる環境整備をすることにより、介護人材の確保につながる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	1	目	3	細事業名	介護保険事業費	所属	長寿社会課
目　名　称	老人福祉費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	449,699 前年度当初　480,764　前年度最終　444,273					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	90
										449,699	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者（児）福祉の充実

1　目的

加齢に伴って生ずる認知や疾病等により介護が必要になった人に対して、その人がもつ能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、必要な介護サービスの提供を行う。

2　事業内容

杵藤地区市町村圏組合が保険者となり、介護保険事業を実施し、運営する。

構成市町は、介護給付及び予防給付等に要する費用の一部を負担する。（保険料50%、国25%、県・町12.5%）

◆高齢者数・要介護者数の状況（平成27年10月31日現在）

総人口	24,430 人	要介護・要支援認定者数	1,730 人		
40-64歳	7,982 人				
65-74歳	3,064 人	要支援1	236 人	要介護1	367 人
75歳以上	4,413 人	要支援2	235 人	要介護2	288 人
高齢化率	30.6 %			要介護3	226 人
				要介護4	199 人
				要介護5	179 人

各年度末

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
高齢者数	7,436人	7,274人	7,236人	7,331人	7,434人	7,521人
高齢化率	28.3%	28.0%	28.3%	29.0%	29.8%	30.6%
認定者数	1,549人	1,585人	1,590人	1,672人	1,711人	1,728人

◆介護保険サービス

在宅サービス	通所介護(ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ)、通所リハ(ﾃﾞｲｹｱ)、短期入所生活(ｼｮｰﾄｽﾃｲ) 訪問介護(ﾎｰﾑﾍﾙﾌﾟ)、訪問入浴介護、訪問リハ、訪問介護、居宅療養管理指導 福祉用具貸与、特定福祉具販売、住宅改修費支給
施設サービス	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
地域密着型サービス	小規模多機能居宅介護、認知症対応型共同生活介護(ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ)ほか

3　予算額

介護保険負担金

介護保険費負担金　449,699 千円

4　事業の効果

保険者に対して介護保険法に基づく必要額を支出し、介護保険事業の安定的運営を図ることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	3	細事業名	生きがい活動支援通所(デイサービス)事業	所属	長寿社会課
目　名　称	老人福祉費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	16,491 前年度当初　16,767　前年度最終　16,767					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	89
									16,491	継　続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実

1　目的

家に閉じこもりがちなおおむね65歳以上の者に対して、日常動作訓練、趣味活動、生きがい活動等の各種サービスを提供し、
社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図る。

2　事業内容

【委託先】　白石町社会福祉協議会
【対象者】　介護認定審査会において非該当と認定された者及びそれに準ずる者で町長が特に必要と認めるもの
【実施施設】　白石町交流館
【事業内容】　生活指導、日常動作訓練、健康チェック、昼食、養護、送迎

【利用実績】

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
登録者数	198人	199人	174人	185人	210人	155人	141人
延べ参加者数	6,610人	6,148人	6,413人	5,542人	5,539人	5,366人	5,301人

3　予算額

委託料

生きがい活動支援通所事業委託料　　69,000 円　×　239 日　＝　16,491,000 円　　(3,000円×1日×23人＝69,000円)

4　事業の効果

社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図り、自立した生活を継続することができる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計					単位：千円
款	3	項	1	目	3	細事業名	食の自立支援事業費		所属	長寿社会課
目　名　称	老人福祉費					財　源　内　訳				予算書頁
						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	88・89
予　算　額	9,893 前年度当初 8,316 前年度最終 7,749								8,439	1,454	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　2　節	地域・高齢者・障がい者（児）福祉の充実

1　目的

食事の調理が困難な高齢者世帯等に、栄養バランスのとれた食事を訪問により提供し、安否の確認を行うことで自立した在宅生活の継続を図る。

2　事業内容

◆ 食の配食サービス

1日に2回(昼食・夕食)、日曜日を除く週6日間、食事を調理し宅配する。また、配食サービス時に利用者の安否確認を行う。
ただし、台風時等の際には希望者に事前申込によるパン・牛乳の実費配布を行う。
【委託先】　佐賀県農業協同組合白石地区統括支所

◆ アセスメント調査

年に1回アセスメント調査を行い、適正な利用か他のサービスが適しているか調整する。
【委託先】　在宅介護支援センター(白い石、桜の園、うたがき)

◆ 老朽化した配食用食器の更新

◆ 利用実績

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
登録者数	76人	64人	62人	68人	55人	46人
延べ配食数	20,378食	15,723食	14,909食	15,660食	14,295食	11,734食

3　予算額

需用費

消耗品費　配食用ボックス留め具　(210円×10組＋1,200円送料)×1.08				＝	3,564 円
委託料					9,889,000 円
食の自立支援配食事業費委託	600 円	×	8,000 食	＝	4,800,000 円
食の自立支援配食事業費委託(低所得)	700 円	×	7,000 食	＝	4,900,000 円
食の自立支援事業ｱｾｽﾒﾝﾄ調査委託 (新規利用時及び常時利用者年1回)	2,700 円	×	70 件	＝	189,000 円

※　財源：介護予防事業委託金　500円×500食＝250,000円
2,700円×70件＝189,000円
包括的支援事業委託金　200円×15,000食＝3,000,000円

4　事業の効果

高齢者の安心と健康で自立した生活を確保することができる。

※　ふるさと基金　5,000千円充当

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	3	細事業名	通所型介護予防事業費	所属	長寿社会課
目　名　称	老人福祉費					財　源　内　訳		予算書頁	
予　算　額	12,840 前年度当初　12,917　前年度最終　6,917					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	87～90
									12,840	0	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　5　節	社会保障の充実

1　目的

二次予防事業の対象者に対して通所型介護予防教室を行い、要介護状態の予防や悪化防止を図る。

2　事業内容

〇複合型介護予防教室（運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防の複合型プログラム）

運動器の機能が低下している、またはその恐れのある対象者に対し、運動器の機能向上に係る個別の計画を作成し、有酸素運動、ストレッチ、簡易な器具を用いた運動等を実施し、運動器の機能を向上させるための支援を行う。また、閉じこもり、認知症、うつの恐れのある対象者に対し、閉じこもり、認知症、うつに係る個別の計画を作成し、人とのふれあいや各種講座等と同時に運動指導を実施し、重度化を防止する。

介護予防教室
- ・シルバー教室　24回実施×2 ヶ所
- ・みのり教室（前期高齢者）　12回実施×1ヶ所

運動機能向上事業 しゃきっと教室（65歳　12回実施× 3ヶ所×3クール
水中らくらく教室　18回実施×1ヵ所×2クール

〇口腔機能向上プログラム

口腔機能が低下している、またはその恐れのある対象者に対し、口腔機能向上に係る個別の計画書を作成し、歯科医院通所による口腔機能向上訓練や口腔機能チェック等を実施し、口腔機能の維持・改善させるための支援を行う。

・口腔機能向上プログラム　6回／人　実施

3　予算額

歳出

12,840　千円

区　分	内　容	金　額
7賃金	教室の事前準備等賃金	39 千円
8報償費	講師謝金（口腔機能向上事業）	30 千円
11需用費	教室等消耗品、燃料費	160 千円
12役務費	通知用郵送費	185 千円
13委託料	介護予防教室委託料・送迎委託料（3教室）6,660,000円 運動機能向上事業委託料　（3ヵ所、各3クール）4,320,000円 水中運動教室委託料（1ヵ所、2クール）979,200円 口腔機能向上委託料450,000円	12,410 千円
14使用料及び賃借料	空調設備使用料（老人福祉センター）	16 千円

◎財源内訳
介護予防事業委託金
12,840 千円
一般財源
0 千円

4　事業の効果

二次予防事業の対象者に運動や栄養、口腔、閉じこもり、認知症、うつに関する教室の参加を呼びかけ、参加してもらうことで要支援、要介護状態になることを予防できる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	3	項	1	目	3	細事業名	介護予防普及啓発事業費	所属	長寿社会課
目名称	老人福祉費					財源内訳			予算書頁
予算額	6,233 前年度当初 4,524 前年度最終 2,184					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	87～90
									6,233	0	継続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 5 節	社会保障の充実

1 目的

介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域を目指し、健康教育、健康相談等の取り組みを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発を行う。

2 事業内容

1.一般の高齢者を対象に、運動機能向上を中心に認知症等健康教育を取り入れ、一定期間継続した教室を行い、介護予防の意識を高めて実践に結びつける。

○ 介護予防 水中運動教室　毎週1回×年間(40回)・・・春、夏、冬休みを除く　○介護予防音楽教室委託料　① 10回実施×3ヵ所
○ 健康アップ教室　12回実施×1コース　② サロン(1回) 10ヵ所
③ 出前講座等 15ヵ所

2.老人クラブ会員等の一般高齢者を対象に健康づくり、介護予防に関する知識の普及啓発を行う。

3.老人クラブに委託して、会員の健康づくり介護予防の活動を展開してもらう。

4.白石町介護予防体操を使用し普及を行う。

5. 認知症対策事業:認知症サポーター養成講座

3 予算額

歳出　6,233　千円

区分	内容	金額
7 賃金	教室での健康チェック(看護師等)	159 千円
8 報償費	教室、出前講座等での講師謝金	1,232 千円
11 需用費	教室等の消耗品費、燃料費等	310 千円
12 役務費	通知用郵送費	25 千円
13 委託料	介護予防教室委託料 （水中運動、健康アップ運動指導、音楽教室） 2,882 千円 老人クラブ健康づくり事業委託料 300千円 DVD作成委託料(介護予防ケーブル放送分編集) 432千円 ケーブルテレビ放送費委託料 455千円	4,069 千円
14使用料及び賃借料	冷暖房費、ふれあい郷施設使用料	438 千円

◎財源内訳
介護予防事業委託金
6,233 千円
一般財源
0 千円

4 事業の効果

高齢者に対して介護予防の実践と知識の普及をはかることで、元気で自立した生活を続けられる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	3	項	1	目	3	細事業名	生活支援体制整備事業費	所属	長寿社会課
目　名　称		老人福祉費				財源内訳			予算書頁
予　算　額	前年度当初	5,580	前年度最終	0		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	87～89
									5,580	0	新　規

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 5 節	社会保障の充実

1　目的

平成27年度の介護保険制度改正に伴い、杵藤介護保険事務所管内は平成29年4月から新しい介護予防・日常生活総合事業に移行するための事前整備。
1人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、認知症高齢者等さまざまな高齢者が生きがいをもちながら生活継続するための生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組み。生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加及び生活支援・介護予防の充実を推進する。

2　事業内容

第1層協議体研究会　12回

（1）生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進。コーディネート機能は、資源開発・ネットワーク構築を中心に充実。

エリアとしては、第1層の市町村区域で主に資源開発
（不足するサービスや担い手の創出・養成、活動する場の確保）

資源開発	ネットワーク構築
○地域に不足するサービスの創出 ○サービスの担い手の創出 ○元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保	○関係者間の情報共有 ○サービス提供主体間の連携の体制づくり

（2）協議体の設置　【多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組】

3　予算額　5,580 千円

08 報償費	480 千円	第1層協議体研修会謝金	2,000円×20人×12回＝480,000	
11 需用費	100 千円	消耗品費（用紙代等）	100,000円	
13 委託料	5,000 千円	生活支援体制整備事業委託料 （生活支援コーデネーター人件費等　）	5,000,000円	

◎財源内訳
新しい包括的支援事業委託金
5,580　千円
一般財源
0　千円

4　事業の効果

高齢者の生活支援を支えるため、多様な事業主体による重層的な生活支援・介護予防サービス提供体制の構築が計られる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計							単位:千円
款	3	項	1	目	3	細事業名	在宅医療・介護連携推進事業費		所属	長寿社会課
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳				予算書頁
予 算 額	4,000 前年度当初 0 前年度最終 0					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	87～90
									4,000	0	新 規

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 5 節	社会保障の充実

1 目的

平成27年度介護保険制度の改正により制度化された事業である。医療と介護の両方を必要とする状態の在宅高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する事業である。

2 事業内容

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療機関、介護事業者等の住所、機能等を把握し、これまでに自治体等が把握している情報と合わせて、リスト又はマップを作成し、活用する。

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

地域の医療・介護関係者が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行う。

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目のなく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、必要な具体的取組を企画・立案する。

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備するなど、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援する。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の受付を行う。

（カ）医療介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。また、必要に応じて、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催等の研修を行う。

（キ）地域住民への普及啓発

在宅医療や介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する。

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

複数の関係市町村が連携して、広域連携が必要な事項について協議する。

3 予算額 4,000 千円

8 報償費	326 千円	医療介護等関係者連絡会	研修会講師謝礼	12,000円×2人×6回＝144,000円
			代表者会報償費	2,000円×11人×6回＝132,000円
			パネリスト謝礼	10,000円×5人＝50,000円
9 旅費	110 千円	研修会講師旅費（大阪府）,市町村セミナー研修会旅費（東京都）		110,000円
11 需用費	60 千円	消耗品費（用紙代等）		60,000円
13 委託料	3,500 千円	在宅医療・介護連携推進事業委託料（武雄・杵島地区医師会委託）		3,500,000円
14 使用料及び賃借料	4 千円	冷暖房使用料		4,000円

◎財源内訳
新しい包括的支援事業委託金
4,000 千円
一般財源
0 千円

4 事業の効果

医療機関と連携体制を構築することで、切れ目のない在宅医療・在宅介護の提供体制が実現できる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	2	目	2	細事業名	ごみ処理センター負担金	所属	生活環境課
目　名　称	塵芥処理費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	108,010					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108
	前年度当初	193,794	前年度最終	189,676					933	107,077	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　6　章	参加と協働で築く町民主体のまち 【町民参加・町民協働】	基本計画 第　2　節	健全な行財政運営の推進

●犬の登録事務手数料を充当　933

1　目的

住民から排出された一般廃棄物を広域のごみ処理施設で適正処理する。

2　事業内容

白石町内から排出される一般廃棄物のうち、資源ごみを除く可燃・不燃・粗大ごみの適正処理を広域の一部事務組合で運営する。
また、県のごみ処理広域化計画に基づき、更なる広域にて新ごみ処理施設（熱エネルギー回収推進施設等）により適正処理を行う。

3　予算額

節	内　容	積算基礎	予算額
負担金補助及び交付金 （杵藤地区広域市町村圏組合）	ごみ処理センター費　（投入量割100%） ごみ処理施設整備費（旧施設運営負担金の合計金額割合）	7,874,000　円 749,000　円	8,623
負担金補助及び交付金 （西部広域環境組合）	ごみ処理施設の管理運営費　（ごみ搬入量の割合による） ごみ処理施設整備費　（均等割10%、人口割90%）	66,089,000　円 33,298,000　円	99,387
計			108,010

4　事業の効果

一般廃棄物の処理施設を広域で運営することにより、計画的かつ適正に処理することができ、併せて環境負荷の低減を図る。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	4	項	2	目	2	細事業名	一般廃棄物収集運搬業務（クリーンセンター搬入分）	所属	生活環境課
目　名　称	塵芥処理費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	75,763					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	107
	前年度当初	66,244	前年度最終	66,244					36,488	39,275	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 5 章	自然環境と共生するまち 【自然環境の保全】	基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり

●ごみ処理手数料を充当　35,090
●一般廃棄物処理業等の許可申請手数料を充当　18
●遠距離搬入補充金を充当　1,380
計　36,488

1　目的

市町村の責務である一般廃棄物の適正処理を行うため、さが西部クリーンセンターで処理する「可燃・不燃・粗大ごみ」の収集運搬を行う。
収集運搬の効率性を図るため町内を6ブロックに分割し、安定かつ安全にごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルールの周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図る。

2　事業内容

町内のごみステーションに排出される「可燃・不燃・粗大ごみ」をさが西部クリーンセンターへ収集運搬する業務を委託する。

3　予算額

	収集ブロック	収集地区	積算基礎	予算額
委託料	A1ブロック	主に白石地区	45,969,000 円 × 1.08 ＝ 49,646,520 円	75,763
	Bブロック	六角・須古地区		
	Cブロック	有明西地区		
	Dブロック	有明東・南地区		
	A2ブロック	主に北明地区	11,844,000 円 × 1.08 ＝ 12,791,520 円	
	Eブロック	福富地域	12,337,500 円 × 1.08 ＝ 13,324,500 円	

4　事業の効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルールの周知に努めながら衛生的な生活環境の向上が図れる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	2	目	2	細事業名	容器包装廃棄物再商品化事業	所属	生活環境課
目　名　称		塵芥処理費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額		4,306				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	107・108
		前年度当初	7,281	前年度最終	7,281					4,306	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 5 章	自然環境と共生するまち 【自然環境の保全】	基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり

1 目的

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づいて、容器包装廃棄物の適正な処理を行う。

2 事業内容

指定ごみ袋による回収や拠点回収等で収集した紙パック、カン、ビン、PETボトルを法の基準に基づいて分別し、再商品化処理又は再資源化処理を行う。

3 予算額

節	品目	内　容		積　算　基　礎	予算額	
需用費	紙パック	給食牛乳パック回収用袋（100枚/箱）		5 箱 × 4,400 円 ＝ 22,000 円	22	
委託料	カン	分別基準適合化処理		25,000 kg × 33.0 円 ＝ 825,000 円	825	4,284
	ビン	分別基準適合化処理		110,000 kg × 24.0 円 ＝ 2,640,000 円	2,703	
		再商品化業務委託※	無色	(33,000 kg × 4%) × 4.6 円 ＝ 6,072 円		
			茶色	(52,000 kg × 14%) × 6.1 円 ＝ 44,408 円		
			その他	(14,000 kg × 8%) × 10.6 円 ＝ 11,872 円		
	PETボトル	分別基準適合化処理		35,000 kg × 21.6 円 ＝ 756,000 円	756	
計						4,306

※ビンの再商品化業務は、日本リサイクル協会に引き渡しを行い、その委託料は （引渡し量×市町村負担率）×委託単価 で算定される。PETボトルの市町村負担率は0%
なお、市町村負担率と委託単価は年度ごとに算定される。
※紙パックについては、各小中学校へ再生トイレットペーパーとして還元。

4 事業の効果

分別収集した容器包装廃棄物をリサイクル処理することで、ごみの減量化及び資源の有効利用を図る。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	2	目	2
目　名　称	塵芥処理費				
予　　算　　額	5,943 前年度当初　12,064　前年度最終　12,064				

細事業名	容器包装廃棄物収集運搬業務	所属	生活環境課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	107
			1,919	4,024	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　5　章	自然環境と共生するまち 【自然環境の保全】	基本計画 第　2　節	環境にやさしいまちづくり

●PETボトル収益市町村分配金を充当　1,200
●再商品化合理化拠出金を充当　16
●資源ごみ売却収入を充当　703
計　1,919

1　目的

容器包装リサイクル法の趣旨により町が定めた分別収集計画に基づき、缶・ビン・ペットボトルの再商品化を行うため、資源ごみの分別収集を行う。
収集運搬の効率性を図るため町内を6ブロックに分割し、安定かつ安全にごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルールの周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図る。

2　事業内容

各家庭等から排出される「資源ごみ」を町が指定する中間処理施設までの収集運搬業務を委託する。

収集回数　→　缶・ビン・PET　月　1回

3　予算額

	収集ブロック	収集品目	積　算　基　礎					予算額
委託料	A～Dブロック	缶・ビン・PET	4,441,500円	×	1.08	＝	4,796,820円	5,943
	Eブロック	缶・ビン・PET	1,060,500円	×	1.08	＝	1,145,340円	

4　事業の効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルールの周知を行い、衛生的な生活環境の向上を図る。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計					単位:千円
款	4	項	2	目	3	細事業名	し尿処理業務(杵東衛生処理場組合負担金)	所属	生活環境課
目　名　称	し尿処理費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	106,612 前年度当初　109,227　前年度最終　109,227					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108
									23	106,589	継　続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	基本計画 第　6　章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第　2　節	健全な行財政運営の推進

●一般廃棄物処理業等の許可申請手数料を充当　23

1　目的

白石町内から排出されるし尿・浄化槽汚泥を広域で処理することにより、計画的な処理を行い公衆衛生の保全を図る。

2　事業内容

し尿・浄化槽汚泥の収集・運搬を許可業者により実施、杵東地区環境センターで処理する。

3　予算額

節	内　容	予　算　額	
負担金補助及び交付金	維持管理費	106,612,000　円	106,612

維持管理費内訳
平等割負担金　15%
投入量割負担金　85%

4　事業の効果

広域で処理することにより計画的な処理を行い、公衆衛生の保全を図る。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	3	目	1	細事業名	上水道一部事務組合への出資事業	所属	水道課
目　名　称		上水道費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	18,161 前年度当初　18,299　前年度最終　18,299					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	109
										18,161	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち　【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的　　上水道一部事務組合の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、一般会計から適切な繰出しを行う。

2　事業内容

【佐賀西部広域水道企業団】
〇水道水源開発・広域化対策に係る平成元年度以前の企業団借入分の元利償還に対する繰出金
〇企業団職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出金

【西佐賀水道企業団】
〇企業団職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出金

3　予算額

（単位:千円）

佐賀西部広域水道企業団繰出金				西佐賀水道企業団繰出金	合　計
児童手当分	水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金			児童手当分	
	償還元金分	償還利息分	小　計		
9	17,491	563	18,054	98	18,161

【繰出基準】　元利償還分　昭和61年度から平成元年度までの事業費に係る国庫補助対象事業費の7/30相当額の償還元利金に相当する額
児童手当分　地方公営企業職員に係る児童手当の給付に要する経費の合計額
ア　3歳に満たない児童に係る給付に要する経費の15分の8
イ　3歳以上中学校修了前の児童に係る給付に要する経費
ウ　児童手当法附則第2条に規定する給付に要する経費

4　事業の効果　　上水道一部事務組合の円滑な運営及び経営健全化に資することにより上水道の安定した供給体制を維持する。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	3	目	1	細事業名	水道事業特別会計への補助金	所属	水道課
目　名　称		上水道費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	50,417					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	109
	前年度当初	41,720	前年度最終	41,720						50,417	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的

町上水道事業会計の円滑な事業運営に資するため、必要な給水量確保や施設整備に係る経費等について、一般会計からの適切な操出し及び補助を行う。

2　事業内容

〇上水道高料金対策補助金　（自然条件等により建設改良費が割高のため資本費が高額となり、高水準の料金設定をせざるを得ない上水道事業について、料金格差の縮小に資するための補助）

〇統合簡水償還補助金　　（統合簡水に係る統合前の建設改良事業のために発行された企業債の元利償還金の一部に対する補助）

3　予算額

〇上水道高料金対策補助金　　（180.85－164）×1,662,961　＝　28,020,892円　　小計　28,021千円
（資本費－基準資本費）×年間有収水量

〇統合簡水償還補助金　　元金　33,827,630　÷　2　16,913,815円
利子　10,962,422　÷　2　5,481,211円　　小計　22,396千円　　合計　50,417千円

4　事業の効果

町上水道事業会計の円滑な運営及び経営健全化に資することにより、上水道の安定した供給体制を維持することができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	4	項	4	目	1	細事業名	浄化槽整備推進事業費	所属	下水道課
目　名　称	下水道費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	43,226 前年度当初　43,222　前年度最終　43,222					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	110・111
						8,579	8,579			26,068	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち　【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的

公共用水域の水質汚濁の原因として、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水が大きな問題となっている。水質汚濁を防止するために、家庭内において設置される浄化槽の経費の一部を助成し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2　事業内容

浄化槽設置事業により、50人槽以下の浄化槽を60基の整備を行う。

（単位：基、千円）

区　分	基数	国基準単価	町上乗せ単価	補助単価額	補助金額
5人槽	10	332	268	600	6,000
6人～7人槽	47	414	306	720	33,840
8人～10人槽	1	548	372	920	920
11～20人槽	1	939	0	939	939
21～30人槽	1	1,472	0	1,472	1,472
31～50人槽	0	2,037	0	2,037	0
計	60				43,171

（単位：千円）

左の財源内訳			
国	県	町	計
8,579	8,579	26,013	43,171

3　予算額

（単位：千円）

節	区　分	項　目	事業費	摘　要
19	負担金補助及び交付金	浄化槽普及促進協議会会費	20	佐賀県浄化槽普及促進協議会
		浄化槽普及促進協議会負担金	35	前年度汚水処理施設整備交付金（国庫）×4/1,000 8,579千円×4/1,000
		浄化槽設置整備事業補助金	43,171	
		計	43,226	

4　事業の効果

浄化槽設置事業を実施することにより、公共用水域の水質保全が保たれる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	4	項	4	目	1	細事業名	公共下水道接続促進事業費	所属	下水道課
目　名　称	下水道費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	7,800 前年度当初　10,764　前年度最終　10,764					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	111
										7,800	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち　【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的

特定環境保全公共下水道の供用開始後3年以内に行う受益者の排水設備工事に助成することにより、接続率の向上を図り、生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全の早期実現を可能とする。

2　事業内容

助成条件

○ 家庭からの生活排水を下水道に流入させるための宅地内排水管や汚水桝などの排水設備工事を対象
　対象住宅:　自ら所有し居住する住宅(新築住宅を除く)
　対象工事:　白石町下水道排水設備指定工事店による施工の工事

助成額

○ 補助率10%　　上限額　供用開始後1年目10万円、2年目7.5万円、3年目5万円

H25. 12～H43. 3の18年間(特定環境保全公共下水道　供用開始後3年間)

(単位:千円)

区分	総計	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度以降
補助金予定額	45,138	7,800	4,218	2,508	3,192	3,192	24,228
想定申請者(件)	809	150	74	44	56	56	429

3　予算額

19　負担金補助及び交付金　　公共下水道接続促進事業費補助金　　平均額52千円×150件＝7,800千円

4　事業の効果

下水道等の目的が早期に達成でき、設置した施設の遊休化が避けられ、維持管理を含む経営の安定化が図られる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	2	細事業名	新規農業就業者対策支援事業	所属	産業課
目　名　称	農業総務費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	1,829 前年度当初　1,829　前年度最終　1,829					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117
							185			1,644	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

農業においての後継者は、減少傾向にあるものの、仕事に誇りを持ち、魅力ある職業として営み、地域の担い手として活力のある町づくりに取り組んでいる青年も存在しており、今後さらにそうした青年を数多く育成していく必要がある。町の担い手の減少は、農業振興面のみならず、農村社会においても様々な問題を生じているため、生産性の高い農業の確立と農村地域の活性化を実現するため、地域の実態に即した近代的、企業的な感覚を備えた後継者を確保することにより産業の振興を図る。

2　事業内容

（1）　白石町親元就農促進支援事業助成金

〇助成金の額　1人当たり　250，000円　（但し、5年後の就農継続確認が取れた場合、追加で100，000円助成）

〇交付要件　①白石町に住所を有する者　②町内で農業経営を行っている認定農業者（1回以上の再認定を受けている者）の2親等以内の直系卑属の者
③就農年（平成26年1月1日以降）の農業従事日数が年間150日以上であること　④申請日における年齢が18歳から45歳未満の者
⑤白石青年実業会に加入しており、積極的に活動を行うもの　⑥農業者年金の加入者　⑦白石町農業施策全般に関して協力的であること

（2）　新規農業就農者対策推進事業

〇実施主体　白石町新規就農者確保対策協議会・・・・構成員は、農業委員会会長、指導農業士、女性農村アドバイザー、青年農業士、認定農業者代表者、
JAさが白石地区各6部会長等、JAさが白石地区、白石青年実業会、佐賀農業高校、杵藤農林事務所、杵島農業改良普及センター、白石町。

〇事業内容　①　就農促進パンフレットの作成　②　白石町就農アドバイザーの設置　③　セミナーの開催　④　交流会及び研修会の開催　⑤　高校との連携強化

（3）白石町ニューファーマー支援事業補助金　（単位:円）

事　業　内　容	事業費	負担区分		備　考
		町補助金	その他	
新規就農者確保対策協議会・企画会議の開催	48,600	185,000	185,000	委員報酬・資料作成
就農啓発・相談事業	72,100			謝礼・資料作成
就農支援活動	138,300			視察農家謝礼、車借上料
経営確立・定着支援活動	111,000			活動報償費、講師謝礼
合　計	370,000			

3　予算額

（1）　白石町親元就農促進支援事業　250,000円　×　6人　＝　1,500,000円　（内訳:H26認定者2名、H27年度認定者1名、H28認定者3名）

（2）　白石町新規就農者確保対策協議会負担金　144,000円

（3）　白石町ニューファーマー支援事業費補助金　185,000円

1,829,000円

4　事業の効果

本事業を実施することにより、新規就農者を確保し、後継者の育成を図ることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	2	細事業名	新規就農・経営継承総合支援事業	所属	産業課
目　名　称		農業総務費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	21,020 前年度当初　11,250　前年度最終　18,770					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116・117
							21,000			20	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

持続的で力強い農業構造を実現するためには、今後、基幹的に農業に従事する青年層の新規就農者を倍増させる必要があるため、国庫事業である新規就農総合支援事業を推進する。

2　事業内容

○　青年就農給付金（経営開始型）

①人・農地プランに位置づけられている、原則45歳未満の独立・自営就農者（単なる親元就農は対象外）が対象となる。

②給付金額については、

・　平成27年度までに申請した者（既給付者）は、年間150万円を給付する。ただし、前年の所得が250万円以上ある場合は給付しない。

・　平成28年度に申請した者（新規就農者）は、前年の所得により給付金の額が変動する。ただし、前年の所得が350万円以上ある場合は給付しない。

3　予算額

（単位:円）

区　分	内　容	予算額
11節　需用費		20,000
消耗品費	事務用消耗品（一般財源）	20,000
19節　負担金補助及び交付金	青年就農給付金（経営開始型）	21,000,000
補助金	・既給付者分（平成24年度～27年度新規就農者） 平成28年度1回給付対象者　3人×750,000円 平成28年度2回給付対象者　6人×1,500,000円 平成28年度2回給付対象者　2人（夫婦）×1,125,000円	13,500,000
	・新規就農者分 2人×1,500,000円（H28.9までの認定者は1年分:H27補正） 6人×　750,000円（H28.10以降の認定者は半年分:H28当初）	7,500,000
合　計		21,020,000

4　事業の効果

今後の担い手となる、若手の新規就農者を確保することにより、本町の力強い農業構造の確立を図ることができる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	3	細事業名	有害鳥獣広域駆除対策事業	所属	産業課
目　名　称	農業振興費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	1,210 前年度当初　1,210　前年度最終　1,210					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118
										1,210	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

有害鳥獣の駆除について、広域的な体制を確立し適切かつ円滑な防除を行うことにより、農山作物の被害の未然防止と地域住民の生活の安定を図る。

2　事業内容

①有害鳥獣による農作物の被害防止柵の整備と捕獲・駆除活動等に係る費用

②有害鳥獣等駆除対策協議会による有害鳥獣駆除事業の実施

・有害鳥の駆除（カモ、ハト、カラス等）　・有害獣の駆除（いのしし等）　・研修会の開催　・啓発普及活動

3　予算額

①国庫交付金、県補助金を受け入れたうえで、事業を実施していくが、不足する事業費を町・JA・農業共済組合が負担し、運営していく。

予算額　1，210千円　（有害鳥獣等駆除対策協議会収支予算計画額）

4　事業の効果

上記事業を行うことにより、農作物被害の防止を図ることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	3	細事業名	さが園芸農業者育成対策事業費	所属	産業課
目　名　称	農業振興費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	22,107 前年度当初　117,400　前年度最終　117,400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118
							17,949			4,158	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

近年の園芸農業を取り巻く情勢は、高齢化の進行による農業従事者数の減少、生産物価格の低迷、更には燃油を始めとした生産資材価格の高騰など厳しさを増している。このような中、本町の園芸農業が持続的に発展していくためには、収益性の高い園芸農業に向けた取り組みを強化していく必要がある。このため、革新的技術の導入による収量・品質の向上や省エネ・省力化技術の普及などを進めるとともに、新規就農者等を育成することにより、儲かる園芸農業を確立する。

2　事業内容

〇実施期間　平成26年度～30年度（5年間）
〇実施主体　2戸以上の農業者が組織する団体、新規就農者 等
〇補助率　　原則　県1/3以内、町1/10以上
※新規就農者等の取組や革新的技術の導入の取組（県1/2以内、町1/10以上）
※脱石油・省石油対応ハウス、猛暑対応ハウス等の取組（県4/10以内、町1/10以上）　他

3　予算額

19節　負担金補助及び交付金

区分	事業内容	品目名	受益戸数（戸）	受益面積（a）	事業量	総事業費（円）	財源内訳（円）			備考
							県補助金	町費	事業主体	
施設園芸	ハウスの長寿命化	いちご、小ネギ	3	42.5	4,255㎡	5,192,839	1,730,000	520,000	2,942,839	
	いちご高設栽培	いちご	1	10.0	1,008㎡	6,974,100	3,487,000	698,000	2,789,100	
	猛暑対応ハウス	アスパラ	1	18.0	1,800㎡	14,022,330	5,608,000	1,403,000	7,011,330	
露地園芸	収穫機	玉葱、蓮根	8	1,318.0	5台	10,872,800	4,792,000	1,070,000	5,010,800	
	乗用管理機	玉葱	1	600.0	1台	4,665,816	2,332,000	467,000	1,866,816	
合　計　（事業主体数　6）		－	14	1,988.5	－	41,727,885	17,949,000	4,158,000	19,620,885	

予算額（県費＋町費）＝　22,107,000

4　事業の効果

本町の農業生産所得は、園芸作物に大きく左右されることから、本事業を推進することにより、しろいし農業の発展に寄与することができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	3	細事業名	農業経営力向上支援事業	所属	産業課
目　名　称	農業振興費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	4,000 前年度当初　400　前年度最終　400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	119
							4,000			0	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

平成19年度において白石町では70の集落営農組織が結成されたが、そのうち68の組織が法人化されておらず、現時点で任意組織のままである。
このような集落営農組織や個別経営体などの地域農業の担い手が安定的に経営発展していけるように農業経営の法人化を促し、農地の集積を図りながら地域農業の維持発展を図る。
（事業名については、昨年度まで「担い手経営発展支援事業」であったが、平成28年度から「農業経営力向上支援事業」となった。）

2　事業内容

〇農業経営の法人化の支援
集落営農組織や複数の個別経営体の法人化に必要な、定款作成、認証代、印紙税、登録免許税等の経費について補助を行う。
・補助率:定額　1組織40万円
・平成30年度をめどに、現在の集落営農組織をすべて法人化し、経営所得安定対策等推進事業を推進していく。

3　予算額

法人化支援交付金　（単位:千円）

区　分	予　算　額	説　明
19節　負担金補助及び交付金	4,000	定額400千円×10組織
合　計	4,000	

4　事業の効果

地域農業の担い手である集落営農組織や複数個別経営体が法人化を行うことにより、農地の集積が行いやすくなり、経営管理やコスト削減など、安定的な経営発展を行うことができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計					単位:千円
款	6	項	1	目	4	細事業名	機構集積協力金交付事業費	所属	産業課
目　名　称	農地保有合理化推進事業費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	3,200 前年度当初　30,748　前年度最終　45,706					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	119
							3,200			0	継　続
白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）		基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】			基本計画 第　1　節	農林水産業の振興				

1　目的

平成26年度から新たな制度として始まった農地中間管理事業は、農地の有効利用や農業経営の効率化を進めるため、大規模経営農家や認定農業者、集落営農法人など多様な担い手への農地集積を加速化することを目的として創設された。国では併せて、農地中間管理機構に対し農地を貸し付けた地域や個人を支援することにより、機構を活用した担い手への農地集積・集約化を加速するため機構集積協力金を交付することとしている。佐賀県農地中間管理機構では年に2回、農地の出し手、受け手を募集し、受け手へ貸付を行っていく予定で、それらの農地の出してに対し、協力金の交付を行うことで農地集積を促す。

2　事業内容

〇機構集積協力金　（3種類の協力金）

1. 地域集積協力金（地域に対する支援）
地域内の全農地面積のうち機構への貸付割合に応じた単価を機構への貸付面積に乗じた金額を交付。

反当交付単価	26・27年度	28・29年度	30年度
2割～5割	20千円	15千円	10千円
5割～8割	28千円	21千円	14千円
8割～	36千円	27千円	18千円
交付金額	交付単価×地域の集積面積		

2. 経営転換協力金（個々の出し手への支援）
全農地を10年以上機構に貸し付け、かつ、農地が機構から受け手に貸し付けられた場合、その面積に応じて交付。

一戸あたり交付単価	
0. 5ha以下	300千円/戸
0. 5ha超2. 0ha以下	500千円/戸
2. 0ha超	700千円/戸
交付金額	交付単価×戸

3. 耕作者集積協力金（個々の出し手への支援）
機構の借受農地等に隣接する農地を貸し付けた自作地所有者若しくは権利を持った耕作者。

反当交付単価		
26・27年度	28・29年度	30年度
20千円	10千円	5千円
交付金額	交付単価×機構への貸付面積	

3　予算額

①地域集積協力金
平成28年度以降は、集積率に寄与する、いわゆる真水分のみを対象とする事となった。
このため、集落営農組合が法人化となっても、平成28年度以降は支出予定なし。

②経営転換協力金
300千円×2戸＝　600千円
500千円×2戸＝ 1,000千円
700千円×2戸＝ 1,400千円
合計　3,000千円

③耕作者集積協力金
10千円×2ha＝　200千円

区　分	予算額	説　明
19節　負担金、補助及び交付金	3,200千円	②＋③

4　事業の効果

農地中間管理機構に対し、農地を貸し付ける出し手を支援することで、担い手への農地集積・集約化を加速させることができ、地域は地域集積協力金の活用により地域営農の充実を図ることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計
款	6	項　1	目	5
目　名　称	米政策対策費			
予　算　額	6,987 前年度当初　7,640　前年度最終　7,640			

単位：千円

細事業名	さがの米・麦・大豆競争力強化対策事業費	所属	産業課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	120
	5,373			1,614	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興

1　目的

集落営農組織や認定農業者などの担い手に対し、革新技術の導入を支援し、売れる米・麦・大豆づくりを一層進めることにより、水田農業の担い手の経営安定と産地競争力の強化を図る。

2　事業内容

水田農業の担い手が取り組む省力化、低コスト化のための新技術の導入や米・麦・大豆の高品質・安定生産に必要な機械・施設等の整備に対する助成を行う。

（補助率）

県：1／3以内、町1／10以上　上限補助額の設定有り

3　予算額

19節　負担金、補助及び交付金

（単位：千円）

地区	事業実施主体名	事業内容	台数	能力等	事業費内訳 事業費	標準事業費（限度額）	補助金内訳 県費	補助金内訳 町費	補助金内訳 合計（予算額）	実施主体
南有明地区	新通集落営農組合	乗用管理機	1台	16．2m	5,584	4,360	1,453	436	1,889	3,695
北有明地区	遠太搦集落営農組合	乗用管理機	1台	15．9m	5,384	4,360	1,453	436	1,889	3,495
北有明地区	八ノ割集落営農組合	大豆不耕起播種機	1台	2条播	842	750	250	75	325	517
北有明地区	八ノ割集落営農組合	トラクターカルチ	1台	2連	990	772	257	78	335	655
北有明地区	一の篭集落営農組合	乗用管理機	1台	15．9m	5,076	4,360	1,453	436	1,889	3,187
北有明地区	認定農業者1名	大豆不耕起播種機	1台	2条播	842	750	250	75	325	517
		トラクターカルチ	1台	2連	990	772	257	78	335	655
					19,708	16,124	5,373	1,614	6,987	12,721

※県費・町費については、標準事業費に補助率を乗じた額となる。

4　事業の効果

本町水田農業の担い手の経営安定と産地競争力の強化を図ることができる。

区分	平成28年度 当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	5	細事業名	集落営農法人経営安定化支援事業	所属	産業課
目 名 称		米政策対策費				財源内訳			予算書頁
予 算 額	3,300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	120
	前年度当初	500	前年度最終	500						3,300	継 続

白石町総合計画	基本計画	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画	農林水産業の振興
(人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	第 3 章		第 1 節	

1 目的

集落営農組織が継続して発展するためには、法人化と経営の安定化が必要であり、農業生産法人設立初期の経営管理の安定化に取り組むための経費を支援し、もって地域農業の活性化を図る。

2 事業内容

農業生産法人(農事組合法人又は会社法人)の経営が不安定な設立直後における経営体制を安定確立するための助成

・ 初期の税務申告に係る税務相談、申告書類作成に対する助成
・ 農業経営の維持・発展を図るための研修会(視察研修を含む。)、座談会等の実施に対する助成

対象組織:平成26年度から平成28年度までに法人化した集落営農組織
助成期間:設立後3年間

3 予算額

平成28年度 集落営農法人経営安定支援交付金(定額)
300千円 × 10組織 = 3,000千円
※交付金は、経過年数に応じて減額
(1年目:300,000円 2年目:200,000円 3年目:100,000円)

法人経営安定に要する費用の一部を支援
事務経理費(決算報告書作成、簿記記帳、申告手続等を税理士委託)
研修活動費(先進地視察、座談会・学習会開催に要する経費)

19節 負担金、補助及び交付金 (単位:千円)

設立年	法人化組織数	交付額 H26年度	H27年度	H28年度	
H26	1組織	300	200	100	←農事組合法人1Bアグリの設立3年目
H27	2組織	0	300	200	←農事組合法人2Bファームの設立2年目
H28	12組織	0	0	3,000	←H28年度に10組織の法人化を見込む
合 計		300	500	3,300	

4 事業の効果

集落営農組織の経営発展・経営体質の強化が図られ、地域の永続的な担い手の確保につながる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	6	細事業名	さが肥育素牛・自給飼料生産拡大 施設等整備事業費補助金	所属	産業課
目　名　称		畜産業費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額		39,229				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	120
	前年度当初	15,586	前年度最終	20,467			32,475			6,754	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

消費者が求める高品質で、安全・安心な畜産物の生産拡大により、佐賀産畜産物の銘柄を確立する。

2　事業内容

○　効率的な飼料生産・流通体制の整備を図るために必要な栽培、収穫及び調整用機械の整備に対して助成する。
○　事業主体　2戸以上の営農集団及び農業協同組合
○　補助率　　県　肥育1/2以内、自給1/3以内　　町　1/10以上

3　予算額

○肥育素牛生産拡大対策事業　【1事業実施主体分】　（単位:円）

機械・施設	事業量	総事業費	補助対象事業費（上限額）税抜	財源内訳		
				県費補助金	町　費	事業実施主体
新規牛舎　木造6棟	2,655㎡	37,031,040	34,288,000	17,144,000	3,428,000	16,459,040
堆肥舎　2棟	1000㎡	12,324,960	11,412,000	5,706,000	1,141,000	5,477,960
堆肥撹拌機	2台	12,744,000	11,800,000	5,900,000	1,180,000	5,664,000
哺乳ロボット	1台	2,430,000	2,250,000	1,125,000	225,000	1,080,000
合　計		64,530,000	59,750,000	29,875,000	5,974,000	28,681,000

○自給飼料生産拡大対策事業　【1事業実施主体分】　（単位:円）

機械・施設	事業量	総事業費	補助対象事業費（上限額）税抜	財源内訳		
				県費補助金	町　費	事業実施主体
ロールベイラー	1台	3,500,000	3,500,000	2,600,000	780,000	4,420,000
マニアスプレッダー	1台	2,000,000	2,000,000			
ラッピングマシーン	1台	1,800,000	1,800,000			
ジャイロレーキ	1台	500,000	500,000			
合　計		7,800,000	7,800,000	2,600,000	780,000	4,420,000

4　事業の効果

飼料生産流通体制整備を図るための機械等の経費の一部を補助することにより、安全・安心な畜産物の生産拡大を図り、「しろいし牛」ブランドの確立に資することができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	6	細事業名	優良肥育素牛導入事業費補助金	所属	産業課
目　名　称	畜産業費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	2,100					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121
	前年度当初	1,100	前年度最終	1,100					1,000	1,100	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興

1 目的

子牛価格高騰が長期化し、枝肉価格も伸び悩んでいるため、肉用牛肥育農家の経営支援を行い、町内畜産業の振興を図る。
また、交雑種の子牛導入を推進し、しろいし牛のブランド確立を図る。

2 事業内容

〇事業要件

①町内に住所を有する肉用牛肥育農家
②導入する子牛の価格が佐賀中央家畜市場で購入した町内産の黒毛和種の子牛で40万円以上又は交雑種の子牛10万円以上
③牛の肥育実績があること
④町税の滞納がないこと

〇補助金の額

黒毛和種の子牛1頭当たり50，000円、交雑種の子牛1頭当たり20，000円

3 予算額

19節　負担金補助及び交付金

優良肥育素牛導入事業費補助金　2，100千円

・ 黒毛和種子牛　40頭　×　50，000円　=　2，000，000円
・ 交雑牛子牛　　5頭　×　20，000円　=　　100，000円

※ふるさと基金　1,000千円充当

過去購入実績（JAより提供）

	黒毛和種	
年度	件数	取引価格（平均）
23	27　件	370,183　円
24	23　件	401,100　円
25	15　件	444,290　円
26	7　件	554,811　円
27	31　件	673,149　円

※交雑種については、年に数件程度

4 事業の効果

町内肉用牛肥育農家経営安定を図ることにより、優良な肥育素牛を導入、飼育することができ、高品質の枝肉を生産・出荷することにより町内畜産業の振興を図ることができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	2	項	1	目	8	細事業名	地域おこし協力隊推進事業（道の駅関連）	所属	産業課
目　名　称	地域づくり推進費					財　源　内　訳		予算書頁	
予　算　額	7,606 前年度当初　6,912　前年度最終　6,912					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59～61
										7,606	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第　4　節	新たな地域活力の創出

1　目的

人口減少や高齢化の進行が著しい本町において、地域外の人材を活用し、地域の活性化を促進するとともに、その人材の定住及び定着を図るため、地域おこし協力隊推進要綱（平成21年3月31日付け総行応第38号総務次官通知）の規定に基づき、白石町地域おこし協力隊員を設置し、観光素材の掘起しや地場産品の開発、基幹産業である農林水産業従事者の高齢化など、各分野において特有の課題解決を図る必要がある。

2　事業内容

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住し生活の拠点を移した者を、地方公共団体が地域おこし協力隊員として委嘱し、隊員が一定期間地域協力活動を行いながら地域への定住・定着を図る制度。

「（仮）道の駅しろいし」設置計画に伴い、その運営組織の設立と新たな地場産品の開発を行うため、外部人材を活用し地域活性化に繋げる。

・地域おこし協力隊設置

地域の活性化を図るため、地域の課題解決に向けて、地域住民、行政などが連携した取組を進められるよう地域のサポート、コーディネート役として地域おこし協力隊を配置する。

・外部アドバイザー招聘業務

本町における地域力を向上させるための効果的な方策について助言、指導を受け地域の更なる活性化に繋げる。

3　予算額

区　分	内容説明	予算額（千円）	備　考
報酬	地域おこし協力隊員報酬	2,166	
共済費	地域おこし協力隊員共済費	309	
旅費	普通旅費	381	
需用費	消耗品費	150	
	燃料費	67	
役務費	インターネット回線使用料	78	
	車両保険料	23	
委託料	外部アドバイザー委託料	3,500	
使用料及び賃借料	協力隊員車両賃借料	299	
	協力隊員住居賃借料	600	
負担金補助及び交付金	協力隊員研修負担金	33	
合計		7,606	

4　事業の効果

都市地域の移住希望者に白石町のPRを行うとともに、地域外の人材を活用することで、地域の魅力を再発見することを目指す。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	3	細事業名	6次産業推進事業	所属	産業課
目　名　称	農業振興費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	5,052 前年度当初　6,680　前年度最終　4,927					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117･118
									4,000	1,052	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　4　節	新たな地域活力の創出

1　目的

平成23年3月「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」（以下、「6次産業化・地産地消法」という。）が施行され、農村地域の活性化や食料の自給率向上などを目的に制定されました。本町産業の基軸である農業を持続し、発展させていくためには、農産物の生産に留まらず、加工や販売も併せた総合産業化を目指し、農家所得の向上や地域の活性化を図る。

2　事業内容

・6次産業活性化委員会の開催
・6次産業推進補助事業の実施
　趣旨　白石町内の農林水産物を活かして、6次産業化（加工、販売まで）する事業者を支援し、産業力の向上と地域活性化を目的とする。
　対象事業者　町内に在住する農林漁業者（個人、グループ、農業生産法人）及び、中小企業者と農林漁業者との連携で、本町の農林水産物を活用し6次産業化を行う者とする。
　補助金限度額　1事業あたりの補助金は10万円～200万円を限度とし、補助対象経費の2分の1以内
　補助対象経費　①研究開発費　②事業推進費　③販路開拓費　④その他経費

3　予算額

区　分	内容説明	予算額（千円）	備　考
報償費	6次産業活性化委員報償	292	5,400円×9名×6回
旅費	普通旅費	180	
需用費	消耗品費	50	
使用料及び賃借料	有料道路通行料	30	
負担金補助及び交付金	6次産業推進事業費補助金	4,500	
合　計		5,052	

※ふるさと基金　4,000千円充当

4　事業の効果

地域の資源を活用した農林漁業者等による新事業等の創出や地域の農林水産物の利用促進に関すること等を総合的に推進することで、農林漁業等の振興を図るとともに、地域の活性化を図ることができる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計					単位：千円
款	7	項	1	目	1	細事業名	しろいしブランド確立対策事業			所属	産業課
目名称	商工振興費					財源内訳					予算書頁
予算額	4,300 前年度当初 4,300 前年度最終 4,300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136
										4,300	継続

白石町総合計画	基本計画	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画	農林水産業の振興
（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	第 3 章		第 1 節	

1　目的

本町の産業振興及び経営の安定を図り、近年の激化する産地間競争及び販路拡大を推進するため、特産品のPR活動を行い、「しろいしブランド」の名と産物の良さを広め、本町産物の有利販売に向けた各種施策を講じる。

2　事業内容

(1) 協議会事業活動・・・・・・・・・PR推進用オリジナル販促品等製作　県人会、町人会等PR産物代、しろいしみのりちゃんPR活動費
(2) 産物消費宣伝活動 ・・・・・・・物産販売活動及び販売促進活動支援
(3) 米消費拡大対策事業 ・・・・・しろいしぺったんこ祭、歌垣ロードレース、町内小中学校における米消費拡大宣伝活動
(4) 白石ブランド認証支援事業 ・・・・・・町内で生産された優れた産品を「白石ブランド」として認証し、販売促進と関係事業者間の連携強化を支援
(5)東京都庁イベント事業・・・・・・都庁で特産物PRのための催事を行う

事業主体　　白石町特産物PR推進協議会 （白石町・農業協同組合・漁業協同組合・商工会・直売所連絡協議会）

3　予算額

しろいしブランド確立対策事業補助金　　（単位：千円）

補助金	協議会宣伝活動	800
	産物消費宣伝活動	1,350
	米消費拡大対策事業	700
	白石ブランド認証支援事業	250
	東京都庁イベント事業	1,200
計		4,300

4　事業の効果

事業目的の推進を図るため白石町特産物PR推進協議会を設立し、町・農協・商工会・漁協その他関係機関との連携が図られ、特産物等の消費宣伝活動が推進される。
また、マスコミ、広告媒体を活用して、本町のPR及び玉葱・レンコン等農産物の消費宣伝が図られる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	7	項	1	目	2	細事業名	まちおこし事業	所属	産業課
目名称	観光費					財源内訳			予算書頁
予算額	8,552 前年度当初 6,080 前年度最終 6,080					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	137・138
								5,000		3,552	継続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出

1 目的

町民の融和と地域の活性化を目的に、白石町の自然や特産品を活用しイベントを企画、実施する「まちおこし運営委員会」に対し補助を行う。
またイベントを通じ観光資源の維持・保存、環境美化、緑化推進などの啓発にもつながる。

2 事業内容

事業主体　　白石町まちおこし運営委員会

委員会の事業経費については町、農協、商工会、町内3漁協の補助金・協賛金及びその他団体等からの協賛金を充て、事業の実施については、出資団体はもとより、町文化協会・まちおこしグループ等の町内各種団体及び個人の参加を呼びかけ、町民総参加による事業の実施を促す。

- ◆ 春期イベント（歌垣春まつり）
- ◆ 夏期イベント（夏まつり）
- ◆ 秋期イベント（ぺったんこ祭）
- ◆ 振興事業助成（地域づくり団体、地域住民等が町の産業振興のために自主的に企画した新規イベントへの補助）
- ◇ 春まつり等で使用する仮設ステージの天板が老朽化したため張替を行う

3 予算額

白石町まちおこし事業・・・町費予算額　8，552千円　　（千円）

町費予算	需用費（修繕料）	仮設ステージ天板張り替え　49,000円×48枚	2,352	8,552
	補助金	白石町まちおこし運営委員会補助金 春まつり（4月）、夏祭り（8月）、ぺったんこ祭（11月）	6,200	
その他の財源予算	杵藤地区広域圏補助金		413	1,570
	団体協賛金（JAさが白石中央支所・漁協3支所・商工会）		540	
	米消費補助・メッセージ花火収入他		617	
計				10,122

まちおこし運営委員会決算額推移　　（千円）

事業名	H25実績	H26実績	H27見込	H28予算案
歌垣春まつり	1,334	894	1,419	1,450
夏まつり	2,675	2,675	2,669	2,760
ぺったんこ祭	3,389	3,405	3,070	3,360
振興事業助成、事務費	200	0	0	200
計	7,598	6,974	7,158	7,770

※まちおこし運営委員会のH28予算案には、町費予算の需用費（仮設ステージ張り替え分2,352千円）を含まない。

4 事業の効果

	H23	H24	H25	H26	H27
歌垣春まつり	約5，000名	約4，000名	約4，000名	雨天中止	雨天中止
夏まつり	約9，000名	約8，000名	約8，000名	約8，000名	約6，000名
ぺったんこ祭	約16，000名	約14，000名	約12，000名	約12，000名	約18，000名

途中から雨となりイベント一部中止

事業関係者においては、事業の計画・実施をとおした交流による融和が図られ、異業種において新たな協力による展開も望まれる。また、イベント来訪者には本町の観光、産物のPRに寄与する。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	2	項	1	目	8	細事業名	道の駅施設整備事業	所属	産業課
目　名　称		地域づくり推進費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	176,200 前年度当初　11,700　前年度最終　8,700					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59～62
									170,000	6,200	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　4　節	新たな地域活力の創出

1　目的

長距離ドライブや、女性・高齢者のドライバーが増加するなか、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設の整備が求められています。平成30年、有明海沿岸道路が開通すると、これまで以上町内に流入する車の量が増大することが見込まれます。このような状況を町のPRの機会の増大と捉え積極的に展開する必要があります。現在、町内には、町が一部支援する（土地）直売施設が市町村合併以前からそれぞれの地域にあるが、近年、売上等も横ばい傾向にあるとともに、旧町単位での農産物等のPRにおいても3施設とも似たような傾向にあるのが現状である。このような中、今後、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組める施設として（仮）「道の駅しろいし」を整備する。

2　事業内容

平成28年度	平成29年度	平成30年度
・道の駅登録申請 ・基本設計・実施設計 ・用地取得 ・建設工事 ・運営組織支援	・建設工事 ・運営組織支援	・建設工事 ・運営組織支援 ・道の駅供用開始

3　予算額

区　分	内容説明	予算額（千円）	備　考
旅費	普通旅費	350	先進地視察旅費
委託料	設計業務委託等	41,400	
	農業集落排水設計業務委託	3,800	
	物件移転補償調査業務委託	650	
工事請負費	1次造成及びパイプライン等移設工事	30,000	
公有財産購入費	用地取得費	79,000	
負担金補助及び交付金	運営組織支援補助金	1,000	
補償、補填及び賠償金	物件移転補償費	20,000	
合　計		176,200	

4　事業の効果

道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組み町のPRに寄与する。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	6	項	1	目	7	細事業名	地盤沈下対策事業費負担金	所属	農村整備課
目　名　称	農地費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	30,000 前年度当初　36,000　前年度最終　36,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	122
										30,000	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第　2　節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備

1　目的

地盤沈下区域において、沈下により生じた農業用施設等の被害を復旧するとともに、洪水等による災害に対処する。
また、地盤沈下防止のため農業用地下水位を地表水に転換した用水路工事等の水源転換事業を目的とする。

2　事業内容

地沈1号水路整備工事
新拓排水機場場内整備及び連絡水路整備工事
福富調整池整備
地沈全体の整備補修等

3　予算額

（補助率　国55%　県39%　町6%）

負担金　500,000 千円×　6 %=　30,000 千円

4　事業の効果

地盤沈下により機能低下した農業施設等を改修し機能回復を図るとともに、筑水事業と合わせて地表水への転換を図った用水路の整備を行い、町内一円の末端までスムーズに水が配水できるようになる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	7	細事業名	土地改良事業借入金償還補助	所属	農村整備課
目　名　称		農地費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額		13,288 前年度当初　19,300　前年度最終　19,300				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	124
									13,288	0	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

県営圃場整備事業、土地改良総合整備事業に要する負担金に充てるため、農林漁業資金を借入れた受益者に対して、償還金を補助することにより、受益者負担の軽減による経営安定と生産性向上に資することを目的とする。

2　事業内容

受益者が償還する元利合計額に町が補助を行なう。

3　予算額　　13,288 千円

【内訳】

通常償還予定額	62,436,000	円 ×	20%	＝	12,487,200 円
繰上償還予定額	5,000,000	円 ×	16%	＝	800,000 円

4　事業の効果

農業情勢等が一層厳しくなるに伴い、土地改良事業の地元負担の償還金について過重感が強まっていることから、その負担額を軽減することで受益者の経営基盤強化と経営安定及び生産性向上が図れる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	7	細事業名	筑後川下流土地改良事業推進事業	所属	農村整備課
目　名　称		農地費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額		22,309				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	122・123
		前年度当初	22,349	前年度最終	22,349				1,047	21,262	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興

1 目的

白石平野の農業にとって永年の課題となっていた農業用水の不足を解消し、安定的に農業用水を供給するとともに、地下水依存から地表水への転換を行うことにより、地下水過剰採取による地盤沈下を解消し、併せて農地の排水不良の解消や農業生産性の向上と、農業経営の安定化を図るものである。

2 事業内容

① 佐賀・福岡両県をまたがる数市町を事業地域とする広域土地改良事業であるため、国、県、他の市町及び関係諸団体との連携を図り、事業の円滑な推進を図る。
② 新たな水源開発のため水没した嘉瀬川ダム周辺地域の振興を図る。
③ 嘉瀬川ダムの水を川上頭首工より取水するための操作委託等の負担金の支払い。

3 予算額

報償費　211 千円

【内訳】

嘉瀬川ダム上下流交流事業謝礼	90 千円
白石町地下水位等検討会報償費	121 千円

負担金　22,098 千円

【内訳】

佐賀県筑後川土地改良事業推進協議会負担金	3,976 千円		
佐賀県筑後川佐賀西部地域推進連絡協議会負担金	16,869 千円	取水口操作委託負担金	13,910,124 円
		協議会経費負担金	2,958,000 円
佐賀県筑後川土地改良事業 杵島地区協議会負担金	296 千円		
水源地域連携・活性化促進協議会負担金	957 千円		

4 事業の効果

事業開始から30数年を経過し、H25年度から本格的に通水が始まり、本事業により新たな水利慣行の確立や、今後の維持管理事業の開始に向けた円滑な対応ができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	7	細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費	所属	農村整備課
目　名　称	農地費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	44,000 前年度当初　13,800　前年度最終　13,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	122
										44,000	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

　国で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。

　これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全するためストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

2　事業内容

　町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設の機能を効率的に保全維持するため、実施計画書に基づき順次整備する。

　実施計画書に基づく工事の事業主体は県であり、町は事業費の一部を負担する。

　〇福富地区

　八平第１排水機場 ： 主ポンプ設備・ポンプ補機設備・除塵機設備の整備、部品の交換等

　八平第２排水機場 ： ポンプ補機設備・ゲート設備・自家用発電機・電気設備の整備、部品の交換等

　六府方排水機場 ： ポンプ補機設備・除塵機設備・電気設備の整備、部品の交換等

3　予算額

　負担金

　　福富地区　　220,000,000 円×　20　%=　44,000,000 円

　　（負担割合　国　50%　県　30%　町20%）

4　事業の効果

　計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が見込める。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計							単位:千円
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業		所属	農村整備課
目 名 称	農地費					財 源 内 訳				予算書頁
予 算 額	51,555 前年度当初 52,048 前年度最終 52,048					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	122～124
							28,000		4,300	19,255	継 続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実

1 目的

団体営事業等で造成された農業水利施設はダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。

これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

2 事業内容

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている地沈水路の制水門の機能を効率的に保全維持するため、計画的に整備する。

（補助対象事業費の負担割合）

国 55% 県 15% 町 20% 地元 10%（土地改良区）

3 予算額

需 用 費（消耗品費・燃料費） 55 千円

工事請負費 43,000 千円

負担補助及び交付金 8,500 千円

【内訳】

地域ストックマネジメント事業事務費賦課金（補助対象事業費の2.5%） 40,000 千円× 2.5% = 1,000 千円

補助金（白石土地改良区が行う事業費に対し事業負担の半額を補助する） 50,000 千円× 30% × 50% = 7,500 千円

4 事業の効果

団体営造成施設等の劣化状況等の調査に基づき、機能を保全するために必要な対応方策を定めた計画を作成し、これに基づく施設の更新や予防的な保全対策、又は事後的な保全対策を適切に組み合わせて行うことにより、白石町全体の水利施設の状況を把握し、かつ早期の対策が図れるため、施設維持にかかるコスト低減が期待できる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計							単位:千円
款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業		所属	農村整備課
目 名 称	水利施設管理事業					財 源 内 訳				予算書頁
予 算 額	32,986 前年度当初 29,502 前年度最終 30,502					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	125～127
							12,016			20,970	継 続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興

1 目的

大規模で公共性の高い基幹水利施設について、地域の農業情勢及び社会情勢の変化に対応した管理を行なうことにより、その効用を適正に発揮させることを目的とする。

2 事業内容　　補助率　国 30%　県30%　町 40%

（1）管理対象施設 ： 排水機場（有明1号・2号・3号） 3箇所（排水量 32.3m3/S）　有明水路 延長13km

（2）管理事業内容

排水機場	基本点検及び重要点検
	電気保安点検及び排水機場操作補助委託等
有明水路	有明水路整備工事（除草）
	ゲート操作補助委託

3 予算額

需 用 費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	8,887 千円
役 務 費	手数料・自動車保険料・傷害保険料	115 千円
委 託 料	排水機場点検業務委託・排水機場操作補助委託	10,168 千円
	電気保安点検委託・地下タンク漏洩点検委託	310 千円
	有明水路ゲート操作補助委託・浄化槽管理委託	362 千円
使用料及び賃借料	機械借上料	319 千円
工事請負費	有明水路整備補修工事	12,796 千円
公 課 費	自動車重量税	29 千円

4 事業の効果

適正な管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業 佐賀西部白石地区	所属	農村整備課
目　名　称	水利施設管理事業					財　源　内　訳		予算書頁	
予　算　額	21,740 前年度当初　21,738　前年度最終　21,738					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	125～127
							8,172		948	12,620	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

国営筑後川土地改良事業により造成された基幹水利施設である白石平野揚水機場、佐賀西部導水路白石線、山脚導水路、白石導水路（調圧水槽含む）の管理に関し、地域農業の農業用水等の需要に的確に対応するとともに、施設のもつ公共・公益的機能を十分に発揮させるため、施設の適正管理に資するものです。

この施設について、4市町（武雄市・大町町・江北町・白石町）が国から管理委託を受け、事務委託を受ける白石町が代表町となり事務処理を行うもの。

2　事業内容

補助率　　国　30%　／　県　30%　／　4市町　40%（武雄市・大町町・江北町・白石町）

管理費負担割合	
武雄市	0.59%
大町町	0.25%
江北町	4.99%
白石町	94.17%
合　計	100.00%

（1）管理対象施設

揚水機場　1箇所（用水量　2.94×2＝5.88m3/S）

佐賀西部導水路白石線　8.7km　／　白石導水路　2.5km　／　山脚導水路　6.5km　／　合計　17.7km（調圧水槽含む）

（2）管理事業内容

揚水機場　　揚水機場保守点検

揚水機場操作・管理点検委託等

導水路　　操作・管理点検委託等

3　予算額

需　用　費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	10,471　千円
役　務　費	通信費、手数料、保険料	1,438　千円
委　託　料	保守点検整備委託料	9,120　千円
	（揚水機場等点検整備委託・水管理システム保守点検委託・電気設備保安管理委託）	
	日常管理委託料	690　千円
賃借料	JR軌道敷賃借料	21　千円

4　事業の効果

適正な点検と管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	9	細事業名	排水機場管理事業費	所属	農村整備課
目　名　称		水利施設管理事業				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	44,374					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	125～126
	前年度当初	45,124	前年度最終	45,124					1	44,373	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興

1 目的

地盤沈下対策事業、有明海岸保全事業、湛水防除事業等で造成された排水機場（9箇所）の点検整備を良好に行ない、その効用を適正に発揮させることを目的とする。

2 事業内容

排水機場の適正な維持管理

新明排水機場
北部排水機場・南部排水機場
八平排水機場（第1・第2）
龍神排水機場
六府方排水機場・佐留志排水機場
廻里江排水機場
（大搦ゲートポンプ・八平南部ポンプ）

3 予算額

賃　金	排水機場管理嘱託職員賃金	1,920 千円
旅　費	土地改良財産管理受託機関担当者会議等	80 千円
需 用 費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	15,832 千円
役 務 費	通信運搬費・手数料・傷害保険料	226 千円
委 託 料	排水機場点検整備業務委託料・排水機場操作委託料	22,931 千円
	電気保安点検委託・地下タンク漏洩点検委託・ごみ処理委託	3,385 千円

4 事業の効果

安定的に稼働ができ、湛水被害の軽減が期待できる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金　農地維持支払事業	所属	農村整備課
目　名　称	農地費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	155,531 前年度当初　155,214　前年度最終　155,214					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	124
							116,648			38,883	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、農業者等による組織が取組む、水路の泥上げや農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動を支援する。

2　事業内容

農業者等による組織が取組む地域資源の基礎的保全活動（草刈り、水路の泥上げ）や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化など多面的機能を支える共同活動を支援。
多面的機能支払交付金の法制化に伴い、事業実施主体は農業者団体等（既存活動組織）となる。

交付金の流れ「　国　→　県　→　町　→　活動組織　」　　負担割合　　国　50%　県　25%　町　25%

対象農地面積及び支援単価

	対象農地面積	支援単価	地区数	備考	
田	5,047.36ha	3,000円/10a	68地区	H27までの継続面積	5,023.91ha
				H28からの面積増（予定）	23.45ha
畑	205.50ha	2,000円/10a		H27までの継続面積	205.50ha
				H28からの面積増（予定）	0.00ha

3　予算額

（単位:円）

	面積	交付単価	交付金総額	財源内訳 国補助金	県補助金	町費補助金	計
田	5,047.36ha	3,000円/10a	151,420,800	75,710,400	37,855,200	37,855,200	151,420,800
畑	205.50ha	2,000円/10a	4,110,000	2,055,000	1,027,500	1,027,500	4,110,000
計	5,252.86ha		155,530,800	77,765,400	38,882,700	38,882,700	155,530,800

多面的機能支払交付金農地維持支払事業補助金　　155,531千円

4　事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業	所属	農村整備課
目　名　称	農地費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	95,561 前年度当初　96,422　前年度最終　96,422					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121～123
							72,020			23,541	継　続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。

2　事業内容

地域住民を含み組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援。
多面的機能支払交付金の法制化に伴い、事業実施主体は農業者団体等(既存活動組織)となる。
交付金の流れ「 国 → 県 → 町 → 活動組織 」　負担割合　国 50%　県 25%　町 25%
対象農地面積及び支援単価

	対象農地面積	支援単価	地区数	備考	
田	5,047.36ha	2,400円/10a (1,800円/10a)	67地区	H27までの継続面積 H28からの面積増(予定)	5,023.91ha 23.45ha
畑	133.17ha	1,440円/10a (1,080円/10a)		H27までの継続面積 H28からの面積増(予定)	133.17ha 0.00ha

※ 基本単価適用地区　4地区
※ 75%単価適用地区　63地区

※旧農地・水保全管理支払の5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は支援単価の75%単価を適用。

3　予算額

(単位:円)

	面積	交付単価	交付金総額	財源内訳 国補助金	県補助金	町補助金	計
田(基本)	242.97ha	2,400円/10a	5,831,280	2,915,640	1,457,820	1,457,820	5,831,280
田(75%)	4,804.39ha	1,800円/10a	86,479,020	43,239,510	21,619,755	21,619,755	86,479,020
畑(基本)	3.36ha	1,440円/10a	48,384	24,192	12,096	12,096	48,384
畑(75%)	129.81ha	1,080円/10a	1,401,948	700,974	350,487	350,487	1,401,948
計(基本)	246.33ha		5,879,664	2,939,832	1,469,916	1,469,916	5,879,664
計(75%)	4,934.20ha		87,880,968	43,940,484	21,970,242	21,970,242	87,880,968
総計	5,180.53ha		93,760,632	46,880,316	23,440,158	23,440,158	93,760,632

(単位:円)

07 賃金(臨時職員) (6,400円＊20日＊7ヶ月)	896,000
09 特別旅費(多面的研修会)	150,000
11 需用費	704,000
001　消耗品費	524,000
002　燃料費	180,000
12　役務費(切手代)	50,000
19　負担金補助及び交付金	93,760,632
計	95,560,632

4　事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計
款	6	項 1	目	7
目　名　称	農地費			
予　算　額	193,952 前年度当初　193,319　前年度最終　193,319			

単位:千円

細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業	所属	農村整備課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	124
	145,463			48,489	継　続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興

1　目的

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため地域住民を含む組織が取組む、水路・農道等の施設の長寿命化のための活動を支援する。

2　事業内容

水路の整備・更新、農道のコンクリート・アスファルト舗装、ゲート・ポンプの整備・更新、土側溝のコンクリート側溝への更新、ため池のゲート、バルブの更新等
多面的機能支払交付金の法制化に伴い、事業実施主体は農業者団体等(既存活動組織)となる。
交付金の流れ「 国 → 県 → 町 → 活動組織 」　負担割合　国 50%　県 25%　町 25%

対象農地面積及び支援単価

	対象農地面積	支援単価	地区数	備考	
田	4,351.96ha	4,400円/10a	51地区	平成23年度採択地区	16地区
				平成24年度採択地区	6地区
畑	123.28ha	2,000円/10a		平成25年度採択地区	26地区
				平成26年度採択地区	3地区

備考	
H27までの継続面積	4,328.51ha
H28からの面積増(予定)	23.45ha
H27までの継続面積	123.28ha
H28からの面積増(予定)	0.00ha

3　予算額

(単位:円)

	面積	交付単価	交付金総額	財源内訳 国補助金	県補助金	町費補助金	計
田	4,351.96ha	4,400円/10a	191,486,240	95,743,120	47,871,560	47,871,560	191,486,240
畑	123.28ha	2,000円/10a	2,465,600	1,232,800	616,400	616,400	2,465,600
計	4,475.24ha		193,951,840	96,975,920	48,487,960	48,487,960	193,951,840

多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業補助金　193,952千円

4　事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	1	目	7	細事業名	農業基盤整備促進事業	所属	農村整備課
目　名　称	農地費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	52,000 前年度当初　122,000　前年度最終　122,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	122
						26,950		20,000	2,595	2,455	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

農作業道の整備により、交通面の利便性の向上を図り、農作物の安定的な供給を確保する。更に、今後は荷傷みに弱い農作物の生産が可能となるため、担い手への農地の集積及び生産拡大を推進する。

2　事業内容

◎農作業道整備(未舗装農道の舗装工事)　　●農道舗装事業費負担割合　国　55%・町　40%・土地改良区　5%

施工予定路線

・福富代行8号線　(L=316m)　・有明第一105号線　(L=97m)　・有明第一119号線　(L=232m)　・有明第一121号線　(L=262m)
・有明第一125号線　(L=151m)　・有明第一126号線　(L=313m)　・有明第一127号線　(L=126m)

合計　7路線　(L=1,497m)

3　予算額

○消耗品費	土地改良工事積算基準書外	100千円
○委託料	土質調査委託料　(CBR調査個所　15個所)	2,000千円
○工事請負費	農道舗装工事　(L=1,497m)	49,900千円
計		52,000千円

財源内訳	農業基盤整備補助対象事業費(委託料2,000千円、工事費47,000千円)	49,000千円
	町単独費(消耗品費100千円、工事費2,900千円)	3,000千円
	計	52,000千円

【歳入の算定】
◎農業基盤整備促進事業補助金
(補助対象事業費ﾍﾞｰｽで算定)
・農道舗装　委託料　2,000千円、工事費　47,000千円
49,000千円×55%＝26,950千円

◎分担金
・農道舗装　委託料　2,000千円、工事費　49,900千円
51,900千円×5%＝2,595千円

4　事業の効果

・農道舗装をすることにより、農産物の荷痛み防止等による生産効率の向上が図られ、地域農業の振興及び農業経営の安定につながる。
・水路を整備補修することにより、施設機能を充分に発揮することができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	6	項	1	目	11	細事業名	ため池等整備事業費	所属	農村整備課
目　名　称	ため池等整備事業費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	48,135 前年度当初　6,865　前年度最終　37,165					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	128
							40,000		3,183	4,952	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち　【産業の振興】	基本計画 第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

堤体より漏水が確認されている坂田ため池及び坊ヶ谷ため池について、県営事業により坂田ため池は堤体改修工事を坊ヶ谷ため池は測量試験（土質試験・測量設計）を行う。

また、近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し大きな被害が生じていることを踏まえて、平成25年度に佐賀県においてため池の一斉点検を実施されました。点検の結果、下流に人家や公共施設等があり、施設が決壊した場合に影響を与える恐れがあるため池について、防災重点ため池として町内の5か所のため池が指定されたため、このため池の詳細調査（耐震調査等）を行う。 また、武雄市内に在し白石土地改良区が管理するため池についても詳細調査対象であるため、白石土地改良区に対し補助金の交付を行う。

2　事業内容

事　業　名	た　め　池　名	実施主体	事　業　内　容
農村地域防災減災事業（ため池整備事業） ※負担割合　国55%、県30%、町15%	坂田ため池	佐賀県	堤体工（L=30.0m）、取水施設工（一式）、家屋事前調査（調査ボーリング）
	坊ヶ谷ため池	佐賀県	測量、設計、調査ボーリング
農村地域防災減災事業（ため池詳細調査） ※負担割合　国100%	新ため池	白石町	地質、土質調査ボーリング、耐震照査、測量
	泉ため池	白石町	地質、土質調査ボーリング、耐震照査、測量
	梅ノ木谷ため池	白石町	地質、土質調査ボーリング、耐震照査、測量
	永池下ため池	白石土地改良区	地質、土質調査ボーリング、耐震照査、測量
	永池中ため池	白石土地改良区	地質、土質調査ボーリング、耐震照査、測量

（単位：千円）

3　予算額

	事　業　名	事業費	財源内訳 国費	県費	町費	その他	備　考
消耗品費		100			100		
委託料	ため池詳細調査業務委託料 （新ため、泉ため池、梅ノ木ため池）	25,000	24,000	0	1,000	0	白石町実施分
負担金、補助金	農村地域防災減災事業（ため池整備事業） （坂田ため池）　県営事業	38,000	（20,900）	（11,400）	2,850	2,850	その他は白石土地改良区より支出
	農村地域防災減災事業（ため池整備事業） （坊ヶ谷ため池）　県営事業	8,900	（4,895）	（2,670）	1,002	333	その他は牛間田区より支出
	ため池詳細調査業務委託料 （永池下、永池中ため池）	16,000	16,000	（0）	（0）	（0）	白石土地改良区実施分

4　事業の効果

堤体から漏水しているため池を改修することにより、農業用水の確保、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保に寄与することができる。また、詳細調査を行うことにより、ため池の安全性を検証し、必要な場合に改修やハザードマップ作成を行う。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計						単位:千円
款	6	項	3	目	1	細事業名	漁業環境保全事業費	所属	農村整備課
目 名 称	水産振興費					財 源 内 訳			予算書頁
予 算 額	19,371 前年度当初 270 前年度最終 270					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	132
							14,250		2,375	2,746	継 続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興

1 目的

漁業生産等に伴って多量に発生する「漁業用生産資材廃棄物」の適正処理を推進し、環境保全を図ると共に、廃棄物のリサイクルによる資源の有効活用に寄与する。
漁場の海底耕耘、清掃等の整備開発を行い、漁場としての機能を回復させることにより、対象漁貝類生産の回復増大を図り、漁業者の安定した経営と所得の向上を図る。

2 事業内容

❏漁業用生産資材（廃プラスチック・ビニール等）の収集・廃棄処分費補助
・種付け用袋（落下傘・カキ殻付き）
・活性処理容器
・冷凍袋

◆過年度回収実績 （3支所分） （単位 ： m3 ・ 円）

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	数量	処理費用	数量	処理費用	数量	処理費用
落下傘	52.0	1,490,040	68.0	1,408,190	60.0	1,088,880
廃プラスチック類	81.0	482,250	94.0	756,590	36.5	353,925
計	133.0	1,972,290	162.0	2,164,780	96.5	1,442,805

3 予算額

11. 需用費： （消耗品費80千円、燃料費21千円） 101千円

13. 委託料： 沿岸漁場整備事業底質改善業務等委託 19,000千円
総事業費：64,000千円
事業実施期間：平成28年度～平成30年度（3ヶ年）
負担区分：国50%・県25%・町12.5%・漁協12.5%
委託先：佐賀県有明海漁業協同組合

◆事業計画

区 分	全体計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度
海底耕耘工	1,482.2ha	433.8ha	531.8ha	516.6ha
産業廃棄物処理工	27m3	8m3	10m3	9m3

■歳入（平成28年度分）

国庫	19,000千円×50.0%	9,500千円
県費	19,000千円×25.0%	4,750千円
漁協	19,000千円×12.5%	2,375千円

19. 負担金補助及び交付金 270千円
漁業用生産資材廃棄物適正処理事業補助金
水産業の振興及び漁場環境の保全を図るため漁業用生産資材廃棄物処理費として、町内の海苔漁業者が所属する漁業協同組合に対し、補助金を交付する。
※1立方m当り1,800円を限度として予算の範囲内で補助する。

4 事業の効果

漁業者の環境保全（有明海再生等）に対する意識改革の高揚が図られる。
効用の低下している漁場の生産力の回復や、水産資源の生息場の環境改善効果が得られる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位:千円

款	6	項	3	目	3	細事業名	漁港整備事業費(住ノ江)	所属	農村整備課
目　名　称		漁港整備事業費				財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額		27,178				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	133
		前年度当初	0	前年度最終	0		7,000			20,178	新　規

白石町総合計画	基本計画		基本計画	
(人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	第　3　章	活気と魅力のある豊かなまち 【産業の振興】	第　1　節	農林水産業の振興

1　目的

海苔養殖業の施設の集約化等に対応するため、堤防背後地に漁港施設用地を確保し、コスト削減、就労環境の改善を図る。
安全性・機能性・快適性等の漁業環境改善と水産物流通の効率化のため住ノ江漁港の早期着工へ向けた取り組みを図る。
効率的な維持管理、既存施設の長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減を目的として、施設の機能を保全するために必要な日常管理や保全・更新工事を盛り込んだ機能保全計画書の策定を行う。

2　事業内容

❑事業名　　水産生産基盤整備事業(特定)
❑事業年度　　平成28年度～平成34年度
❑負担区分　　国・県費75%　町費20%　漁協5%
【平成28年度事業】
●事業内容
水産生産基盤整備事業住ノ江漁港概略設計業務委託
特定漁港漁場整備事業計画書作成
漁港区域変更調書作成
年度別事業計画書作成

3　予算額

09. 旅　費:　認可設計協議・漁港区域変更協議(水産庁)　140千円
11. 需用費:　389千円
(消耗品費115千円、燃料費14千円、公用車点検整備費210千円、住ノ江漁港修繕費50千円)
12. 役務費:　41千円
公用車車検料(自賠責保険料28千円、総合検査料3千円、代行料8千円、証紙代2千円)
13. 委託料:　26,000千円
①水産生産基盤整備事業住ノ江漁港認可設計業務委託　12,000千円
②水産物供給基盤機能保全業務委託(住ノ江漁港)　14,000千円
14. 使用料及び賃借料:　583千円
事務機器リース料　583千円　(カラーコピー機115千円、積算共同利用システム468千円)
27. 公課費:　公用車重量税　25千円

■歳入
・水産物供給基盤機能保全事業補助金
国庫　14,000千円×50.0%　7,000千円

4　事業の効果

水産資源の持続的利用と、良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備が図られる。
安全で快適な漁業地域の形成、および漁業経営の向上が図られる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	8	項	1	目	1	細事業名	住民協働・道路等環境整備事業	所属	建設課
目　名　称	土木総務費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	6,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	141
	前年度当初	5,800	前年度最終	5,800						6,000	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち 【町民参加・町民協働】	基本計画 第 1 節	参加と協働の促進

1 目的　　地域住民の生活環境を整備し、住みよい町づくりを推進するため、地域住民が主体となって整備する事業に対し、助成を行うことで、地域住民の和と絆を構築し、よりよい町づくりに資することを目的とする。

2 事業内容　①住民協働環境整備資材等支給事業
住民が主体となって行う地区内の環境整備事業に対し、必要な資材費等の費用を助成する。
〇事業対象　町道等　　〇住民作業型　一部業務委託可　　〇補助限度額　500,000円

②道路等環境整備事業
各地区が主体となって施工する地域内の環境整備事業に対し、事業費の80%を限度として補助を行う。
〇事業対象　法定外道路・水路等　　〇工事発注型　　〇補助限度額　1,200,000円

※その他事業(多面的機能支払交付金など)による整備可能路線は対象外

3 予算額

19 負担金補助及び交付金	6,000,000 円	002補助金		
		①住民協働環境整備資材等支給事業	4,000,000円	50万円×8地区
		②道路等環境整備事業	2,000,000円	120万円(事業費150万円)×1箇所 80万円(事業費100万円)×1箇所

4 事業の効果　町の事業として着手しにくい地区内の里道や生活排水路などの整備を図り、生活環境の改善に資する。
町内の生活環境施設の小規模な維持管理を住民と協働で行うことにより、環境の改善と地域の活力の増進を図ることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計
款	8	項 2	目	1
目　名　称	道路維持費			
予　算　額	101,100 前年度当初 10,200　前年度最終 80,200			

単位：千円

細事業名	社会資本整備総合交付金事業 （道路ストック総点検事業費）	所属	建設課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	142
58,680			40,000	2,420	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第　3　節	体系的な交通網の整備・充実

1　目的

町道約430kmの中には既にアスファルト舗装の耐用年数が過ぎて老朽化の激しい箇所が多い。
平成26年度に約200kmの路面性状調査を行い、緊急性の高い路線から順次舗装補修を実施することで、安心・安全で快適な道路の通行を確保する。

2　事業内容

平成26年度に実施した、道路ストック総点検（路面性状調査）に基づき、道路老朽化対策（舗装補修整備）を5ヶ年計画で順次行う。

平成28年度　事業実施予定路線13路線

・ 総延長　L=　5,530m　（舗装幅員W=2.5m～6.9m）

3　予算額

（単位：千円）

路線名	本年度施工延長	幅員	本工事費	測量試験費	事務費	計	備考
町道中郷揚田線	L=530m	W=4.5m	90,800	10,000	0	100,800	路面性状調査に基づく
町道岡崎線	L=770m	W=3.3m					
町道廿治八反田線	L=220m	W=3.7m					
町道新村潮音寺線	L=270m	W=3.8m					
町道原田室島線	L=430m	W=3.7m					
町道順豊鹿清線	L=600m	W=4.5m					
町道廻里津大和線	L=730m	W=6.9m					
町道遠江中1号線	L=160m	W=2.5m					
町道太原遠江又線	L=430m	W=3.6m					
町道大戸片町線	L=360m	W=5.5m					
町道直江線	L=240m	W=3.5m					
町道弁財線	L=380m	W=4.5m					
町道六府方東部線	L=410m	W=4.0m					
消耗品費			0	0	300	300	消耗品（現場用消耗品等）
合計	L=5,530m		90,800	10,000	300	101,100	

4　事業の効果

老朽化した道路の舗装補修を実施することで道路利用者の安心・安全な通行が確保できる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位：千円

款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費	所属	建設課
目　名　称	道路新設改良費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	81,700 前年度当初　70,036　前年度最終　70,036					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	143・144
								75,000		6,700	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち　【町の基盤整備】	基本計画 第　3　節	体系的な交通網の整備・充実

1　目的

市町村合併により旧町間や公共施設を結ぶ町道の総合的な道路ネットワークの整備が急務である。

これらの町道の改良工事を新町建設計画や合併支援道路整備計画との整合性を取りながら、年次施工することにより安全・安心な道路網の整備とゆとりある生活基盤の確保を図る。

2　事業内容

路　線　名　（　全　体　計　画　）	
①町道白石13号線（新村線）　改良・舗装・補償　L=1,061m W=6.5m（継続）	事業年度 H　23　～H　29　予定
②町道白石15号線（古賀辺田線）改良・舗装・補償　L=　450m W=6.5m（継続）	事業年度 H　24　～H　28　予定
③町道郷司給線　　改良・舗装　　L=　810m W=5.5m（新規）	事業年度 H　28　～H　30　予定

3　予算額

単位：千円

路　線　名	施工延長	本工事費	委託費	用地費	補償費	事務費	計	備　考
①町道白石13号線（新村線）	180 m	21,300	1,200	1,600	7,900	－	32,000	過疎債対象道路(合併支援道路)
②町道白石15号線（古賀辺田線）	120 m	23,000	4,000	－	1,500	－	28,500	過疎債対象道路(合併支援道路)
③町道郷司給線	320 m	20,200	－	－	－	－	20,200	過疎債対象道路
消耗品費	－	－	－	－	－	69	69	事務用品及び契約用印紙代
役務費	－	－	－	－	－	10	10	返信用切手、印鑑証明書手数料
使用料及び賃借料	－	－	－	－	－	621	621	積算システムリース料
原材料費	－	－	－	－	－	300	300	砕石及び仕切弁嵩上用枠等
合　計	―	64,500	5,200	1,600	9,400	1,000	81,700	

4　事業の効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性の向上が図られる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	8	項	2	目	2	細事業名	社会資本整備総合交付金事業 （道路新設改良事業）	所属	建設課
目　名　称	道路新設改良費					財　源　内　訳		予算書頁	
予　算　額	104,600 前年度当初　119,180　前年度最終　84,980					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	143・144
						60,240		40,000		4,360	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第　3　節	体系的な交通網の整備・充実

1　目的

社会資本整備総合交付金事業で取り組む3路線は、小学校、中学校、高校の通学路及び公共機関へのアクセス道路であり、主要道路となっている。
しかし、いずれの路線も歩道が設置されておらず、一般車両と歩行者が交錯し危険な状況である。
このため、車道の幅員を確保し歩道設置をすることにより、歩行者の安全を確保し人に優しい交通環境の整備を図る。

2　事業内容

①町道中郷揚田線（福田工区）　県道武雄福富線～県道武雄白石線　改良・舗装工事　全長L=440m W=9.50m（継続）
②町道高町百貫線（深浦・坂田工区）　県道白石大町線～町道古賀辺田線　改良・舗装工事　全長L=1,100m W=10.00m（継続）
③町道秀村線（福田工区）　町道北川廿治線～町道大戸片町線　改良・舗装工事　全長L=280m W=10.25m（新規）

3　予算額

(1)通学路の安全対策　（単位：千円）

路　線　名	総　延　長	施工延長	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	事務費	計	備　考
町道中郷揚田線（福田工区） W=9.50m	L=440m	L=20m	3,200	1,000	1,200	11,000		16,400	社会資本整備総合交付金事業（交通安全対策）
町道高町百貫線 W=10.00m	L=1,100m	L=320m	60,000	0	2,500	12,000		74,500	
町道秀村線 W=10.25m	L=280m	－	0	12,500	0	0		12,500	
消耗品費							700	700	事務用消耗品、大型コピー機トナー、積算基準図書等
原材料費							500	500	道路補修用砕石、道路補修材
合　計	L=1,820m	L=340m	63,200	13,500	3,700	23,000	1,200	104,600	

4　事業の効果

整備計画路線は、主に小中学校及び高校の通学路となっており、国の補助事業を活用した道路整備（歩道設置）を行うことにより歩行者の安全性が確保できる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計

単位：千円

款	8	項	2	目	4	細事業名	橋りょう長寿命化事業	所属	建設課
目 名 称	道路橋りょう費					財 源 内 訳		予算書頁	
予 算 額	91,000 前年度当初 82,000 前年度最終 76,338					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	144・145
						50,400		25,000		15,600	継 続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実

1 目的

橋りょう長寿命化修繕計画策定に伴い、計画的な橋梁の維持管理を行い、将来的な財政負担の低減及び道路交通の安全性の確保を図る。

2 事業内容

平成28年度は、詳細設計を実施済の5橋について橋梁補修工事を行うとともに、健全度が悪化している5橋梁の詳細設計を実施する。

また、「道路法施行規則の一部を改正する省令」がH26年7月1日に施行され、国が定める統一的な基準により、5年に1回の頻度で、近接目視による点検が義務化されたため、点検業務を実施する。

・橋梁補修補強工事　5橋
・橋梁補修詳細設計　5橋
・橋梁点検業務　196橋（近接目視）　（H27～H30年度までに全ての橋梁点検を実施する）　町道架設橋梁数　695橋

3 予算額

単位：千円

橋 梁 名	橋 長	町 道 名	内 容	本工事費	測量試験費	補償費	合 計
代福橋	12.5 m	代行西線	【主な工事内容】	9,000	－	－	9,000
満江1号橋	13.3 m	遠江搦1号線	ひび割れ補修工	7,000	－	－	7,000
満江2号橋	13.3 m	遠江搦5号線	断面修復工	7,000	－	2,000	9,000
115-1号橋	8.6 m	馬田蓑具線	表面含浸工	10,000	－	－	10,000
0068-1号橋	5.1 m	新明東西2号線	橋面補修工	10,000	－	2,000	12,000
詳細設計業務	一式	－	5橋	－	10,000	－	10,000
橋梁点検業務	一式	－	196橋	－	34,000	－	34,000
合 計	－	－	－	43,000	44,000	4,000	91,000
内補助対象事業費	－	－	－	40,000	44,000	－	84,000

4 事業の効果

定量的かつ定期的な維持補修により橋梁の長寿命化を促し、維持補修にかかる金額の平準化及び第三者被害の防止を図る。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計					単位:千円
款	8	項	5	目	2	細事業名	りんりん公園整備事業費		所属	建設課
目　名　称	公園費					財　源　内　訳				予算書頁
						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	148・149
予　算　額	22,551 前年度当初　835　前年度最終　23,033								20,342	2,209	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的

主要地方道武雄福富線の歩道設置が平成28年度佐賀県の事業により計画されており、JR白石駅舎及び駅前広場、白石町りんりん公園の一部が道路用地内にかかるため、移転工事を行う。

2　事業内容

事業年度	事　業　内　容
平成25年度	公園・公衆用トイレ・駅前広場解体工事実施設計業務委託、公園一部解体工事
平成26年度	公園、公衆用トイレ解体工事、仮設トイレ設置、公園・駅前広場整備に伴う実施設計業務委託
平成27年度	駅舎・公衆用トイレ新築工事（公衆用トイレはJR九州本社委託工事）
平成28年度	県道拡幅工事（県工事）、公園整備工事、駅前広場整備工事、駐輪場補修工事、仮設トイレ撤去工事

3　予算額

単位:千円

節	予　算　内　容	金　額
旅費	・JR九州本社協議　2回	18
需用費	・消耗品費（写真パネル額縁代）	33
	・印刷製本費（写真パネル現像料）	40
役務費	・仮設トイレし尿汲取料（5ヶ月分）	50
使用料及び賃借料	・仮設トイレリース料	360
工事請負費	・駅前広場及びりんりん公園整備工事、仮設トイレ囲い柵撤去工事	22,050
合　計		22,551

4　事業の効果

白石駅舎及び周辺施設の移転工事を行うことにより、県道武雄福富線歩道設置事業の円滑な推進を図ることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	8	項	6	目	2	細事業名	公営住宅ストック総合改善事業	所属	建設課
目　名　称	住宅管理費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	75,800 前年度当初　56,170　前年度最終　56,170					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	150・151
						33,637				42,163	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的

本町の町営住宅は、昭和35年から昭和61年にかけて建設され、木造住宅や耐火構造住宅の耐用年数を超過した住宅が数多くあり、適切な維持管理が必要となっている。
したがって、このような老朽住宅について、国の交付金を利用して計画的な補修、改修を行い長寿命化を図る。

2　事業内容

廻里津住宅屋根防水改修及び給水設備改修工事
建設年度:昭和53～54年度　　構造:中層耐火構造3階　　入居戸数:30戸
・屋根防水改修工事
A＝1，144．389㎡
・給水設備改修工事
L＝201．1m

3　補正予算額　　（単位:千円）

節	予算額	細節	内容説明	
11需用費	50	消耗品費	積算資料購入費	50,000円
13委託料	9,750	設計監理委託料	廻里津住宅屋根防水及び給水設備改修工事設計監理委託料	9,750,000円
15工事請負費	66,000	工事請負費	廻里津住宅屋根防水及び給水設備改修工事	66,000,000円
合計	75,800			

4　事業の効果

居住性や安全性が低下している町営住宅の計画的な補修等を行い、町営住宅の適正な監理を図る。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	1	目	3	細事業名	外国青年語学指導助手設置費	所属	学校教育課
目名称	教育振興費					財源内訳		予算書頁	
予算額	13,309 前年度当初 13,725 前年度最終 14,319					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	159～161
									360	12,949	継続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

英語をもっと身近に、親しみを持つことができる環境を子どもたちに与えることを目的とし、中学校を中心に町内の小学校、保育園、幼稚園で、
英会話を広めるため子ども達とコミュニケーションを図りながら活動を行う。

2 事業内容

中学校における外国語授業の補助など英語の授業等に参加し、小学校へは総合的な学習の時間に年16回ずつ派遣し英語活動に取り組む。
また、町内の保育園、幼稚園を月1回訪問し、ゲーム等を通して園児との交流を図る。町内のさまざまなイベントに、積極的に参加し英会話を広めながら交流を図る。
各中学校1名　計3名配置

3 予算額

報償費	10,800千円	（ 300,000円 + 300,000円 + 300,000円 ） × 12 月 ＝ 10,800,000円	
旅費	56千円	研修旅費 2,000 円× 3 人= 6,000 円	白石中 ライオネル（直接雇用2年目）
		大会等引率 50,000 円	福富中 ジャック（直接雇用3年目）
需用費	110千円	消耗品費（教材消耗品） 10,000 円	有明中 ジョン（直接雇用2年目）
		修繕料（宿舎等） 100,000 円	
役務費（手数料）	75千円	ハウスクリーニング代 55,000 円　火災保険 20,000 円	
使用料及び賃借料	594千円	白石家賃 49,500 円× 12 月＝ 594,000 円	※福富は町設置宿舎、有明は有中用務員宿舎
備品購入費	100千円	備品買換 100,000 円（エアコン、洗濯機等）	
負担金	1,574千円	ALT社会保険料 130,000 円× 5 ヶ月 + 132,000 円× 7 ヶ月 ＝ 1,574,000 円	

※財源内訳　その他（家賃個人負担分）　10,000 円× 12 ヶ月 × 3 名分

4 事業の効果

ALTによる英語指導により、児童生徒が英語を身近に感じるとともに外国文化にじかに接することができる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計							単位：千円
款	10	項	1	目	3	細事業名	小中学校芸術体験事業費		所属	学校教育課
目名称	教育振興費					財源内訳				予算書頁
予算額	1,123 前年度当初 1,303 前年度最終 988					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	160・161
										1,123	継続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

町内の小中学生を対象に、音楽・演劇・伝統芸能などの生の芸術を鑑賞することで、芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の教育と健全な人格の形成を図る。

2 事業内容

・小学校…演劇鑑賞（H28年度：佐賀県児童演劇地方巡回公演）対象：須古小、六角小
・中学校…演劇鑑賞（H28年度：町独自）対象：白石中
・内容や学校の規模をふまえ、すべての児童生徒が各学校の在学中に芸術鑑賞ができるようにする。

（開催スケジュール:3年に1回、学校持ち回りで）

	H24		H25		H26		H27		H28（予定）		
	対象校	会場	対象校	会場	対象校	会場	対象校	会場（予定）	対象校	会場（予定）	
演劇	白石小、北明小 有東、有西、有南	総合センター ふれあい郷	須古小、六角小	六角小	福富小	学校	白石小、北明小 有東、有西、有南	北明小 ふれあい郷	須古小、六角小	須古小	演劇
音楽	福富中（演劇）	ゆうあい館	白石中（音楽）	学校	有明中（演劇）	ふれあい郷	福富中（音楽）	ゆうあい館	白石中（演劇）	学校	演劇

3 予算額

14 使用料及び賃借料 146千円 バス借り上げ料 45,000円 × 3台 × 1.08 ＝ 145,800円
（六角小 児童130人 ＋ 引率 10人）

19 負担金補助金及び交付金 977千円 小中学校芸術体験事業負担金 302,000円 × 1公演 × 1.08 ＝ 326,160円
（佐賀県児童演劇地方巡回公演 須古小、六角小）
602,000円 × 1公演 × 1.08 ＝ 650,160円 計 976,320 円
（町独自 白石中）

4 事業の効果

小中学生に、レベルの高い優れた生の舞台芸術公演等を鑑賞させることで、新鮮な感動と芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成につながる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	1	目	3	細事業名	スクールカウンセラー配置事業費	所属	学校教育課
目名称		教育振興費				財源内訳			予算書頁
予算額		3,155				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	159
	前年度当初	3,155	前年度最終	3,155			1,051			2,104	継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

小学校における不登校の増加に伴う教育相談事業の重要性に鑑み、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識を有するカウンセラーを配置し、小学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。

2 事業内容

①児童生徒へのカウンセリング

②カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・指導
- ・教師の教育相談に関する力量の向上（校内事例研修会、実技研修会等）
- ・保護者や相談機関との連携の在り方　など

③児童生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供
- ・いじめや不登校等の基本的な認識
- ・子どもの心の捉え方や対応の在り方　など

④その他児童生徒のカウンセリング等に関し、各学校において適当と認められるもの
- ・保護者への講話、カウンセリング
- ・学校だよりや教育相談だより等の原稿執筆

※補助率1／3以内（対象経費:謝金及び旅費に要する経費）

3 予算額

08 報償費　2,900 千円　スクールカウンセラー謝金　5,000円 × 580H ＝ 2,900,000円

09 旅費　255 千円　片道1,740円（白石町～唐津市）×2×73日 ＝ 254,040円
（配置されるスクールカウンセラーの住所により旅費が変動するため、以前の実績で最も遠い唐津市で計上）

4 事業の効果

家庭と学校とカウンセラーと連携することで、よりよい子どもの状態が保たれる。　※財源内訳 3,155千円×1/3＝1,051千円 県補助

※この事業は、H20年度までスクールアドバイザー配置事業（1／2県補助）として実施。H21年度からは、佐賀県スクールカウンセラー配置事業（1／3県補助）として実施。
H25年度から中学校スクールカウンセラー配置事業（国庫1/3補助、県2/3）…県より支出
小学校佐賀県スクールカウンセラー配置事業（県1/3補助、市町2/3）で実施予定…市町より支出

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位：千円

款	10	項	1	目	3	細事業名	適応指導教室事業	所属	学校教育課
目名称		教育振興費				財源内訳			予算書頁
予算額		4,006				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	159～161
		前年度当初	3,868	前年度最終	3,892					4,006	継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、交流館2階に適応指導教室コンフォートスペース「あい」を開設し、指導員2名を配置し指導を行っている。

2 事業内容

場所　　白石町交流館　2階　80㎡

指導員　　常勤1名、非常勤2名

※白石町小中学生適応教室設置要綱
※白石町コンフォートスペース「あい」運営要項

	H24	H25	H26	H27
正式入級者	8人	5人	5人	5人
見学者	のべ406人	のべ249人	のべ135人	
保護者相談	のべ18人	のべ102人	のべ16人	
体験入級者	のべ9人	のべ7人	のべ15人	
別室登校者	のべ29人	のべ4人	のべ4人	

※H23、H24は基金事業

3 予算額

賃金	3662千円	指導員（日々雇用）	6,800円 × 10日 × 12月 × 2名 ＝	1,632,000	円
		指導員（嘱託専任）	169,100円 × 12月 × 1名 ＝	2,029,200	円
需用費	166千円	消耗品費 事務消耗品	10,000円 × 12月 ＝	120,000	円
		活動費	3,000円 × 12月 ＝	36,000	円
		修繕料	10,000円		
役務費	53千円	電話料	4,000円 × 12月 ＝	48,000	円
		ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ料	5,000円		
使用料及び賃借料	75千円	ｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞ利用料（年払い）		16,632	円
		ｹｰﾌﾞﾙｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	（4,298円＋540円）×12月＝	58,056	円
備品購入費	50千円	教材備品・図書購入費			

4 事業の効果

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、集団生活に適応する力を育むことができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	1	目	3	細事業名	小学校ふるさと理解促進事業	所属	学校教育課
目名称		教育振興費				財源内訳			予算書頁
予算額	395					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	160
	前年度当初	0	前年度最終	0						395	継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

小学校社会科において、第3・4学年時にわが町”白石町”について学習する。そこで「わたしたちの白石町」という資料集（学習ノート付き）を編集・製本し、当該学年児童全員に配布し授業で活用することで、わが町”白石町”に対する児童の理解を深めることを目的とする。

2 事業内容

・資料集の編集（前回発行物を最新データへ修正等：各学校の社会科主任等の編集委員により）
・資料集の製本印刷（H29、H30、H31分を一度に印刷製本予定，H28改訂予定）
・資料集の配布（H29.4月配布予定）

3 予算額

11　需用費　395千円　004 印刷製本費　522円×700冊×1.08＝394,632円

小学3年児童

H29	218	人	9	クラス				
H30	184	人	9	クラス				
H31	210	人	9	クラス				
計	612	人＋	27	クラス	＋	予備	61	＝ 700

（担任分）

4 事業の効果

児童たちが住む町内各地域を越えて白石町全体についての理解を深めるとともに、我がふるさとに対する興味・関心が高まる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位：千円

款	10	項	2	目	2	細事業名	学校教育課費（小学校情報教育費）	所属	学校教育課
目名称		教育振興費				財源内訳		予算書頁	
予算額		44,781				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	165・166
	前年度当初	52,294	前年度最終	52,078						44,781	継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第1節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

平成23年4月に「教育の情報化ビジョン」が取りまとめられ、国は、電子黒板や学習用電子端末などのICT機器等を利活用した教育を推進している。佐賀県も例外ではなく、教育現場におけるICT機器等の整備と利活用教育に関する研修の充実を図るなどして、先進的な利活用教育の推進を目指している。こうした動きを受け、白石町でも町内小学校でタブレットPCを配置し、デジタル教科書による授業の実現を図り、ICT機器等を利活用した教育を推進する。

2 事業内容

・パソコン教室PCのリース満了、老朽化により、新しいパソコン教室のあり方として、「移動パソコン教室構想」で小学校パソコン教室の運用を行う。（小学校分）
・校務用パソコンを更新する。

【参考】校務用パソコン等更新計画案

	須古	六角	白石	北明	福富	有東	有西	有南
配置済	H26				H26			
H27		サーバ	サーバ	サーバ		パソコン	パソコン	サーバ
H28		パソコン	パソコン	パソコン				パソコン
H29								

3 予算額

13 委託料	17,271 千円	町内小学校　移動パソコン教室パソコン運用費	一式　16,984,080 円	計　17,269,200 円
		パソコン廃棄費用	一式　285,120 円	
14 使用料	8,178 千円	町内小学校　移動パソコン教室パソコン等リース料 681,450円×12ヶ月＝8,177,400円		計　8,178,000 円
18 備品購入費	19,332 千円	校務用パソコン等購入費 （4校分　六角小、白石小、北明小、有南小） （　4,592,160　+　5,073,840　+　5,073,840　+　4,592,160　）		計　19,332,000 円

装置項目	六角	白石	北明	有南	数量	概算
校務用PC	16	18	18	16	68	
校務支援ソフト	1	1	1	1	4	
設定	1	1	1	1	4	

4 事業の効果

・町内すべての小学校において、タブレットPCを使った授業を行うことで、児童生徒の興味を引き、分かりやすく授業が行える。
・町内小学校の教職員に対し、職員1人1台のPC環境を整えることで、校内における多忙化解消、学校教育の振興につながる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	10	項	2・3	目	1	細事業名	学校教育支援員（スクールアシスタント）配置事業	所属	学校教育課
目名称	教育振興費					財源内訳			予算書頁
予算額	42,200 前年度当初 42,100 前年度最終 42,100					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	162・167
										42,200	新　規

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第　1　節	個性豊かで優れた人材の育成

1　目的

今の学校現場では、特別支援学級の生活面の対応、不登校（別室登校を含む）児童生徒への対応、障害や発達障害等による特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員（教職員）での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。そこで、教員免許を有する者、教員を目指している者、児童生徒の生活面の支援に知識を有する者、学校事務に経験を有する者を配置し、児童生徒の健全な育成と円滑な学校経営に資することを目的とする。

2　事業内容

・特別支援学級の児童生徒への対応補助
・別室登校及び不登校児童生徒への対応補助
・障害等により個別対応が必要な登校児童生徒への対応
・授業や補充学習の指導補助
・各種学校行事における指導及び準備補助
・事務補助　　など

小学校	特別支援教育対応	1,000時間	8校
	教育相談対応（不登校対策）	1,000時間	
	発達障害児等対応	1,000時間	
	事務支援対応	1,000時間	
中学校	特別支援教育対応	1,000時間	3校
	教育相談対応（不登校対策）	1,000時間	
	事務支援対応	1,000時間	
	学習支援対策	400時間	

3　予算額

※各学校予算へ配分

7　賃金	小学校	1,000	円×	4,400	時間×	1 校＝	4,400,000	円（1校）	計	4,400 千円
	小学校	1,000	円×	3,900	時間×	7 校＝	27,300,000	円（6校）	計	27,300 千円
	中学校	1,000	円×	3,900	時間×	1 校＝	3,900,000	円（3校）	計	3,900 千円
	中学校	1,000	円×	3,300	時間×	2 校＝	6,600,000	円（3校）	計	6,600 千円

参考H26		H27予算	
小学校	32,000 千円	小学校	31,900 千円
中学校	10,200 千円	中学校	10,200 千円
計	42,200 千円	計	42,100 千円

4　事業の効果

児童生徒の障害に応じた支援体制の確立と事故防止対策がつながり、また、不登校・いじめなどの予兆的なサインをいち早くキャッチし、個別の教育相談を行ったり、教師間の連帯強化を図ったりするなど、児童生徒の状況に応じた適切な支援・指導が行えるようになる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	10	項	2・3	目	2	細事業名	コミュニティ・スクール事業費	所属	学校教育課
目名称		教育振興費				財源内訳			予算書頁
予算額		3,580				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	164・169
	前年度当初	1,400	前年度最終	1,869		1,000				2,580	継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第1節	個性豊かで優れた人材の育成

1　目的

熟議や協働のもと信頼される開かれた学校づくりを目的として、学校運営協議会を設置し、地域に根差したコミュニティ・スクールの導入のあり方と推進について、実践を通じて調査・研究を行う。

2　事業内容

◆ 研究指定期間　2年間
国庫補助　1/3(国の予算の範囲内)

◆コミュニティ・スクール導入等促進事業
・ H27年度から2年間　町内全小中学校（福富小学校を除く）

◆コミュニティ・スクールの取組の充実
・ H28年度から2年間　福富小学校

※学校運営協議会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5の規定に基づく組織
同法律に基づき「白石町学校運営協議会規則」を整備
学校運営協議会は学校毎に設置
※学校運営協議会の役割
校長の作成する学校運営の基本方針の承認
学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べることができる
教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べることができる

学校運営協議会設置状況（H27年4月現在）
全国2，389校
佐賀県　28校（佐賀市　小3・中2　武雄市　小2・中2　鹿島市　小1　嬉野市　小8・中4
唐津市　小2・中1　大町町　小1・中1　白石町　小1）

3　予算額

300,000円　×　10　校　＝　3,000,000円（導入促進）
580,000円　×　1　校　＝　580,000円（取組の充実）

4　事業の効果

保護者・地域住民との連携がこれまで以上に強化され、信頼される開かれた学校づくりが図れる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	2・3	目	2	細事業名	小中一貫教育研究事業	所属	学校教育課
目名称		教育振興費				財源内訳		予算書頁	
予算額	234					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	164・169
	前年度当初	0	前年度最終	0						234	継続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

本町教育に関する課題について、町教育委員会が定めた研究領域により、実践を通して研究を行い、その成果を公表することによって、本町児童生徒の個性と創造性を育み、生きる力を培うとともに、教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 事業内容

指定校

福富小学校

福富中学校

研究期間

2年間

研究内容

「小中一貫教育の在り方」について

3 予算額　（単位:円）

	福富小	福富中
報償費	48,000	48,000
旅費	34,000	34,000
需用費	35,000	35,000
合計	117,000	117,000

4 事業の効果

研究指定校と町教育委員会が協働して、地域の実状や児童生徒の実態等の地域に応じた学校運営のあり方を探り、特色ある学校づくりを進めることで、町教育水準の維持・向上が図れる

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	10	項	3	目	2	細事業名	放課後等補充学習支援事業	所属	学校教育課
目名称	教育振興費					財源内訳		予算書頁	
予算額	1,065 前年度当初 1,065 前年度最終 1,065					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	169
							630			435	継続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1　目的

町内中学校において、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、地域の人材（退職教職員等の社会人や保護者、教員志望の大学生等）を活用し、放課後や長期休業中に補充学習を行うことにより、基礎学力の定着と学ぶ楽しさを味わわせ、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図ることを目的とする。

2　事業内容

事業期間	1年間（H26年度新規事業）
事業費	350千円以内（一校当たり）
負担割合	国1/5、県2/5、町2/5
放課後補充学習県内取組状況	87校（全市町立中学校）
内補助事業利用状況	41校

3　予算額

白石中学校	賃金	日々雇用賃金	355千円
福富中学校	賃金	日々雇用賃金	355千円
有明中学校	賃金	日々雇用賃金	355千円

※外部講師2,770円/h

4　事業の効果

学習内容の定着が十分に図れていない生徒が、放課後や長期休業中に補充学習を受けることにより、基礎学力の定着と学ぶ楽しさを味わうとともに、学習への意欲を持ち、学習習慣の確立を図ることが出来る。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計
款	10	項	4	目	1
目名称	小学校施設整備費				
予　算　額	92,000 前年度当初　95,470　前年度最終　95,250				

細事業名	小学校施設整備費	所属	学校教育課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	171
			86,000	6,000	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

単位：千円

1　目的

町内の小学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、児童の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。

2　事業内容

修繕料　各学校に対応した緊急性の高いものから対応する

各小学校	緊急を要する修繕（60万円×8校）		4,800 千円

委託料

須古小	校舎外壁等改修　監理	1,750 千円	
有明西小	校舎外壁等改修　設計	3,500 千円	
福富小	配水設備改修　設計	200 千円	
その他	緊急的に対応が必要となる工事の設計等	250 千円	合計
			5,700 千円

工事請負費

須古小	校舎外壁改修	70,000 千円	
有明南小	校門前・プール横法面整備工事	5,000 千円	
福富小	配水設備改修	2,000 千円	
六角小	消火設備更新	2,000 千円	合計
その他	緊急的に対応が必要となる工事	2,500 千円	81,500 千円

3　予算額

修繕費	4,800 千円
委託料	5,700 千円
工事請負費	81,500 千円

4　事業の効果

児童及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、
適切な維持管理により、保護者に安心をあたえ、児童の教育充実及び安全確保が図られる。

区分	平成28年度　当初			会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	4	目	2	細事業名	中学校施設整備費	所属	学校教育課
目名称	中学校施設整備費					財源内訳			予算書頁
予算額	42,000 前年度当初 6,200 前年度最終 6,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	171
									20,000	22,000	継続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

町内の中学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、生徒の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。

2 事業内容

修繕料　各学校に対応した緊急性の高いものから対応する

各中学校	緊急を要する修繕（60万円×3校）		1,800 千円

委託料

福富中	部室新築工事　監理	1,000 千円	
その他	緊急的に対応が必要となる工事の設計等	200 千円	
		合計	1,200 千円

工事請負費

福富中	部室新築工事	35,000 千円	※ふるさと基金　20,000千円充当
福富中	高圧ケーブル改修	1,500 千円	
その他	緊急的に対応が必要となる工事	2,500 千円	
		合計	39,000 千円

3 予算額

修繕費	1,800 千円
委託料	1,200 千円
工事請負費	39,000 千円

4 事業の効果

生徒及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、
適切な維持管理により、保護者に安心をあたえ、生徒の教育充実及び安全確保が図られる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計
款	10	項 5	目	1
目　名　称	人権・同和教育費			
予　算　額	531 前年度当初 405 前年度最終 405			

単位：千円

細事業名	人権・同和教育費	所属	生涯学習課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	172・173
	60			471	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第 5 節	人権の尊重と男女共同参画の推進

1 目的

人権・同和問題（高齢者・女性・こども・障害者・同和地区）に関する正しい理解と認識を深め、いつまでも・どこでも差別のないあたたかなふれあいの町づくりを目指す。
また、学校と地域及び行政との連携で「人権フェスティバル」を開催し、これまでの白石町を振り返り、差別の現実から深く学ぶ

2 事業内容

①「しろいし人権フェスティバル」の開催（講演会・町内から標語・作文の募集表彰）
② 町内地域への人権教育の啓発事業
③ 佐賀県人権・同和教育研究協議会主催事業への参加

3 予算額　531 千円

8 報償費	328 千円	① 人権教育総合推進事業講師謝金　8,000円×11回＝88,000円　12,000円×3回＝36,000円 ② 人権フェスティバル講演会講師　100.000円 ③ 選考委員謝礼　1,000円×5人＝5,000円 ④ 人権フェスティバル実行委員謝礼　1,000円×20人×2回＝40,000円 ⑤ 入賞者記念品　700円×84個＝58,800円
9 旅　費	10 千円	職員研修旅費　10,000円
11 需用費	80 千円	①人権フェスタ消耗品　40,000円 ②人権教育総合推進事業消耗品　16,000円 ③佐賀県人権・同和教育研究大会～参加資料代　全体会　800円×9人（市町関係者参加要請人員）=7,200円 分科会　1,500円×9人（市町関係者参加要請人員）=13,500円 ④その他研修会参加資料代　500円×2人×3回＝3,000円
19 負担金補助及び交付金	113 千円	佐賀県人権・同和教育研究協議会負担金　112,318円

4 事業の効果

学校と保護者及び町老連など組織へ人権教育の浸透と、学社連携により人権・同和教育を推進しあたたかなふれあいの町づくりを目指す。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計							単位：千円
款	10	項	5	目	2	細事業名	中央公民館費		所属	生涯学習課
目　名　称	中央公民館費					財　源　内　訳			予算書頁	
予　算　額	12,745 前年度当初　15,471　前年度最終　15,871					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	174・175
										12,745	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

1　目的

佐賀県公民館連合会、杵島郡公民館連合会の活動をとおし、公民館の連絡を密にし、公民館運営についての調査研究を行い、相提携して公民館活動の充実振興を図る。
また、住民に最も身近な活動拠点である自治公民館活動を充実させる。また、自治公民館長を委嘱し、地域公民館事業の推進と活動支援を行う。

2　事業内容

公民館運営審議会委員委嘱
佐賀県公民館連合会、杵島郡公民館連合会の活動への参画
自治公民館長委嘱と自治公民館長会の開催/年間5回（全体会議1回、校区ごと4回）
自治公民館活動交付金の交付
自治公民館施設整備補助金（補助対象経費の5分の1（20%）助成）

3　予算額　12,745　千円

1	報　酬	8,599	千円	自治公民館長報酬　均等割：51,000円×109館＝5,559,000円 戸数割：400円×7,600世帯＝3,040,000円
9	旅　費	545	千円	自治公民館長費用弁償　年間5回（1,000円×109人×5回＝545,000円）
11	需用費	228	千円	事務用品　100,000円 年間事業計画表（ｽﾎﾟｰﾂ・3公民館行事含む）印刷　15円×7,900枚×1.08＝127,980円
19	負担金補助及び交付金	3,373	千円	佐賀県公民館連合会負担金　18,710円 杵島郡公民館連合会負担金　24,000円 自治公民館活動交付金　3,330,000円　均等割：18,000×109公民館=1,962,000円 世帯割：180×7,600世帯=1,368,000円

4　事業の効果

各種事業の企画実施、公民館活動の充実振興が図られる。
住民の方々の身近な施設としての自治公民館の役割は大きく、住民の盛り上がりの中で地域の教育力の回復とともに、各単位公民館での活発な活動が行える。
自治公民館（長）の事業実施について、財政的支援を行い地域の盛り上がりを手助けする。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計		単位:千円
款	10	項	5	目	3	細事業名	文化活動推進・文化財保護費	所属	生涯学習課
目　名　称	文化活動推進・文化財保護費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	4,951 前年度当初 4,672 前年度最終 4,672					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	175・176
									3,150	1,801	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】	基本計画 第 3 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造

1 目的

優れた人材への助成と日本三大歌垣の一つ杵島山の歌垣に因む三十一文字コンテストを開催することにより、地域文化の育成と芸術文化の向上を図る。
伝承芸能・文化財の保護・啓発・活用をとおして、白石町の歴史への認識を深め、郷土に対する愛着心と誇りを醸成する。

2 事業内容

文化活動推進：九州・全国及び世界的団体が主催する競技大会若しくは研究大会または表彰式典とへの出場者に対し、大会規模に応じて一人当たりの助成金を交付する。
「愛」をテーマとする和歌を全国から募集する「歌垣の里・白石　三十一文字コンテスト」を開催し、日本三大歌垣の一つ杵島山を全国的にPRする。
文化財保護：開発行為と埋蔵文化財保護との調整を図る。指定文化財の維持管理・公開を委託する。各種文化財の調査及び啓発・推進及び活用。重要文化財の指定化。
指定文化財保存修復事業の補助。伝統芸能の保存・伝承に不可欠な用具の購入および修理に要する経費に対して助成金を交付する。

3 予算額　4,951 千円

1	報酬	60 千円	文化財保護審議会委員報酬	6,000円×5人×2回=60,000円
8	報償費	219 千円	三十一文字コンテスト選者謝金	20,000円×3人=60,000円
			三十一文字コンテスト入賞者副賞	3,000円×53個=159,000円
9	旅費	10 千円	文化財保護審議会委員費用弁償	1,000円×5人×2回=10,000円
11	需用費	111 千円	三十一文字コンテスト入賞歌集印刷費	350円×240部×1.08=90,720円
			事務消耗品費	20,000円
12	役務費	100 千円	三十一文字コンテスト募集要項等送料	100,000円
13	委託料	634 千円	指定文化財維持管理委託料	215,000円
			埋蔵文化財確認調査等作業委託料	864円×4人×7時間×2日=48,384円
			三十一文字コンテスト掲示板3基作成・設置等委託料	123,120円×3基=369,360円
14	使用料及び賃借料	146 千円	埋蔵文化財確認調査用掘削機借上料	6,950円×7時間×3日=145,950円
19	負担金補助及び交付金	3,671 千円	町重要文化財「水堂安福寺の宝塔」保存修復補助金	421,000円
			伝承芸能保存育成助成金	100,000円
			文化振興激励費交付金	150,000円
			文化振興財団自主事業補助金	3,000,000円

4 事業の効果

地域文化の向上と活性化を期し、ふるさと白石町の歴史に関する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りと愛着心を増進させる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	5	目	4
目 名 称	青少年育成費				
予 算 額	3,623 前年度当初 3,440 前年度最終 3,440				

細事業名	青少年育成費	所属	生涯学習課

財源内訳					予算書頁
国庫	県費	地方債	その他	一般財源	176・177
	300		850	2,473	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成

1 目的

青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人たちや関係団体との協力のもと、地域ぐるみで見守り、地域を拠点とした文化活動、野外活動、自然活動を行う。
大自然の中で、たくましさと自主性を学び、友情を育み、自然体験をとおして子ども達の資質を高め、白石町の青少年リーダー育成をめざす。

2 事業内容

□放課後子ども教室推進事業 国1/3、県1/3 、市町1/3 補助対象経費450千円×2/3=300千円
〇おおどぼう倶楽部・・・町内小学校4～6年生の希望者に、野外活動を中心とした年間7回程度の体験学習活動を行う。
〇ジュニア合唱教室・・・小学生の希望者を対象に、毎月第2第4土曜日、合唱の指導を行う。
□元気ッズボランティア活動・・・過去に元気ッズに参加した、現在中学3年生が対象。白石町のためにボランティア活動を行なう。
□青少年育成町民会議・・・理事会、総会、研修会等の開催。学校・PTA・老人会・地域の見守り隊への協力、非行防止活動のための防犯パトロールの実施、自主性と異学年間の交流を目的にした通学合宿の実施。青少年育成活動を行なう団体への助成。花いっぱい運動を主体とした環境美化活動。

参加負担金

内 容		金額
おおどぼう	18,000円×45人	810,000円
ボランティア	500円×80人	40,000円
合 計		850,000円

3 予算額 3,623 千円

8 報償費	615 千円	おおどぼう:特別講師謝金 10,000円/回×6人=60,000円 指導員謝金 720円/hr×4時間×のべ75人=216,000円 Jr合唱: 講師謝金 3,000円×3人×35回=315,000円 特別講師謝金12,000円×2回=24,000円
9 旅 費	1,624 千円	長崎県大島村民泊費等 小人6,480円×45人×2日=583,200円 大人9,800円×8人×2日=156,800円 引率者日当 1,000円×8人×3日=24,000円 小人体験2種8,000円×45人=360,000円 大人3,500円×8人=28,000円 フェリー代 小人300円×45人×2回=27,000円 大人590円×6人×2回=7,080円 自動車航送料(2台) 18,300円 安心院民泊費 7,300円×45人=328,500円 スタッフ・運転者 9,800円×8人=78,400円 引率者日当 1,000円×6人×2日=12,000円
11 需用費	622 千円	活動教材・食材費 おおどぼう倶楽部:年間7回活動 472,000円、ジュニア合唱教室:35回(毎月2回 出演他) 70,000円 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 80,000円
12 役務費	126 千円	おおどぼう小人800円×45名=36,000円 大人1,850円×20名=37,000円 Jr合唱小人・大人800円×30名=24,000円 ボランティア活動30円×80名=2,400円 通信用切手代 82円×45人×7回=25,830円
14 使用料及び賃借料	136 千円	黒髪少年自然の家施設使用料他 14,000円 ふれあい郷遊喜館施設及び備品使用料 8,000円 干潟体験使用料他 99,000円 体験施設使用料 15,000円
19 負担金補助及び交付金	500 千円	青少年育成町民会議補助金 500,000円

放課後子ども教室推進事業

項 目	金 額
国県費	300 千円
参加料	810 千円
町 費	1,929 千円
合 計	3,039 千円

4 事業の効果

青少年育成事業をとおし、地元の人たちの指導・協力・サポートによって、白石町の子ども達がたくましく元気に育ち、安全で明るい地域づくりができる。子どもたちの生きる力を育み、地域教育力の向上が図られる。また、集団での自然体験を行うことにより、自然の美しさ・厳しさを体感し、自立を促し、社会の一員としての責任感を知り、白石町の子どもとしての様々な能力を養う。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	6	目	1	細事業名	スポーツ事業費	所属	生涯学習課
目　名　称	保健体育総務費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	950 前年度当初　958　前年度最終　958					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	180・181
										950	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

1　目的

町全体規模のスポーツ大会を通じて、健康づくり・体力向上と、町民の親睦融和を図る。「スポーツでまちを元気に、まちがひとつに」

2　事業内容

町全体でのスポーツイベントを開催し、スポーツの振興を広く町民に呼びかける。

①　自治公民館対抗男子ソフトボール大会（9月開催）
②　自治公民館対抗女子ソフトバレーボール大会（6月開催）
③　ファミリースポーツデイ（9月開催）

3　予算額

			男子ソフトボール	女子ソフトバレーボール	ファミリースポーツデイ
報償費 545 千円	謝礼及び謝金	266 千円	審判講習会謝金1名 大会役員謝金60名 214千円	大会役員謝金15名　53千円	
	賞品代	279 千円	優勝・準優勝賞品（商品券）、参加賞 168千円	優勝・準優勝賞品（商品券）、参加賞 91千円	参加賞賞品代 20千円
旅費 28 千円	費用弁償	28 千円	ー	ー	スポーツ推進委員28名
需用費 292 千円	消耗品費	283 千円	ソフトボール、メンバー表、ロジンバッグ、プロテクター、賞状、事務用品費ほか 133千円	ソフトバレーボール、ネット、ラインテープ、アルコールシート（笛消毒用）、賞状、事務用品費ほか　145千円	用具代　5千円
	医薬材料費	9 千円	冷却スプレー、消毒液（補充用）　9千円		
委託料 35 千円	その他委託料	35 千円	ー	審判講習会・大会審判委託料　35千円	ー
原材料費 50 千円	原材料費	50 千円	石灰代、グラウンドポイント材料代　50千円	ー	ー

4　事業の効果

町全体でのスポーツ大会を実施することにより、町民の健康増進と融和を図ることができる。

区分	平成28年度 当初	会計	一般会計						単位：千円
款	10	項	6	目	1	細事業名	スポーツ人材育成補助事業費	所属	生涯学習課
目 名 称	保健体育総務費					財 源 内 訳			予算書頁
予 算 額	900 前年度当初 1,100 前年度最終 1,100					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	181
										900	継 続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】	基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実

1 目的

スポーツ団体・個人の育成と競技力向上を図るため、全国大会・九州大会参加に要する経済的負担の軽減を図る。また町内の高校（白石高校・佐賀農業高校）が、県大会の予選会を通じて全国大会に出場した場合に、その競技団体に助成する。

2 事業内容

スポーツ人材育成補助事業	高等学校全国大会出場助成事業
・大会派遣助成事業 ・県内の大会で勝ち進み、九州大会や全国大会に出場するために要する経費の一部を助成する。 全国大会・・・ 10,000円 九州大会・・・・5,000円 ※尚、同一年度内の補助は全国大会、九州大会各1回を限度とする。また、1団体10万円を限度とする。（白石町文化・スポーツ振興事業激励費交付要綱）	・各種大会の県予選会を勝ち抜いて、全国大会の出場権を取得した種目に助成する。 ・助成の対象 白石町内の白石高等学校及び佐賀農業高等学校が、全国高等学校総合体育大会（団体競技のみ）、全国高等学校駅伝競走大会、 全国高等学校野球大会等全国的規模の大会に出場する場合、白石町を全国にPRできるものとし、町内の高等学校に限って助成する。 (1) 助成金の額は、大会主催者が大会要項等で定めた人員で、登録選手1人あたり20,000円とする。

3 予算額

スポーツ人材育成補助事業	高等学校全国大会出場助成事業
・負担金補助及び交付金 ・・・ 補助金 700千円 白石町文化・スポーツ振興事業補助金200,000円 H23年度 全国大会17件(団体10件・個人7件)、九州大会8件(団体1件・個人7件) 875千円 H24年度 全国大会12件(団体5件・個人7件)、九州大会10件(団体3件・個人7件) 850千円 H25年度 全国大会 13件(団体8件・個人5件)、九州大会8件(団体5件・個人3件) 575千円 H26年度 全国大会 14件(団体8件・個人6件)、九州大会5件(団体4件・個人1件) 545千円	・負担金補助及び交付金 ・・・ 助成金 200千円 ・積算内訳 H24年度、H25年度 白石高校女子陸上部全国大会出場 H27年度は、11月末日まで実績なし 本予算については、目的からして予算に不足が生じた時は補正を必要とする。

4 事業の効果

全国大会・九州大会参加促進への環境整備により、スポーツ団体・個人の尚一層の育成と競技力向上を図ることができる。また、町内の高等学校が全国大会に出場することにより、町民のスポーツに対する意識を高めると共に、全国に「白石町」の知名度を高めることができる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位：千円

款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会費 （歌垣の郷ロードレース大会）	所属	生涯学習課
目　名　称	保健体育総務費					財　源　内　訳		予算書頁	
予　算　額	4,000 前年度当初　4,186　前年度最終　4,186					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	181
								3,000		1,000	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

1　目的

中・高校生の駅伝大会における全国的な活躍により、町民の駅伝に対する期待と関心が高まっているなか「駅伝の町しろいし」「歌垣の郷しろいし」を全国的に広めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し、町民の健康増進と町の活性化を図る。

2　事業内容

大会開催日　：平成29年3月12日（毎年3月第2日曜日開催）
企画・運営　：実行委員会形式により、１１月より3月まで5回の実行委員会を開催
競技種目　：日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部　合計5種目・１５競技を開催
参加料　：第21回大会より、自動計測タグを使用する種目については、一律500円アップでお願いする。
　中学生以下　1,000円　　高校生以上　2,000円　　ジョギング　中学生以下　500円　　高校生以上　1,500円

3　予算額

委託料　　4,000 千円　　歌垣の郷ロードレース大会委託料（大会運営費等）　　4,000,000 円

4　事業の効果

競技申込者：第1回・769名　第2回・985名　第3回・1,115名　第4回・1,503名　第5回・2,104名　第6回・2,014名　第7回・2,185名　第8回・2,343名　第9回・2,324名
第10回・2,946名　第11回・2,522名　第12回・2,718名,第13回・2,776名,第14回・2,788名（平成20年度）,第15回・2,701名（平成21年度）
第16回・2,814名（平成22年度）　第17回・2,720名（平成23年度）　第18回・2,784名（平成24年度）　第19回大会・2,746名(平成25年度)
第20回大会・3,154名（平成26年度）　第21回・2,575名（平成27年度）
ロードレース大会を実施することにより、町の活性化や町のPRができ、町民のスポーツに対する意識も高めることができる。

区分	平成27年度　当初	会計	一般会計							単位：千円
款	10	項	6	目	2	細事業名	白石社会体育館改修事業費		所属	生涯学習課
目　名　称	体育施設管理費					財　源　内　訳			予算書頁	
予　算　額	6,000 本年度当初　0　現計予算　0					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	182
										6,000	新　規

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

1　目的

白石社会体育館は、社会体育施設として利用者も多く、白石中学校の授業や部活動の場としても利用されている。また、白石町防災計画の中でも避難所として指定されている。
当体育館は、昭和51年に建築され39年が経過し、屋根からの雨漏りが発生しており、内部壁材や外壁についても老朽化が激しい状況である。
このことから、今後社会体育施設、避難所として利用者が安全で安心して活用できるよう、施設の改修を行い長寿命化を図るため、改修工事に向けた設計業務を実施したい。

2　事業内容

・改修工事実施設計業務
（改修内容）　屋根・外壁・内壁等

※　白石社会体育館
・建築年　昭和51年
・構　造　1階　鉄筋コンクリート造　2階　鉄骨造
・延面積　1,822.00㎡

3　予算額

・委託料　6,000千円

白石社会体育館改修工事設計委託料　6,000,000円

4　事業の効果　改修工事の実施設計を実施することにより、改修計画が円滑に進むことができる。

区分	平成28年度　当初	会計	一般会計

単位：千円

款	10	項	5	目	5	細事業名	ふくどみマイランド管理費	所属	生涯学習課
目　名　称	社会体育施設費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	12,452 前年度当初　9,631　前年度最終　9,631					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	177～179
									453	11,999	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち　【教育文化の向上】	基本計画 第　2　節	生涯学び楽しめる環境の充実

1　目的

マイランド公園の適切な運営により、町民憩いの場を提供する。
平成4年度に造成され23年経過し、経年劣化により外壁はタイルが剥がれ、内部仕切り板が腐食し老朽化が目立ってきています。
駐車場トイレは、現在、汲み取り式のトイレですが、衛生面等を考え、浄化槽式の水洗トイレとして改修に向けて設計業務を実施したい。

2　事業内容

マイランド公園の適切な運営

3　予算額

（単位：千円）

節	予算見積額	細節		積算及び内容	
賃金	2,025	嘱託職員賃金	2,025	・マイランド雇用賃金（168,700円/月×12ヶ月）	2,025
需用費	4,190	消耗品費	201	・公園、グラウンド用除草剤（6,000円×8本/年）	48
				・AED交換用パッド（成人用9,720×2ケ、小児用21,600×1ケ）	42
				・干拓館及び他施設消耗品（洗剤、トイレ用品等）	111
		燃料代	251	・干拓館ガス代（15,660円×12ヶ月）　・H27　月14,500円	188
				・芝刈り機軽油代（118円×60ℓ×8回/年）	57
				・除草作業用機械ガソリン代（138円×5ℓ×8回）	6
		光熱水費	2,738	・電気料（多目的G1,450,000円、干拓館・ゲートボール場公園その他1,150,000円）	2,600
				・水道料（干拓館100,000円、多目的G20,000円、公園その他18,000円	138
		修繕料	1,000	・施設、機械修理（芝刈り機386,392円、遊具222,480円）	1,000
役務費	366	通信運搬費	54	・干拓館電話料（4,500円/月×12ヶ月）	54
		手数料	312	・し尿汲取り料（月25,000円×12ヶ月）	300
				・浄化槽法定検査料	12
委託料	5,711	保守点検委託料	484	・浄化槽点検委託料243,000円　・消防設備点検委託料15,000円 ・電気工作物保安業務175,000円・公園遊具保守点検51,000円	484
		施設整備管理委託料	3,067	・干拓館警備（11,340円×12ヶ月）H27.4.1～H30.3.31）	137
				・植栽管理（マイランド公園、グラウンド）	2,880
				・干拓館清掃業務委託料50,000円	50
		設計委託料	2,160	・トイレ改修工事設計委託料2,160,000円	2,160
使用料及び賃借料	100	テレビ受信料	30	・NHKテレビ受信料15,000円＋ケーブルテレビ受信料15,000円	30
		機械借り上げ料	70	・整地用機械借上げブルトーザ3t級（オペレータ・運搬費込）	70
原材料費	60	原材料費	60	・砂購入費　4,000円/m3×15m3	60
合計	12,452				

4　事業の効果

住民の安らぎと憩いの場の提供と、スポーツ・レクリエーションの場の提供により、住民同士の触れ合いと健康維持増進が図られる。

区分	平成28年度　当初		会計	一般会計

単位:千円

款	10	項	5	目	5	細事業名	龍王崎古今の森管理費	所属	生涯学習課
目　名　称	社会教育施設管理費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	2,750 前年度当初　1,350　現計予算　1,350					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	178
										2,750	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　4　章	個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】	基本計画 第　3　節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造

1　目的

県指定の史跡が存在する龍王崎古今の森公園の維持管理に努める。

2　事業内容

需用費　消耗品費　30千円(トイレットペーパー、トイレ清掃用具)
燃料費　8千円(草刈り用混合油)
光熱水費　水道料　3,000円×12月＝36,000円　電気料　20,000円×12月＝240,000円　計　314,000円

役務費　浄化槽検査手数料　13,000円

委託料　浄化槽保守点検委託料　342,800円
トイレ清掃鍵管理業務委託料　40,000円×12月＝480,000円
植栽等管理委託料　200,000円
古今の森公園階段工事設計委託料　1,400,000円　計　2,422,800円

3　予算額

需用費 314千円　役務費 13千円　委託料　2,423千円

4　事業の効果

県指定の史跡が存在する龍王崎古今の森公園の適正な維持管理が図られる。

平成28年度　起債充当事業一覧

（単位：千円）

事　業	事業費	財　源　内　訳				一般財源	備　考	所属課
		国庫	県費	起債	その他			
過疎対策事業債【ハード分】充当事業　合計	238,300	87,190	0	135,000	2,595	13,515		
農業基盤整備促進事業	52,000	26,950		20,000	2,595	2,455		農村整備課
道路新設改良費	81,700			75,000		6,700		建　設　課
社会資本整備総合交付金事業	104,600	60,240		40,000		4,360		
過疎対策事業債【ソフト分】充当事業　合計	117,812	0	20,752	80,000	202	16,858		
コミュニティタクシー運行事業	15,774			15,000		774		企画財政課
敬老の日記念事業	17,042			13,000		4,042		長寿社会課
緊急通報体制等整備事業	1,559			1,000		559		
地域医療体制事業	5,780			5,000		780		保健福祉課
こどもの医療事業費	41,705		20,752	18,000	201	2,752		
小学生・中学生医療事業費	23,400			20,000	1	3,399		
まちおこし事業補助金	8,552			5,000		3,552		産　業　課
ロードレース大会費	4,000			3,000		1,000		生涯学習課
合併特例債充当事業　合計	82,000	46,800	0	26,000	0	9,200		
橋りょう長寿命化事業	82,000	46,800		26,000		9,200		

平成28年度　ふるさと寄附金充当事業一覧

（千円）

細事業名（個別事業名）	活用メニュー	基金充当額
防犯灯設置補助金	安心安全、まちづくり	6,400
不妊治療支援事業補助金	福祉・医療・高齢者	2,500
食の自立支援事業（配食サービス）	福祉・医療・高齢者	5,000
あかり保育園備品（遊具等）購入費	子育て・教育・生涯学習	5,100
小学6年生・中学3年生給食費無償化分	子育て・教育・生涯学習	20,000
小学6年生・中学3年生給食費無償化補助金	子育て・教育・生涯学習	1,000
福富中学校部室新築工事費	子育て・教育・生涯学習	20,000
保育対策（延長保育等）事業	子育て・教育・生涯学習	15,000
優良肥育素牛導入事業費補助金	産業・観光振興	1,000
6次産業推進事業	産業・観光振興	4,000
合　　計		80,000

平成28年度地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率（国・地方）が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収部分については、その使途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

（歳入）　地方消費税交付金（社会保障財源化分）　174,600千円

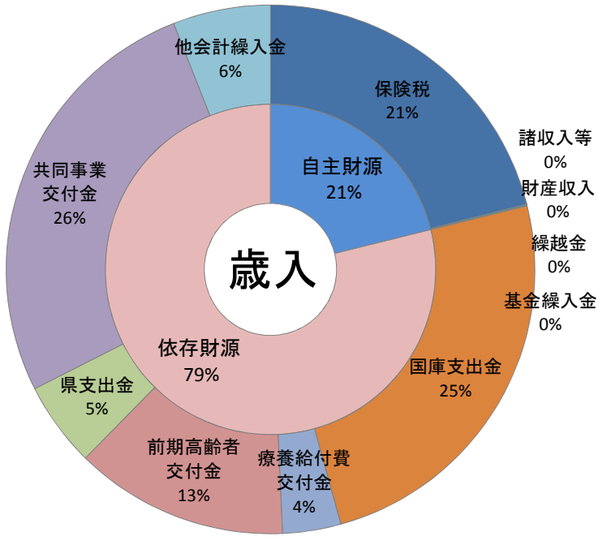
（歳出）　社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費　3,538,623千円

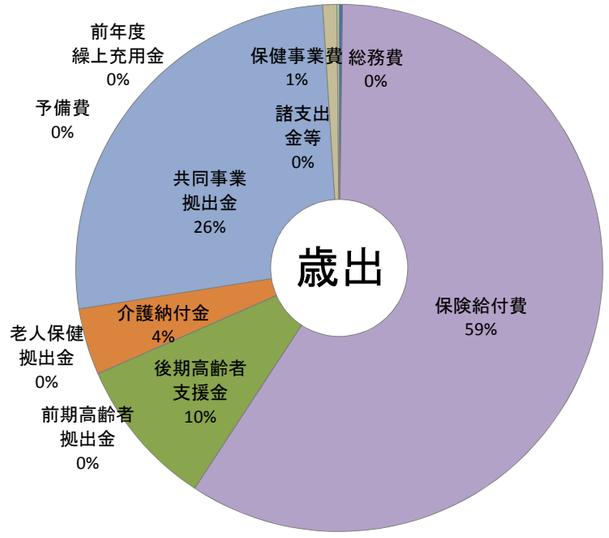
（単位：千円）

事業名	経費（予算額）	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	町債	その他	引上げ分の地方消費税（社会保障財源化分の市町村交付金）	その他
社会福祉事業	39,634	4,494	0	482	1,921	32,737
障害者福祉事業	715,856	504,027	0	3,781	35,320	172,728
老人福祉事業	153,087	15,138	13,000	61,919	7,508	55,522
児童福祉事業	1,265,917	441,055	0	171,498	62,557	590,807
子ども・子育て支援事業	60,846	34,914	0	6,349	2,969	16,614
国民健康保険事業	240,147	97,090	0	0	11,873	131,184
介護保険事業	384,641	0	0	0	19,052	365,589
後期高齢者医療事業	480,800	85,144	0	0	23,796	371,860
子ども・小中学生医療事業	65,105	20,752	38,000	202	3,143	3,008
保健衛生事業	43,002	1,697	5,000	2,062	2,096	32,147
疾病予防事業	89,588	1,066	0	2,803	4,365	81,354
合　計	3,538,623	1,205,377	56,000	249,096	174,600	1,853,550

平成２８年度　白石町国民健康保険特別会計歳入歳出予算の概要

住民課　保険係





医療費の適正化、資格の適正管理及び収納率の向上等により財政の健全化に努めていますが、被保険者の高齢化や、近年の医療費の増嵩と後期高齢者医療や介護保険への支出金の伸びにより健全な国保運営が困難となり、平成２５年度の保険税率引き上げとともに、一般会計から８千万円の財政補填を受け運営しています。

歳入（主な財源）

①保険税　８５４，２００千円（歳入割合：２１％）

保険税は歳入の２１％を占める貴重な自主財源です。被保険者所得を対前年度比９９％と見込んでいます。

②国庫支出金　９９８，０３９千円（歳入割合：２５％）

療養給付費等負担金７４４，７５８千円は、保険給付費の約３割を賄うものです。高額医療共同事業負担金は２４，２３２千円。特定健診等負担金３，３３２千円は、特定健診・特定保健指導の実施状況により交付されます。財政調整交付金２２５，７１７千円は、保険者の財政の運営状況により交付されます。

③療養給付費交付金　１４４，６２３千円（歳入割合：４％）

退職者医療制度の被保険者の給付に充てるものです。平成２７年度から新規適用はなく今後は減少の見込です。

④前期高齢者交付金　５３１，０９１千円（歳入割合：１３％）

前期高齢者（６５歳～７４歳）の加入割合に応じて交付されます。

⑤県支出金　２１０，８１６千円（歳入割合：５％）

高額医療共同事業負担金は２４，２３２千円。特定健診等負担金３，３３２千円は、特定健診・特定保健指導に対し交付されます。財政調整交付金１８３，２５２千円は、保険者の財政の運営状況により交付されます。

⑥共同事業交付金　１，０７４，９２０千円（歳入割合：２６％）

高額医療費共同事業交付金９６，９３０千円は、レセプト１件８０万円以上の医療費に対し交付されます。保険財政共同安定化事業交付金９７７，９９０千円は、レセプト１円（平成２６年度まで２０万円）以上の医療費に対し交付されます。平成２７年度以降は対象額の拡大に伴い大幅に増加しています。

⑦他会計繰入金　２４２，６４７千円（歳入割合：６％）

保険基盤安定繰入金１２９，４６０千円は、低所得者の保険税軽減相当額を公費（国、県、町）で補填するものです。財政安定化支援事業繰入金１１，０００千円は、低所得者、病床数、高齢者が多いなどの事情により交付されます。出産育児一時金繰入金は１１，２００千円。財政補填繰入金は８０，０００千円を計上しています。

歳出（主な支出）

①保険給付費　２，３９６，８８３千円（歳出割合：５９％）　保険給付費については、過去の給付実績に基づき推計しています。

②後期高齢者支援金　３７２，６０９千円（歳出割合：１０％）　後期高齢者の医療費負担を軽減するため、若年層が財源の一部を負担するものです。

③介護納付金　１６６，０３１千円（歳出割合：４％）　介護給付費の約３割を各医療保険の第２号被保険者（４０歳～６４歳）数に応じて負担するものです。

④共同事業拠出金　１，０７４，９２３千円（歳出割合：２６％）

高額医療費共同事業費拠出金９６，９３１千円は、レセプト１件８０万円以上の医療費を対象に拠出します。保険財政共同安定化事業拠出金９７７，９９１千円は、県内市町国保間の保険料の平準化や財政の安定化を図るため拠出するもので、レセプト１円（平成２６年度までは２０万円）以上の医療費を対象としています。平成２７年度以降は歳入と同様に対象額の拡大に伴い大幅に増加しています。

⑤保健事業費　３４，８１３千円（歳出割合：１％）

給付費抑制の観点からも特定健診・特定保健指導（４０歳から６４歳）を積極的に行うとともに、受診対象外の３０歳代の被保険者に対しても引き続き健診を実施します。

特定健診のほか、人間ドック１２５人（平成２７年度比＋２５人）、脳ドック２００人（平成２７年度比△５０人）の枠を確保し被保険者の更なる健康増進に努めることとしています。

歳入（H28は当初予算、H25･26は決算、H27は決算見込み）　単位:千円

区分	平成28年度の自主財源　(21%)										平成28年度の依存財源　(79%)												合計		前年度比
	保険税		財産収入		基金繰入金		繰越金		諸収入等		国庫支出金		療養給付費交付金		前期高齢者交付金		県支出金		共同事業交付金（連合会交付金）		繰入金				
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額
28	854,200	−2.1%	2	−	1	−	2	−	3,659	−6.4%	998,039	8.9%	144,623	8.5%	531,091	4.7%	210,816	−1.2%	1,074,920	3.0%	242,647	−29.3%	4,060,000	0.7%	26,755
27	872,500	4.3%	0	−	0	−100.0%	0	−	3,910	8.3%	916,551	−2.0%	133,353	−30.9%	507,239	−9.5%	213,290	6.3%	1,043,154	99.7%	343,248	24.4%	4,033,245	14.0%	494,998
26	836,619	−8.3%	0	−	10,000	−	0	−	3,611	−40.6%	935,260	9.0%	193,110	−6.1%	560,673	−7.3%	200,586	−4.1%	522,427	0.4%	275,961	37.8%	3,538,247	0.6%	21,918
25	911,904		0		0		0		6,084		858,112		205,691		604,665		209,074		520,543		200,256		3,516,329		

歳出（H28は当初予算、H25･26は決算、H27は決算見込み）　単位:千円

区分	総務費		保険給付費		後期高齢支援金		前期高齢拠出金		老人保健拠出金		介護納付金		共同事業拠出金		保健事業費		諸支出金		予備費		前年度繰上充用金		合計		前年度比
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額
28	8,487	3.9%	2,396,883	0.4%	372,609	−5.6%	186	−31.4%	64	276.5%	166,031	−7.4%	1,074,923	7.1%	34,813	27.6%	6,003	−60.5%	1	−100.0%	0	−100.0%	4,060,000	−3.0%	−126,499
27	8,167	4.3%	2,388,063	3.3%	394,912	−1.5%	271	−13.4%	17	6.3%	179,362	−9.2%	1,003,764	85.9%	27,273	25.8%	15,186	−56.9%	2,426	−	167,058	−11.9%	4,186,499	13.0%	481,195
26	7,831	−21.3%	2,312,490	−0.8%	400,818	1.7%	313	−20.6%	16	−5.9%	197,566	4.0%	539,805	6.9%	21,675	−2.2%	35,267	−40.5%	0	−	189,523	−2.2%	3,705,304	0.0%	−548
25	9,949		2,331,031		394,012		394		17		190,019		505,198		22,156		59,303		0		193,773		3,705,852		

区分	平成28年度　当初			会計	国民健康保険特別会計	単位:千円
款	1	項	1	目	1	細事業名	国民健康保険税(歳入)	所属	住民課
目　名　称	一般被保険者・退職被保険者国民健康保険税					財源内訳			予算書頁
予　算　額	854,200 前年度当初 825,700　前年度最終 869,600					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	9・10
										854,200	継　続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穣のまち)	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　4　節	社会保障の充実

1　目的

国民健康保険税は、国民健康保険を運営する市町村が、運営するために必要な費用に充てるため、被保険者の属する世帯の世帯主に対して賦課する税金であり、分類上は地方税、直接税、目的税に該当する。現在、被保険者相互扶助のための医療給付費分、後期高齢者の負担を軽減するための後期高齢者支援金分、介護保険制度運営のための介護納付金分の3区分で賦課されている。

2　事業内容

平成27年度現計(9月補正後)予算・28年度当初予算比較　(単位:千円)

区分			A 27年度現計	B 28年度当初	B－A	B／A
一般被保険者	現年	医療給付費分	537,900	533,200	△ 4,700	99.13%
		後期支援金分	166,600	165,200	△ 1,400	99.16%
		介護納付金分	77,400	77,400	0	100.00%
	滞繰	医療給付費分	27,500	27,600	100	100.36%
		後期支援金分	7,300	7,600	300	104.11%
		介護納付金分	4,200	4,300	100	102.38%
	計		820,900	815,300	△ 5,600	99.32%
退職被保険者	現年	医療給付費分	29,600	20,500	△ 9,100	69.26%
		後期支援金分	9,100	6,300	△ 2,800	69.23%
		介護納付金分	8,400	5,700	△ 2,700	67.86%
	滞繰	医療給付費分	1,000	1,100	100	110.00%
		後期支援金分	300	300	0	100.00%
		介護納付金分	300	300	0	100.00%
	計		48,700	34,200	△ 14,500	70.23%
一般被保険者(限度額超過分)	現年	医療給付費分	0	2,400	2,400	－
		後期支援金分	0	2,300	2,300	－
合　計			869,600	854,200	△ 20,100	98.23%

保険税率等

区分	所得割	均等割	平等割	新:課税限度額	現行:課税限度額
医療給付費分	9.0%	23,000円	33,000円	540千円	520千円
後期高齢者支援金分	2.9%	7,000円	8,200円	190千円	170千円
介護納付金分	2.2%	10,300円	7,000円	160千円	160千円

平成28年度国民健康保険税の状況

平成28年度国保税の算定に当たっては、平成27年の被保険者所得を前年度比98%、平均被保険者数の減を100人程度見込み、全体としては若干の減額とした。なお、退職被保険者は27年度から新規適用がないため、退職被保険者所得を前年度比8割程度とし、減じた分は一般被保険者に上乗せとした。そのため、一般被保険者の現年分は昨年度並み、退職被保険者の現年分は3割程度の減とした。

課税限度額引き上げ(85万円→89万円)に伴う増を見込んだ。

収納率見込:現年度分95%　滞納繰越分35%

国保世帯数及び被保険者数の状況

	世帯数	被保険者数
A　H26年10月	3,587世帯	7,364人
B　H27年10月	3,564世帯	7,166人
B-A	△ 23世帯	△ 198人

区分	平成28年度　当初	会計	国民健康保険特別会計							単位：千円
款	2	項	1	目	1	細事業名	一般被保険者療養給付費			所属	住民課
目　名　称	一般被保険者療養給付費					財　源　内　訳				予算書頁	
予　算　額	1,940,229 前年度当初　1,903,621　前年度最終　1,903,621					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	19
						759,650	139,358		544,592	496,629	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第　4　節	社会保障の充実

1　目的

国民健康保険に基づき、被保険者の疾病、負傷に関して必要な保険給付を行うことにより、地域住民の医療を保障し、住民の福祉増進に寄与する。

2　事業内容

一般被保険者が疾病、負傷のために自己の選定する保険医療機関または、保険薬局で現物給付として行う療養の給付等に要する経費から、一般被保険者の一部負担金に相当する額を控除した額を医療機関に支払う。

3　予算額

19負担金補助及び交付金	1,940,229千円	給付実績最高額を参考	1,940,229,000円	（27年度から退職者医療制度の新規適用が無く一般被保険者に移行するため漸増）
		21年度	1,835,053,802円	
		22年度	1,790,785,048円	
		23年度	1,878,117,182円	
		24年度	1,878,606,067円	
		25年度	1,854,427,548円	
		26年度	1,887,803,520円	
		27年度(見込)	1,923,155,945円	

区分	平成28年度　当初		会計	国民健康保険特別会計	単位:千円

款	8	項	2	目	1	細事業名	特定健康診査	所属	住民課
目　名　称	特定健康診査等事業費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	18,661					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	27･28
	前年度当初	17,729	前年度最終	17,729		3,055	3,055			12,551	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健･福祉の充実】	基本計画 第 4 節	社会保障の充実

1 目的

老人保健法による住民基本健診に代わり、平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健診及び特定保健指導が開始された。また、特定健診で得られたデータを用い、特定保健指導対象者の選定と階層化を行い、メタボリックシンドローム等生活習慣病の予防を目指す。

2 事業内容

◎対象者 : 40歳以上74歳以下

◎個人負担 :集団健診1，000円、武雄杵島地区医師会へ徴収委託を行う。(健診委託料と相殺)。個別健診1，500円、健診機関にて(健診委託料と相殺)

◎実施時期:集団検診は、7月5日～16日(10日間)、9月～12月(7日間)、個別健診は、4月1日～3月31日

3 予算額

07賃金	日々雇用賃金	245千円	特定健診発送事務		3人	×	6400円	×	5日	＝ 96,000円
			特定健診受付事務	3人 ×	4時間	×	825円	×	15日	＝ 148,500円
11需用費	消耗品費	330千円	受診券		5700人	×	5円	×	1.08	＝ 30,780円
			受診券･受診票発送用窓空き封筒		5500人	×	12円	×	1.08	＝ 71,280円
			未受診者勧奨宛名シール				7,000円	×	1.08	＝ 7,560円
			特定健診医師会実施用具代							200,000円
			会場設営消耗品等							20,000円
	印刷製本費	122千円	特定健診日程表	8,000枚 ×	10.5円	×	1.08	÷	2	＝ 45,360円
			受診券同封チラシ		5,400枚	×	13.0円	×	1.08	＝ 75,816円
12役務費	通信運搬費	1,058千円	受診券郵送料		5,400通	×	120円			＝ 648,000円
			未受診者勧奨通知郵送料		3,000通	×	82円			＝ 246,000円
			結果通知郵送料		2,000通	×	82円			＝ 164,000円
13委託料	その他委託料	16,800千円	健診委託料(集団)	2,300人 × (	5,640円	－	1,000円	)		＝ 10,672,000円
			健診委託料(個別＋ドック)	500人 × (	7,020円	－	1,500円	)		＝ 2,760,000円
			詳細健診(心電図)		40人	×	1,404円			＝ 56,160円
			詳細健診(眼底)		30人	×	1,210円			＝ 36,300円
			集団健診管理手数料(30歳代含む)		2,450人	×	565円 ※			＝ 1,384,250円
			精密検査報告書		200人	×	86円			＝ 17,200円
			二次健診(ブドウ糖負荷検査)委託料		100件	×	9,000円			＝ 900,000円
			健診簡易マッサージ委託料		3日	×	30,000円			＝ 90,000円
			特定健診データ管理委託料(国	5,300件 × (	82.4円	＋	42.3円	) ×	1.08	＝ 713,783円
			KDBシステム管理委託料		7,300件	×	23.3円			＝ 170,090円
14使用料及び賃借料	その他使用料	52千円	健診会場空調設備使用料	5時間 ×	5日	×	4,110円	÷	2	＝ 51,375円
	その他借上料	54千円	特定検診システムリース料	2台 ×	12月	×	2,060円	×	1.08	＝ 53,395円

集団健診管理手数料

貧血検査費	238円
結果通知事務	200円
切手代	82円
データ作成費	32.0円
封筒代	13.00円
計	565.00円

区分	平成28年度　当初	会計	後期高齢者医療特別会計

単位：千円

款	2	項	1	目	1	細事業名	後期高齢者医療広域連合納付金	所属	住民課
目　名　称	後期高齢者医療広域連合納付金					財源内訳			予算書頁
予　算　額	312,137 前年度当初　308,166　前年度最終　308,576					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	12
									312,137	0	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　2　章	健やかで安心できるやさしいまち 【保健・福祉の充実】	基本計画 第　4　節	社会保障の充実

1　目的

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保険の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。後期高齢者医療制度の被保険者は、75歳以上と65歳以上の障害認定を受けている者で、医療の給付等に関しても老人保健法に基づく医療と同様の診療が受けられる。

2　事業内容

町は、後期高齢者医療制度の事務を処理する特別会計の設置、広域連合の経費負担、保険基盤安定制度の負担、保険料の徴収と広域連合への納付、被保険者の資格・給付等に関する申請・届出の受付など処理している。

3　予算額

（単位：千円）

項　目	事業費	説　明		
保険料	182,587	・保険料 ＝ 均等割額 51,800円 ＋ 所得割額（所得額×9．88%） ・白石町分賦課総額 295,829千円 － 保険基盤安定負担対象額 113,525千円 ＝ 182,304千円（保険料賦課額）		
		特別徴収分	131,259	賦課額 182,304千円×特別徴収割合0.72×徴収率100%
		普通徴収分	50,923	賦課額 182,304千円×普通徴収割合0.28×徴収率99.76%
		計	182,182	
		過年度分	405	滞納額540千円×徴収率75%
保険基盤安定負担金	113,525	町負担(1/4)	28,381	・低所得者軽減額 104,443千円 ＋ 被扶養者軽減額 9,082千円 ＝ 113,525千円（負担金対象額）
		県負担(3/4)	85,144	
		計	113,525	・県負担分は一般会計で歳入後、町負担分と合わせて後期特別会計へ繰出し、広域連合へ納付
広域連合共通経費（一般会計分）	6,855	広域連合運営経費（職員人件費、議会費他） 均等割（10%）981千円 ＋ 人口割（45%）2,575千円 ＋ 高齢者人口割（45%）3,299千円 ＝ 6,855千円（佐賀県広域連合合計196,169千円の約3.49%）		
広域連合共通経費（特別会計分）	9,170	運営経費（電算システム運営費、レセプト点検等） 均等割（10%）1,071千円 ＋ 人口割（45%）2,811千円 ＋ 高齢者人口割（45%）3,603千円 ＝ 7,485千円（佐賀県広域連合合計214,199千円の約3.49%）		
		被保険者証郵送代実費負担金　1,685千円		
計	312,137			

4　事業の効果

医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成28年度　当初		会計	農業集落排水特別会計

単位：千円

款	3	項	1	目	1
目　名　称	農業集落排水事業費				

細事業名	農業集落排水機能強化事業費	所属	下水道課

予　算　額	168,800	財源内訳					予算書頁
		国庫	県費	地方債	その他	一般財源	15
	前年度当初 6,000 前年度最終 6,000	71,750		94,500	2,550	0	継　続

白石町総合計画（人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち 【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実

1 目的

供用開始後15年目を迎えた牛屋地区農業集落排水施設及び12年目を迎えた住ノ江地区農業集落排水施設について、経年劣化による施設の摩耗及び腐食等の対策及び機能強化事業を実施し、施設の長寿命化による効率的な運営を図る。

2 事業内容

牛屋西分地区については、機能強化事業で詳細設計書作成及び水処理センターの機器・真空弁ユニット通報装置等の更新を行う。
また、住ノ江地区については、平成29年度からの機能強化事業に向けて、計画概要書の作成を行う。

3 予算額

（単位：千円）

節	区　分	項　目	事業費	摘　要	財源内訳		
					国費	地方債	繰入金
13	委託料	農業集落排水機能強化事業	2,500	牛屋西分地区	1,000	1,500	
		団体営調査設計事業	4,800	住ノ江地区	2,250		2,550
15	工事請負費	農業集落排水機能強化事業	161,500	牛屋西分地区	68,500	93,000	
計			168,800		71,750	94,500	2,550

4 事業の効果

施設の長寿命化により経費を節減し、事業の効率的な運営が図れる。

区分	平成28年度　当初	会計	特定環境保全公共下水道特別会計

単位:千円

款	3	項	1	目	1	細事業名	特定環境保全公共下水道施設整備費	所属	下水道課
目　名　称	公共下水道施設整備費					財　源　内　訳			予算書頁
予　算　額	411,504 前年度当初　226,654　前年度最終　227,971					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	16･17
						150,000		233,900	27,604	0	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本計画 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち　【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的

公共用水路の水質汚濁については各家庭等から排出される生活排水が大きな原因の一つになっているため、下水道の整備を行うことにより生活環境の改善と公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与する。

第2期事業計画区域
○事業予定期間･･･H27～H32（6年間）　○総事業費･･･2,551,000千円　○面積･･･48ha　○計画処理人口･･･1,720人　○排除方式　分流式

2　事業内容

○本年度の主な事業　（単位:千円）

節	工種等	補助	単独	計
委託料	詳細設計	50,000	10,000	60,000
工事請負費	管路工事等	247,500	87,500	335,000
補償補填及び賠償金	水道管移設等	2,500	2,500	5,000
事　業　費　計		300,000	100,000	400,000

3　予算額

（単位:千円）

区　分	事業費	事務費･人件費	計	左の財源内訳			
				交付金	起債	繰入金	負担金
国庫補助事業	300,000		300,000	150,000	124,300	587	25,113
単独事業	100,000	11,504	111,504	0	109,600	1,904	
計	400,000	11,504	411,504	150,000	233,900	2,491	25,113

4　事業の効果　潤いのある水環境を守ることにより、安全かつ安心な食料の提供と生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られ、より快適で豊かなまちづくりに貢献できる。

区分	平成28年度　当初	会計	水道事業会計

単位：千円

款	41資本的支出	項	01建設改良費	目	01設備工事費	細事業名	水道管管網整備事業	所属	水道課
目　名　称	設備工事費					財源内訳			予算書頁
予　算　額	94,200 前年度当初　93,400　前年度最終　85,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	35
										94,200	継　続

白石町総合計画 （人と大地がうるおい輝く豊穣のまち）	基本構想 第　1　章	ゆとりある快適な住みよいまち　【町の基盤整備】	基本計画 第　1　節	生活基盤の充実

1　目的

① 道路改良工事等の進捗に合わせた配水管布設替等工事をおこない管網の整備充実を図る。

② 長期使用の老朽管を更新することにより、漏水・赤水等の防止をおこない、安定した水の供給と有収率の向上を図る。

2　事業内容

【設備工事費】

1	国道207号(錦江団地入口)配水管布設替工事	L=20m	φ100	DCIP-NS
2	県道武雄福富線(白石保養院西)道路改良工事に伴う配水管布設替工事	L=80m	φ75	PE
3	県道武雄福富線(白石駅前)配水管布設替工事	L=80m	φ75	PE
4	県道武雄福富線(日本生命前)道路改良工事に伴う配水管布設替工事	L=250m	φ50	RRVP-L
5	町道太原本線布設替工事	L=380m	φ50	PE
6	町道古賀辺田線道路改良工事に伴う配水管布設替工事	L=110m	φ100	RRVP-L
7	町道新村線道路改良工事に伴う配水管布設替工事	L=180m	φ75	RRVP-L
8	町道廻里津辺田線布設工事	L=200m	φ75	RRVP-L
9	町道廻里津大和線布設工事	L=230m	φ50	PE
10	町道干拓線連絡配水管布設工事	L=850m	φ100	PE
11	町道東秀津線布設替工事	L=170m	φ75	RRVP-L
12	町道大戸片町線布設替工事	L=40m	φ75	RRVP-L
13	町道高町百貫線道路改良工事に伴う水管橋架替工事	L=15m	φ250	DCIP-NS
14	農道有明第一15，111号線配水管布設替工事	L=690m	φ50	RRVP-L
15	里道(道-253)配水管布設工事	L=100m	φ50	RRVP-L
16	町道新拓本線(469-1号橋)水管橋架替工事	L=30m	φ100	DCIP-NS
17	町道遠江搦5号線(満江2号橋)水管橋架替工事	L=20m	φ25	SGP-VD
		L=3445m		

【主な管種／表示記号】

1. DCIP-GX
   水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（GX形）
2. DCIP-NS
   水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（NS形）
3. DCIP-K
   水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（K形）
4. PE
   水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
5. RRVP-L
   水道用ｺﾞﾑ輪形耐衝撃性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
6. SGP-VD
   水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管

（注）事業個所、延長については現時点での予定工事量であり、国県道、町道改良工事、下水道工事等の進捗により、変更を伴う。

3　予算額　　94,200千円

4　事業の効果

道路改良工事等と同時施工することにより、工事コストの省力化を図りながら、老朽管更新等の進捗率を高め、併せて漏水防止等の解消を行い、安全で安定した水の供給を行う。